

NEC

P C 9 8 -



PC98-**NX** SERIES

VersaPro NX

(Windows 95 インストール)

活用ガイド ソフトウェア編

アプリケーションの削除と追加
他のOSを利用するには
トラブルを解決するには

マニュアルの 主な内容

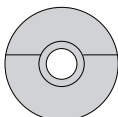
このパソコンには、次のマニュアルが用意されています。



- 『はじめにお読みください』
このパソコンの接続方法やWindowsのセットアップ手順について説明しています。
 - ・型番の確認
 - ・添付品の接続
 - ・Windowsのセットアップ
 - ・マニュアル紹介



- 『活用ガイド 再セットアップ編』
このパソコンを再セットアップする場合の方法について説明しています。
 - ・再セットアップの方法



『マニュアル CD-ROM』

『活用ガイド ハードウェア編』、『活用ガイド ソフトウェア編』がPDF形式で収録されています。利用方法については『はじめにお読みください』をご覧ください。

- 『活用ガイド ハードウェア編』
このパソコンの取り扱い方法などを説明しています。
 - ・キーボード、ハードディスク、CD-ROMドライブなどの取り扱い
 - ・周辺機器の接続と利用方法
 - ・システム設定について
- 『活用ガイド ソフトウェア編』
アプリケーションの利用方法、追加と削除の方法について説明しています。また、さまざまなトラブルへの対応方法をQ&A形式で説明しています。
 - ・アプリケーションの利用方法
 - ・他のOSを利用する場合の設定
 - ・トラブル解決Q&A

「印刷マニュアル」を選択された場合は、上記のほか、『活用ガイド ハードウェア編』と『活用ガイド ソフトウェア編』の紙マニュアルが添付されます。



はじめに

このマニュアルは、パソコンにインストールされているアプリケーションや添付されているアプリケーションを、削除 / 追加する方法について説明しています。

トラブルが起こったときは、まず、巻末の「索引」にある「トラブル解決Q&A内容一覧」を見て、自分のパソコンで起きたトラブルを探してください。トラブルの種類別に分類して、問題点を見つけやすくしています。トラブルの原因や解決方法をよく読んで対処してください。

2000年 1月 初版

対象機種

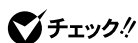
(Windows 95インストールモデル)

VA50J/WX、VA50J/WT、VA45J/WS、VA46H/WX、VA46H/WT、VA43H/WS、
VA65J/AF、VA50J/AF、VA45J/AX、VA50J/BH、VA40H/BS、VA33H/BC

808-875488-455-A

このマニュアルの表記について

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。



パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。

利用の参考となる補足的な情報をまとめています。



マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。



利用の参考となる補足的な情報をまとめています。



トラブルを解決するために確認の必要があることや、チェックポイントなどを示しています。

このマニュアルで使用している表記の意味

CD-ROMモデル	CD-ROMドライブを内蔵または添付しているモデルのことです。
CD-RWモデル	CD-RWドライブを内蔵しているモデルのことです。
FAXモデム内蔵モデル	FAXモデムを内蔵しているモデルのことです。
ワイヤレスモデル	本体にワイヤレス通信機能を内蔵し、別売のワイヤレスモデムステーション(AtermWM56)やAtermIWシリーズと無線通信が可能なモデルのことです。
PIAFSモデル	PHSインターフェイスを内蔵しているモデルのことです。
LAN内蔵モデル	LANインターフェイスを内蔵しているモデルのことです。
Office 2000モデル	Office 2000 PersonalまたはOffice 2000 Professionalがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Office 2000 Personalモデル	Office 2000 Personalがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Office 2000 Professionalモデル	Office 2000 Professionalがあらかじめインストールされているモデルのことです。
一太郎モデル	一太郎10・花子10/パックがあらかじめインストールされているモデルのことです。
暗証番号機能モデル	セキュリティ用の暗証番号入力機能を搭載したモデルのことです。
【 】	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
「スタート」ボタン→	「スタート」ボタンをクリックし、現れたポップアップメニューから「プログラム」→
「プログラム」→	「プログラム」を選択し、横に現れるサブメニューから「アクセサリ」→「メモ帳」を順に選択する操作を指します。
「アクセサリ」→	
「メモ帳」	

「コントロールパネル」を開く	「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックする操作を指します。
----------------	---

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows、 Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System 日本語版 または Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Windows 98 Second Edition	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System 日本語版
Windows 3.1	Microsoft® Windows® Operating System Version 3.1
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0
Second Edition インターネット エクスプローラ	Microsoft® Internet Explorer 4.01 SP2
Office 2000 Personal	Microsoft® Office 2000 Personal(Microsoft Word 2000、 Microsoft Excel 2000、Microsoft Outlook® 2000、Microsoft/ Shogakukan Bookshelf® Basic)
Office 2000 Professional	Microsoft® Office 2000 Professional(Microsoft® Word 2000、 Microsoft Excel 2000、Microsoft Outlook® 2000、Microsoft Power Point® 2000、Microsoft Access 2000、Microsoft Pub- lisher 2000、Microsoft®/Shogakukan Bookshelf® Basic)
一太郎10パック	一太郎10・花子10パック(一太郎10、花子10、三四郎9、ATOK13)
RSA SecurPC	RSA SecurPC™ Version 1.1.3J
Masty Data Backup	Masty Data Backup/F for Windows 95/NT
Easy CD Creator	Easy CD Creator™ 4 Standard
DirectCD	DirectCD™ 3
Acrobat Reader	Adobe® Acrobat™ Reader 3.0J
スーパーディスク	SuperDisk™
VirusScan	VirusScan Ver4.0.3a

このマニュアルで使用している画面

- ・記載の画面は、モデルによって異なることがあります。
- ・本書に記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク・ロゴは参加各国の間で統一されています。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■ 漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

■ 瞬時電圧低下について

[バッテリパックを取り付けていない場合]

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。

[バッテリパックを取り付けている場合]

本装置にバッテリーパック実装時は、社団法人日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しますが、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

■ レーザ安全基準について

CD-ROMモデル、CD-RWモデルには、レーザに関する安全基準（JIS-C-6802、IEC825）クラス1適合のCD-ROMドライブまたはCD-RWドライブが内蔵または添付されています。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたので、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。ご購入元までご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外における保守・修理対応は、海外保証サービス「NEC UltraCare®」対象機種に限り、当社の定める地域・サービス拠点にてハードウェアの保守サービスを行います。
サービスの詳細や対象機種については、以下のホームページをご覧ください。
<http://www.ultracare.nec.co.jp/jpn/>
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 95は本機でのみご使用ください。また、本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでしかご利用になれません。Intellisyncを除く。詳細は「ソフトウェアのご使用条件」および「ソフトウェア使用条件適用一覧」をお読みください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、Active Movie、NetMeeting、Outlook、Windows Media、PowerPoint、BookshelfおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

「一太郎」・「花子」・「ATOK」・「Voice一太郎10」・「花子10バック」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「一太郎10」・「花子10バック」・「Shuriken」・「Sasuke」は、株式会社ジャストシステムの商標です。

「Voice一太郎10」・「花子10バック」・「一太郎10」・「花子10バック」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「Voice一太郎10」・「花子10バック」・「一太郎10」・「花子10バック」にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ビーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

VirusScanは、米国法人Network Associates, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。

Puma Technology、Puma Technologyロゴ、DSX Technology、DSX Technologyロゴ、IntellisyncおよびIntellisyncロゴは、いくつかの法域で登録することができるPuma Technology, Inc.の商標です。

Hayesは、米国Hayes Microcomputer Productsの登録商標です。

MNPIは、Microcom, Inc.の登録商標です。

PS/2はIBM社が所有している商標です。

pcANYWHERE32およびpcAnywhereはSymantec Corporationの米国における登録商標です。

AutoCrypt、Emergency Access、RC4ならびにGenuine RSA Encryption and Design、Interlocking Key Design のロゴマークは、米国Security Dynamics社の子会社である米国RSA Data Security社の商標または登録商標です。

RSA SecurPCおよびSecurityDynamicsは米国Security Dynamics社の商標または登録商標です。

Adobe、AcrobatおよびAcrobatロゴは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

IntelおよびLANDeskは、Intel Corporationの米国およびその他の国々における登録商標です。

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)は、Intel® LANDesk® Client Managerのテクノロジーを使用しています。

AdaptecおよびAdaptec社のロゴは、Adaptec, Inc.の登録商標です。

Easy CD Creator、DirectCDは、Adaptec, Inc.の商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2000

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

■ 輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェア含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等はありません。(ただし、海外保証サービス NEC UltraCare® 対象機種については、海外でのハードウェア保守サービスを行います。)本製品の輸出については、外国為替及び外国貿易法に基づいて通商産業省の許可が必要となる場合があります。必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせ下さい。

添付アプリケーションについて 15

添付アプリケーションの紹介 16

本機に添付のアプリケーション 16

アプリケーションを使う前に 18

Office 2000 Personal 18

Office 2000 Professional 19

一太郎10パック 20

インターネットエクスプローラ 20

Intellisync 21

NEC Soft MPEG1.0 25

プレーヤ-NX 26

Easy CD Creator(CD-RWモデルのみ) 26

DirectCD(CD-RWモデルのみ) 27

Acrobat Reader 27

CyberAccess 27

VirusScan 34

英語モードフォント 35

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions) ... 36

pcAnywhere 9.0 EX 38

RSA SecurPC 38

Masty Data Backup 39

インターネット設定切替ツール 39

ワンタッチスタートボタンの設定(VA65J、VA50J/AF、VA45J/AXを除く) ... 40

Virtual CD 2(VA50J/BH、VA40H、VA33Hのみ) 40

自動メール受信ユーティリティ 40

添付アプリケーションの追加と削除 45

追加の前に 46

追加するときの注意 46

追加の準備 46

追加のしかた 48

Office 2000 Personal 48

Office 2000 Professional 48

一太郎10パック 49

インターネットエクスプローラ5 49

Intellisync 51

NEC Soft MPEG1.0	52
プレーヤ-NX	53
DirectCD/Easy CD Creator(CD-RWモデルのみ)	53
Acrobat Reader	54
CyberAccess.....	55
VirusScan	58
英語モードフォント	59
Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions) ...	60
pcAnywhere 9.0 EX	61
RSA SecurPC.....	61
Masty Data Backup	62
インターネット設定切替ツール	63
Virtual CD ㄨ VA50J/BH、VA40H、VA33Hのみ)	63
削除の前に	64
削除するときの注意	64
削除の準備	65
アイコン削除の準備	66
削除のしかた	67
Office 2000 Personal	67
Office 2000 Professional	69
一太郎10/パック	71
Intellisync.....	72
NEC Soft MPEG1.0.....	73
プレーヤ-NX	73
DirectCD/Easy CD Creator(CD-RWモデルのみ)	74
Acrobat Reader	75
CyberAccess.....	75
VirusScan	76
英語モードフォント	77
Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions) ...	77
pcAnywhere 9.0 EX	78
RSA SecurPC.....	78
Masty Data Backup	79
インターネット設定切替ツール	80
Virtual CD ㄨ VA50J/BH、VA40H、VA33Hのみ)	80

PART

3

パソコンのメンテナンスと管理 81

パソコンをウイルスから守る 82

コンピュータウイルスとは 82

VirusScanを使ってウイルスを駆除する 84

データのバックアップを取る 86

バックアップとは 86

バックアップが必要なデータ 86

バックアップを取るタイミング 87

バックアップ先について 87

バックアップの手順 88

ハードディスクのメンテナンス 89

ハードディスクのメンテナンスをする 89

重要なファイルの管理 91

システムファイルをチェックする 91

PART

4

他のOSを利用する 93

Windows 98/Windows 98 Second Editionを使う 94

Windows 98をセットアップする前に 94

1. パソコン本体の準備をする 95

2. Windows 98セットアップ前の準備をする 95

3. Windows 98をセットアップする 96

4. 周辺機器の設定を行う 97

赤外線通信の利用 132

電源管理モードの利用 135

ACPIモードから APMに切り替える 139

PCカードを使用すると不具合が発生するときは 145

Windows NT 4.0を使う 147

セットアップの準備 147

Windows NT 4.0を使うときの注意 150

Windows NT 4.0のセットアップ 151

周辺機器の設定 156

PART

5

トラブル解決Q&A 181

はじめて電源を入れたら 182

電源を入れたが 185

バッテリーを使っていたら 195

電源を切ろうとしたが 197

画面がおかしい 199

別売のディスプレイを使っていたら 202

NXパッドを操作しても 206

文字を入力しようとしたら 208

ファイルを保存しようとしたら 212

インターネット / パソコン通信しようとしたら 213

ネットワーク (LAN) に接続しようとしたら 224

赤外線通信しようとしたら 226

光デジタル出力機能を使っていたら (VA65J、VA50J/AF、VA45J/AX) .. 228

印刷しようとしたら 229

フロッピーディスクやスーパーディスクを使っていたら 232

ハードディスクを使っていたら 236

CD-ROM / CD-R / CD-RWを使っていたら 240

周辺機器を取り付けようとしたら 246

アプリケーションを使っていたら 248

サスペンド / レジューム機能を使おうとしたら 256

ハイパネーション機能を使おうとしたら 260

その他 262

PART

6

付録 267

Windows 95でMS-DOSモードを使う 268

MS-DOSモードを利用する 268

MS-DOSモードでCD-ROMドライブ、CD-RWドライブを利用する .. 269

補足情報	273
再セットアップについて	273
アフターケアについて	274
 索 引	 277
トラブル解決Q&A内容一覧	278
総索引	283
トラブルチェックシート	285

P A R T

1

添付アプリケーションについて

添付アプリケーションの用途、使用上の注意事項、必要な設定などを説明します。

添付アプリケーションの紹介

本機に添付のアプリケーション

次のアプリケーションは、ご購入時にハードディスクにインストールされています。

アプリケーション名	概要
Word 2000 ¹	ワープロを使う
Excel 2000 ¹	表計算をする
Outlook 2000 ¹	メール、スケジュール、文書などを管理する
PowerPoint 2000 ²	プレゼンテーション用の資料を作成する
Access 2000 ²	データベースを作成し、管理する
Publisher 2000 ²	文書や画像をレイアウトする
顧客データマネージャ ²	顧客の情報を効率的に蓄積する
Business Planner ²	キャリアプランを立てる
一太郎 10 ³	ワープロを使う
三四郎 9 ³	表計算をする
花子10 ³	図形を作成する
Sasuke ³	メール、スケジュール、文書などを管理する
Shuriken ³	メールでスケジュールを通知する
インターネットエクスプローラ	インターネットの情報を管理する
Outlook Express	メールを送受信する
自動メール受信 ユーティリティ	メールの着信を、曜日や時刻を指定して定期的に確認する
ワンタッチスタートボタンの 設定 ⁴	ワンタッチスタートボタンの設定、変更をする

1: Office 2000モデル

2: Office 2000 Professionalモデル

3: 一太郎モデル

4: VA65J、VA50J/AF、VA45J/AXを除く

次のアプリケーションを使用する場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってハードディスクにインストールしてください。
インストールの方法については、PART2の「追加のしかた」をご覧ください。

アプリケーション名	概要
Intellisync	赤外線 / シリアルケーブル接続でファイルをシンク (同期) させる
NEC Soft MPEG1.0	MPEG ファイルを再生する
プレーヤ -NX	オーディオCD、ビデオCDなどを再生する
Acrobat Reader	PDFファイルを表示する
CyberAccess	操作可能なアプリケーションやツールを、ユーザのレベルに合わせて制限したり、OSが必要とするファイルを保護する
VirusScan	コンピュータウイルスを検出して除去する
英語モードフォント	海外製アプリケーションの文字表示を正しくする
Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)	パソコンに接続されているハードウェアやインストールされているソフトウェアの情報を管理する
RSA SecurPC	ファイルのプライバシーを守る
pcAnywhere 9.0 EX	ネットワークに接続された遠隔地のパソコンを操作する
Masty Data Backup	様々な媒体のバックアップを行う
インターネット設定切替ツール	通信環境を切り替える
Virtual CD 2 ¹	ハードディスクに仮想CDを作成する

1: VA50J/BH、VA40H、VA33Hのみ

次のアプリケーションを使用する場合は、添付の「Easy CD Creator™ 4 Standard/DirectCD™ 3 CD-ROM」を使ってハードディスクにインストールしてください。

インストールの方法については、PART2の「追加のしかた」をご覧ください。

アプリケーション名	概要
IntEasy CD Creator ¹	大量のデータをCD-RやCD-RWに書き込む
DirectCD ¹	

1: CD-RWモデルのみ



アプリケーションを使う前に

アプリケーションを使う前に知っておいていただきたいこと、使用上の注意事項、機能の概要、必要な設定などについて説明します。

Office 2000 Personal

Excel 2000、Word 2000、Outlook 2000のいずれかを初めて起動したときに行う設定と、Outlook 2000を初めて起動したときに行う設定について説明します。

初回起動時の設定

ユーザー情報の登録

Excel 2000、Word 2000、Outlook 2000のいずれかを初めて起動すると、ユーザー情報を登録する画面が表示されますので、必要な情報を入力してください。

- ・「ユーザー名」「所属」には、Windows 95のユーザー情報が表示されています。
- ・CDキーは「Office 2000 Personal添付品」に記載されています。

オフィシャルユーザ登録

Excel 2000、Word 2000、Outlook 2000のいずれかを初めて起動すると、「Microsoft Office 2000 PersonalをMicrosoftにオフィシャルユーザ登録しますか?」と表示されます。オフィシャルユーザ登録をしたい場合は、画面の指示にしたがって登録してください。

Outlook 2000の設定

Outlook 2000を初めて起動したときには、「Outlook 2000スタートアップ」の画面が表示されます。次の手順で設定してください。

- 1 「Outlook 2000スタートアップ」の画面で「次へ」ボタンをクリックする
「メール サービス オプション」の画面が表示されます。

- 2 「企業 / ワークグループ」を選び「OK」ボタンをクリックする
「Microsoft Outlookセットアップウィザード」または「インターネット接続ウィザード」の画面が表示されます。必要に応じ、画面の指示にしたがってOutlook 2000のセットアップを行ってください。

Excel 2000、Word 2000、Outlook 2000、PowerPoint 2000、Access 2000、Publisher 2000のいずれかを初めて起動したときに行う設定と、Outlook 2000を初めて起動したときに行う設定について説明します。

初回起動時の設定

Outlook 2000の設定

Outlook 2000を使用する場合は、Outlook 2000をはじめて起動したときに、次の手順で設定が必要です。

1 「Outlook 2000スタートアップ」の画面で「次へ」ボタンをクリックする

「メール サービス オプション」の画面が表示されます。

2 「企業 / ワークグループ」を選び「次へ」ボタンをクリックする

「Microsoft Outlookセットアップウィザード」または「インターネット接続ウィザード」の画面が表示されます。必要に応じ、画面の指示にしたがってOutlook 2000のセットアップを行ってください。

ユーザー情報の登録

Excel 2000、Word 2000、PowerPoint 2000、Access 2000、Publisher 2000のいずれかを初めて起動する場合、または「Outlook 2000スタートアップ」の設定後にはじめてOutlook 2000を起動する場合、ユーザー情報を登録する画面が表示されます。

必要な情報を入力してください。

・「ユーザー名」、「所属」にはWindows 95のユーザー情報が表示されています。

・CDキーは「Office 2000 Professional添付品」に記載されています。

オフィシャルユーザ登録

ユーザ情報の登録後、Excel 2000、Word 2000、Outlook 2000、PowerPoint 2000、Access 2000、Publisher 2000のいずれかを初めて起動すると、「Microsoft Office 2000 ProfessionalをMicrosoftにオフィシャルユーザ登録しますか?」と表示されます。オフィシャルユーザ登録をしたい場合は、画面の指示にしたがって登録してください。

一太郎10パック

一太郎10パックを使う前に

一太郎10パックを使う前に、次の点を確認してください。

- ・本機にセットアップされている「一太郎10パック」は「標準」でセットアップされており、ご購入時の状態では、すべての機能が使用できるわけではありません。ご購入時の状態で使用できる機能については、一太郎10パックの添付マニュアル「セットアップ」の「各セットアップ方法でコピーされる機能について」をご覧ください。
- ・「標準」以外の機能を使用する場合は、添付の「一太郎10・花子10パック」CD-ROMから追加してください。追加の方法については、一太郎10パックの添付マニュアル「一太郎10・花子10パック」の「一太郎10、花子10パックの機能を追加する」をご覧ください。

インターネットエクスプローラ

インターネットエクスプローラを使う前に

インターネットエクスプローラを使う前に、次の点をご確認ください。

- ・本機では、インターネットエクスプローラ4.01 SP2以降、インターネットエクスプローラ4.0と記載とインターネットエクスプローラ5を使うことができます。
- ・ご購入時には、インターネットエクスプローラ4.0がインストールされています。インターネットエクスプローラ5を利用するには、PART2の「追加のしかた」の「インターネットエクスプローラ5（→p.49）をご覧ください、セットアップを行ってください。
- ・インターネットエクスプローラを使用する場合、インターネット接続ウィザードを使用してThe Microsoft Network、または他のインターネットサービスプロバイダのアカウントを登録する必要があります。

使用上の注意

- ・インターネットエクスプローラ5を追加した場合、インターネットエクスプローラ5は削除しないでください。アプリケーションによっては、正常に動作しないものがあります。

- ・インターネットエクスプローラに最新のコンポーネントを追加したいときは、PART2の「追加のしかた」の「インターネットエクスプローラ5 (→p. 49) をご覧ください。

Intellisync

設定を行う前に

Intellisyncの設定を行う前に、次の点を確認してください。

- ・Intellisyncで赤外線通信機能を使う場合は、赤外線の接続設定を行う前に、必ず『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」の「赤外線通信を行う前に」をご覧ください。
- ・通信相手のパソコンとして他のPC98-NXシリーズやPC-9800シリーズを使う場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使って、相手のパソコンにIntellisyncをインストールする必要があります。インストールの方法は、PART2の「追加のしかた」の「Intellisync (→p. 51) をご覧ください。
- ・通信相手のパソコンにIntellisyncをインストールする前に、本機に添付の「ソフトウェア使用条件適用一覧」の「Intellisync ソフトウェアのご使用条件」をご覧ください。
- ・Intellisyncに添付のユーザマニュアルをご覧になるには、Acrobat Readerが必要です。インストールの方法は、PART2の「追加のしかた」の「Acrobat Reader (→p. 54) をご覧ください。

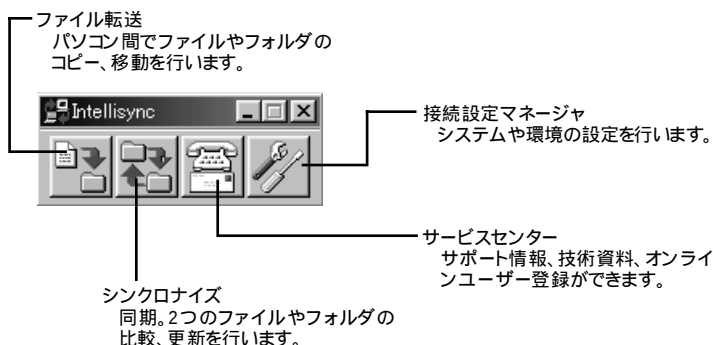
Intellisyncの設定

Intellisyncの設定は、Intellisyncランチャーを使って行います。

Intellisyncランチャーの起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Intellisync」の「Intellisync エージェント」をクリックする

- 2** 「はじめに-Intellisync」で「OK」ボタンをクリックする
「Intellisyncランチャー」が表示されます。



ローカルシステムの設定

パソコン間でデータのやりとりをするには、はじめに各パソコンで接続システムの設定を行います。

- 1** Intellisyncランチャーを起動する
- 2** ランチャーの「接続設定マネージャ」をクリックする
初回起動時には使用許諾画面が表示されます。
- 3** 「ローカルデバイス」をクリックする
- 4** 接続に使用するデバイスのアイコンの左側の $\pm$ をクリックし、表示されたデバイス名をクリックする
デバイスの詳細は「接続設定」をご覧ください。また、「赤外線デバイス」に $\pm$ が表示されていないときは、次の「接続設定」の「赤外線 (IR) 接続設定」をご覧くださいのうえ、赤外線の設定を行ってください。
- 5** 「プロパティ」をクリックする
- 6** 「プロパティ」画面で「接続可能にする」をチェックし、「OK」ボタンをクリックする

接続設定

パソコン間を赤外線またはシリアルポートで接続できます。

・赤外線(IR)接続設定

本機に内蔵されている赤外線デバイスを使用する場合は、手順2から設定を行ってください。別売の赤外線デバイスを使うときは、手順1から設定を行ってください。

- 1** COMポートに赤外線デバイスを接続する
詳細は各デバイス添付のマニュアルをご覧ください。
- 2** 二つのシステムの赤外線ポート(IRポート)が向かい合うようにパソコンを設置する

参照 設置時の注意→『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」

- 3** 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする
- 4** 「赤外線のデバイス」を右クリックする
- 5** 「IRウィザード」をクリックする
- 6** 現在のデバイスが表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
- 7** デバイスのリストから使用するデバイスを選び、「次へ」ボタンをクリックする
本機に内蔵の赤外線デバイスを使うときは、次のものを選んでください。
 - ・VA65J、VA50J/AF、VA45J/AXの場合
NEC FIR port model 03
 - ・上記以外のモデルの場合
NEC FIR port model 04
- 8** 「IrCommポートの選択」で「None」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 9** 「IrLPTポートの選択」で「None」を選び、「次へ」ボタンをクリックする

10 設定内容が表示されるので、確認して「完了」ボタンをクリックする

11 「接続設定マネージャ」画面で「OK」ボタンをクリックする

12 再起動を促すメッセージが表示された場合は、本機を再起動する

・シリアルケーブル接続設定

VA50J/BH、VA40H、VA33Hの場合は、別売のUSBポートバーを接続しておく必要があります。

使用するパソコン両方に同じ設定をします。

1 COMポート(シリアルポート)にシリアルケーブルを接続する
ケーブルの長さは6m以下にしてください。

2 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする

3 シリアルケーブルの左側の  をクリックする

4 COMポートが表示されるので、「COMポート」を選び、「プロパティ」をクリックする

5 「接続を可能にする」をチェックし、「OK」ボタンをクリックする

6 「接続設定マネージャ」で「OK」ボタンをクリックする

接続状態のチェック

接続状況をチェックします。接続がうまくいかないときに確認してください。

1 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする

- 2 接続状態をチェックしたいデバイスの左側の  をクリックする表示されたマークで確認します。

マーク	マークの意味
	使用可能なポートがない
	接続設定が不可になっている
	他のパソコンと接続されてない(赤信号)
	接続中(黄信号)
	接続されている(青信号)

NEC Soft MPEG1.0

NEC Soft MPEG1.0を使う前に

NEC Soft MPEG1.0を使う前に、次の点を確認してください。

- ・ビデオのみのデータや、ビデオCDの静止画を含むデータでは、現在の再生位置を示すスクロールバーの位置と実際の再生位置とが必ずしも一致しません。
- ・画質優先モードで再生しているときに画像サイズを変更すると、再生が遅くなる場合があります。
- ・プレーヤ-NXでプルダウンメニューを表示すると、再生が停止します。再生中にキーボードから【Alt】を押したときも、同じように停止します。

プレーヤ-NX

プレーヤ-NXで利用できるCD

プレーヤ-NXでは、次のメディアを再生できます。

- ・音楽(オーディオCD)
- ・ビデオCD(Ver1.1)、ビデオCD(Ver2.0)/カラオケCD(Ver1.1)
- ・フォトCD
- ・フォトCDポートフォリオ

プレーヤ-NXを使う前に

プレーヤ-NXを使う前に、次の点を確認してください。

- ・プレーヤ-NXでビデオCDを再生するときは、NEC Soft MPEG1.0が必要です。
- ・プレーヤ-NXでビデオCDを再生しているときに、ビデオ画面の表示サイズを変更するには、プレーヤ-NXのビデオCDウィンドウをNXパッドなどのポインティングデバイスでドラッグして、表示サイズを変更してください。

使用上の注意

「アプリケーションの追加と削除」で「CDプレーヤー」を削除または再追加すると、音楽CDをセットしても「プレーヤ-NX」は自動起動しません。音楽CDをセットして「プレーヤ-NX」を自動起動させる場合は、「CDプレーヤー」「プレーヤ-NX」の順で再追加してください。

Easy CD Creator(CD-RWモデルのみ)

Easy CD Creatorは、CD-RやCD-RWにデータを書き込むことができるアプリケーションです。使い方については、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「CD-ROMドライブ / CD-RWドライブ」をご覧ください。

Easy CD Creatorで書き込んだCD-RWは、マルチリード対応のCD-ROMドライブで読み出すことができます。

DirectCD(CD-RWモデルのみ)

DirectCDを使うと、フロッピーディスクやハードディスクと同じような感覚で、CD-RやCD-RWにデータを保存したり移動したりすることができます。簡単にデータを保存することができますので、データのバックアップなどに適しています。使い方については、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「CD-ROMドライブ / CD-RWドライブ」をご覧ください。

Acrobat Reader

Acrobat Readerの機能

PDF形式のファイルを表示したり印刷することができます。

CyberAccess

CyberAccessの機能

CyberAccessは、個人または会社の管理者が「モード」を作成してシステム設定ツールへのアクセスを制限し、デスクトップを単純化および、操作可能なアプリケーションを限定することができるアプリケーションです。使用者のレベルに合わせて機能を制限できるので、システムへ影響を与えてしまうような操作を未然に防ぐことができます。また、ログインするユーザ別にモードを対応付けることができるので、複数のモードを使い分けることができます。

モード

CyberAccessをインストールすると、次のモードを利用することができます。

モード	機能
エキスパートモード	CyberAccessのすべての機能を利用することができます。
アドバンスモード	コンピュータのシステムのすべてを利用することができます。モードの作成、編集など、CyberAccessの設定を変更することはできません。
ベーシックモード	システムへ影響を与える機能の動作を制限し、コンピュータのハードウェアやソフトウェアへの予期しないダメージを防ぎます。
セキュリティモード	CyberAccessで設定することができるすべての機能制限が設定されます。
新規作成モード	CyberAccessインストール後、新規に作成するモードです。新規にモードを作成するためには、エキスパートモードで起動する必要があります。

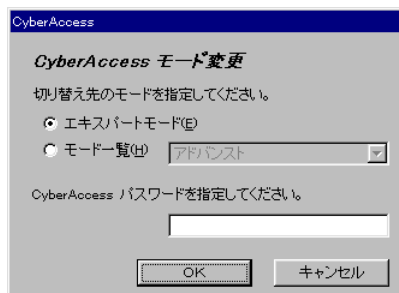
CyberAccessをインストールするときに「カスタム」セットアップを行うことで、このモードを利用するかどうかを選択することができます。「標準」セットアップを行った場合は、このモードを利用することはできません。セットアップについて詳しくは、PART 2の「追加のしかた」の「CyberAccess (→ p. 55) をご覧ください。

新規モードの作成

使用環境や使用ユーザに合わせてモードを作成します。ここで作成したモードはローカルPCに保存されます。

✓チェック!! ネットワークを利用した集中管理を行うためには、別売の「CyberAccess Ver2.0」が必要です。

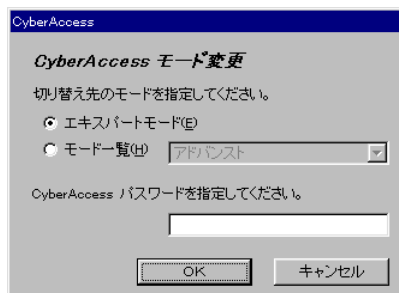
- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberAccess」で「モードの変更」をクリックする
次の画面が表示されます。



- 2 「エキスパートモード」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
システムからログオフし、エキスパートモードに切り替わります。
- 3 「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberAccess」で「利用環境
の設定」をクリックする
「CyberAccess ローカルのプロパティ」が表示されます。
- 4 「モード」タブをクリックする
- 5 「新規作成」ボタンをクリックする
- 6 「モード」欄に新規作成するモード名を入力する
モードにパスワードを設定する場合は、「モードへのアクセスをパスワード
で確認する」をチェックし、パスワードを入力します。
- 7 「制限」タブをクリックし、制限したい項目をチェックする
- 8 「単純化」タブをクリックし、システムの動作を単純化したい項目
をチェックする
- 9 「プログラム」タブをクリックする
- 10 「下記のプログラムのみ使用可能」をチェックし、「追加」ボタンを
押して利用を許可するプログラムを登録する
プログラムの利用制限を行わない場合は、チェックする必要はありません。
- 11 「OK」ボタンをクリックする

モードの編集
作成したモードを編集します。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberAccess」で「モードの変更」をクリックする
次の画面が表示されます。



- 2 「エキスパートモード」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
システムからログオフし、エキスパートモードに切り替わります。
- 3 「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberAccess」で「利用環境の設定」をクリックする
「CyberAccessローカルのプロパティ」が表示されます。
- 4 「モード」タブをクリックする
- 5 「CyberAccess モード」一覧から、編集するモードをクリックし、「編集」をクリックする
「ローカルモードのプロパティ」が表示されます。
- 6 「新規モードの作成 (→ p.28)」の手順6～10と同様に、各項目を変更する
- 7 「OK」ボタンをクリックする

モードの切り替え

使用環境や使用ユーザに合わせてモードを切り替えます。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberAccess」で「モードの変更」をクリックする
- 2 「モード一覧」をクリックする
- 3 をクリックし、切り替えるモードをクリックする
- 4 「OK」ボタンをクリックする
システムからログオフし、モードが切り替わります。

CyberAccessには、エキスパートモードへのアクセスを制限するセキュリティ機能や、起動時のモードを指定できる機能などもあります。詳しくは、「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberAccess」の「CyberAccess ヘルプ」をご覧ください。

CyberWarner-NXの機能

Windows 95の動作に影響を与えてしまうファイルを監視し、ユーザが操作中に削除または変更しようすると警告を行います。また、ログファイルを採取して、保守時に使うことができます。

 **チェック!!** CyberWarner-NXで保護されているファイルを削除しようすると、ごみ箱の中身は空なのに、中身があるようにアイコン表示されてしまう場合があります。このような場合は、次の手順で表示を正しく直してください。

- 1 「ごみ箱」アイコンを右クリックする
- 2 表示されたメニューから「プロパティ」をクリックする
- 3 「OK」ボタンをクリックする

 **チェック!!** CyberWarner-NXの監視対象となるのはファイルのみですが、監視対象となるファイルが格納されているフォルダの削除やフォルダ名の変更は行わないでください。ファイルの監視を行うことができなくなります。

CyberWarner -NXを常駐させる

1 「コントロールパネル」を開き、「CyberWarner -NX」アイコンをダブルクリックする

2 「スタートアップ」タブの「開始」ボタンをクリックする

 **チェック!!** 「CyberWarner -NX」を起動時に常駐させるには、「スタートアップ」タブの「起動時にCyberWarner -NXを実行する」をチェックし、「OK」ボタンをクリックしてください。

CyberWarner -NXの常駐を終了する

1 タスクバーの右端に表示されている「CyberWarner -NX」アイコンをクリックする

2 「終了」をクリックする

3 「CyberWarner -NXのシャットダウン」で「はい」ボタンをクリックする

ログファイルについて

・ CyberWarner -NX LogViewer

ログ対象ファイルに対して操作(移動、削除、修正、名前の変更)が行われたとき、CyberWarner -NXは、その操作内容をログファイルに保存します。ログファイルに書き込まれた情報を参照するときは、CyberWarner -NX LogViewerを使います。

 **チェック!!** 採取されたログファイルは、CyberWarner -NX LogViewerの「保守モード」でのみ操作できます。保守モードはNECの担当員から指示があったときのみ使用してください。通常は使用することはできません。

・ ログファイルの種類

ログファイルには、プライマリログファイルとバックアップログファイルの2種類があります。どちらもファイル内容は同じものですが、保存されている期間に違いがあります。ログ対象ファイルに対して操作(移動、削除、修正、名前の変更)が行われると、その操作内容をログファイルに保存します。

・ログ対象ファイル

ログ対象ファイルには、「Critical File」「Non Critical File」「Special」の3種類があります。

CriticalFile

次のファイル进行操作した場合、操作の警告画面が表示され、操作しようとしたファイルが自動的に復旧(元の状態に戻る)されます。

¥command.com	¥windows¥system¥iosubsys¥*.mdp
¥io.sys	¥windows¥system¥iosubsys¥*.pdr
¥himem.sys	¥windows¥rundll.exe
¥windows¥win.com	¥windows¥rundll32.exe
¥windows¥notepad.exe	¥windows¥progman.exe
¥windows¥regedit.exe	¥windows¥control.exe
¥windows¥explorer.exe	¥windows¥winfile.exe
¥windows¥system¥vmm32¥*. *	¥windows¥taskman.exe
¥windows ¥command.com	¥windows¥aztpnp.exe
¥windows ¥himem.sys	¥windows¥winsock.dll
¥windows¥system¥sysedit.exe	

Non Critical File

次のファイル进行操作した場合、操作の確認画面が表示されます。

¥autoexec.bat
 ¥config.sys
 ¥msdos.sys
 ¥windows ¥command¥*.exe
 ¥windows ¥command¥*.com
 ¥windows ¥command¥*.bin
 ¥windows ¥command¥*.ini
 ¥windows ¥command¥*.sys
 ¥windows ¥system¥*.dll
 ¥windows ¥system¥*.vxd

Special

次のファイル进行操作すると、操作の確認画面が表示されます。また、アプリケーションをインストールしたときにこれらのファイルに修正が加わると、自動的に修正前の状態がログファイルに保存されます。

¥windows ¥win.ini
 ¥windows ¥system.ini

エマージェンシーディスクの作り方

ウイルスに感染してパソコンが起動できなくなったときに、エマージェンシーディスクを使って起動することができます。エマージェンシーディスクは、次の手順で作成します。

用意するもの

エマージェンシーディスクの作成には、フォーマット済みのフロッピーディスクが2枚必要です。

エマージェンシーディスクの作成

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「McAfee VirusScan セントラル」をクリックする
「McAfee VirusScan セントラル」が起動します。

- 2 「ツール」→「エマージェンシーディスク」をクリックする

以降は、画面に表示されるメッセージにしたがって、エマージェンシーディスクを作成します。詳しくは、VirusScanのヘルプをご覧ください。

VShieldを有効にする

VirusScanには、Windowsで操作するファイルがウイルスに汚染されていないか監視する機能もあります。この機能を使うには、次の手順を行います。

-  **チェック!** VShieldの機能を有効にすると、ディスクアクセス時にウイルス検査を実行するため、アプリケーションなどの実行が遅くなります。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「McAfee VirusScan セントラル」をクリックする
- 2 「VirusScanセントラル」が表示されたら、「VShield」をクリックする
- 3 「システムスキャンプロパティ」が表示されたら、「システムスキャンを有効」、「システムスキャンのサスペンド可能」、「タスクバーにアイコンを表示」のチェックボックスにチェックを入れる

4 「OK」ボタンをクリックする

5 「今すぐ読み込みを行いますか?」のメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックする

これでVShieldの設定は完了です。次回起動時からは、自動的にVShieldが常駐します。

-  **チェック!!** ・VShieldが常駐している状態では、VShieldが常にファイルへのアクセスを監視するため、アプリケーションの動作が多少遅くなります。VShieldの常駐を解除する方法については、「VirusScanセントラル」のヘルプをご覧ください。

その他に「E-mailスキャン」_、「ダウンロードスキャン」_、「インターネットフィルター」の設定ができます。詳しくは、「VirusScanセントラル」のヘルプをご覧ください。

英語モードフォント

英語モードフォントを使う前に

英語モードフォントを使う前に、次の点を確認してください。

- 日本語モードフォントを使用したまま、本機で海外製Windows 95のアプリケーションを利用する場合、著作権(©)や登録商標(®)(\)が正しく表示されません。そのため、使用するフォントの一部を英語モードフォントに切り替えて、正しく表示する必要があります。また、その逆に英語モードフォントを使用したまま、本機で日本語版Windows 95のアプリケーションを利用する場合、「ㇿ」「ヨ」「ヅ」が正しく表示されないことがあります。そのときは、英語モードフォントを日本語モードフォントに切り替えます。
- 英語モードフォント、日本語モードフォントでのそれぞれの表示状態は、次の表の通りです。

	海外製Windows 95 アプリケーションを使用	日本語版Windows 95 アプリケーションを使用
日本語モードフォント	「©」→「ㇿ」「®」→「ヨ」 「\」→「ヅ」	正しく表示される
英語モードフォント	正しく表示される	「ㇿ」→「©」 _、 「ヨ」→「®」 _、 「ヅ」→「\」

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)を使う前に

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)を使う前に、次の点を確認してください。

- Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)は、管理方法として、標準化団体DMTF (Desktop Management Task Force)が規定したDMI (Desktop Management Interface)を採用しています。
- 使用しているコンピュータがネットワークに接続されている場合は、定期的にパケットが送信されることがあります。パケットを送信したくない場合は注意が必要です。詳しくは、オンラインヘルプをご覧ください。
- Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)は、起動に3分程度かかります。各種機能(「このコンピュータを管理する」、「DMITool互換」など)を使用する場合は、OS起動後しばらく待ってからこれらの機能をご使用ください。Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)を削除する場合も、OS起動後しばらく待ってから行ってください。

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)の機能

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)は、以下の機能により構成されています。

- Webブラウザによる情報表示
- システムビューアによる情報表示

操作方法や表示画面については、オンラインヘルプ、ユーザズガイド、リリースノートおよび[※] ご使用になる前に (README.txt)をご覧ください。

NEC拡張機能とは

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0に対して、NEC独自に拡張した機能です。

拡張した機能には、次のようなものがあります。

- *1 標準状態でインストールされます。
- *2 標準状態でインストールされません。
- *3 「DMIT00L互換画面」を選択すると、自動的にインストールされます。インストールしたくない場合は、「DMIT00L互換画面」のチェックボックスのチェックを外してください。

インストールする機能を追加 / 削除するためには、「NEC拡張機能」を選んで「変更」ボタンをクリックしてください。

DMIT00L互換画面^{*1}

DMIT00L互換のユーザインターフェイス(システムビューワ、MIFブラウザ、SMBIOSブラウザ、資産管理ブラウザ)を使用可能にします。

USB接続デバイス一覧^{*1 *3}

USBに接続されているデバイスの一覧を表示可能にします。

モデム一覧^{*1 *3}

Windowsにセットアップされているモデムの一覧を表示可能にします。

プリンター一覧 / プリント監視^{*1 *3}

接続されているプリンタの一覧表示と、プリンタの状態監視を可能にします。

拡張資産管理^{*1 *3}

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0の資産管理機能に、リース情報 / 棚卸し管理を追加し、リース / 棚卸し管理を可能にします。

H/W変更監視^{*2}

HDD/CPU/メモリが変更された場合に、警告を表示する機能を提供します。

TOOL連携^{*2}

コンピュータの異常を検出したときに、バックアップツールなどの起動やシステムのシャットダウンを行う機能を提供します。

連携するツールは、インストールするOSに合わせて標準で設定されていますが、標準の設定から変更する場合は、インストール後、「NEC Extensionリリースノート」の「TOOL連携について」を参照してください。

SMBIOS情報^{*2}

SMBIOS情報を管理者などの他のコンピュータから参照可能にする場合は、このコンポーネントをインストールしてください。

pcAnywhere 9.0 EX

pcAnywhere 9.0 EXを使う前に

pcAnywhere 9.0 EXを使う前に、次の点を確認してください。

- ・本機に添付されているpcAnywhere 9.0 EXを使って、他のパソコンを操作することはできません。
- ・接続デバイスは、IPX(Windows NTを除く)、SPX、NetBIOS、Banyan VINES、TCP/IPが設定できます。
- ・他のパソコンから本機を操作するには、相手側のパソコンに別売の「DMIT00L Ver8.1(pcAnywhere™ 9.0 EX コンプリート版付)」または「pcAnywhere(Symantec社製)」がインストールされている必要があります。機能説明や使用方法についても、別売の「DMIT00L Ver8.1(pcAnywhere™ 9.0 EX コンプリート版付)」などのマニュアルをご覧ください。

RSA SecurPC

RSA SecurPCを使う前に

RSA SecurPCを使う前に、次の点を確認してください。

- ・操作方法については、添付の「アプリケーションCD-ROM」に入っている次のファイルをご覧ください。

¥SecurPC¥SecurPC.pdf

- ・¥SecurPC¥SecurPC.pdfをご覧になるにはAcrobat Readerが必要です。インストールの方法は、PART2の「追加のしかた」の「Acrobat Reader(→ p.54)」をご覧ください。

RSA SecurPCの機能

- ・RC4という暗号方式のアルゴリズムの方式を使用しています。
- ・マイコンピュータやエクスプローラのファイルメニューにコマンドを追加できます。
- ・共有パスワードでファイルを暗号化し、ファイルを共有することができます。また、RSA SecurPCを持っていないユーザとファイルを共有することもできます。

Masty Data Backup

Masty Data Backupの機能

“ハードディスクが突然クラッシュ”このときの損害は計り知れないものがあります。そのため、データのバックアップは不可欠です。Masty Data Backupは、このような万が一の事態にもデータを保全し、お客様の損害を未然に防ぐツールです。

Masty Data Backupには次のような機能があります。

- ・OSがサポートしている装置(MQ、PD、ハードディスクなど)にデータをバックアップできます。
- ・日付 / 曜日 / 時間を指定すれば、好きな時に自動実行するスケジューリングができます。
- ・データの圧縮を行いながらバックアップができます。
- ・複数枚の媒体に分けてバックアップができます。
- ・世代管理ができます。
- ・S.M.A.R.T機能を利用したバックアップができます。

インターネット設定切替ツール

インターネット設定切替ツールの機能

インターネット設定切替ツールを使うと、複数のダイヤルアップ接続を使い分けたり、ダイヤルアップ接続からLAN接続へ切り替えたりと、利用シーンに応じて通信環境を切り替えることができます。パソコンを携帯して、外出先でインターネットを利用するときなどに便利な機能です。

詳しくは、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「内蔵モデム」の「インターネットへの通信環境を切り替える」をご覧ください。

ワンタッチスタートボタンの設定(VA65J、VA50J/AF、VA45J/AXを除く)

「ワンタッチスタートボタン」の機能

ワンタッチスタートボタンを使うと、ボタンを押すだけで、あらかじめ設定したアプリケーションを起動することができます。

詳しくは、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「ワンタッチスタートボタン」をご覧ください。

Virtual CD 2(VA50J/BH、VA40H、VA33Hのみ)

Virtual CD 2の機能

Virtual CD 2は、パソコンに仮想CD-ROMドライブを追加して、そのドライブで利用できる仮想CDを作成し、利用するためのアプリケーションです。作成した仮想CD-ROMドライブは、Windows上で通常のCD-ROMドライブを扱うような感覚で利用できます。

詳しくは、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「CD-ROMドライブ」の「Virtual CD 2を使う」をご覧ください。

自動メール受信ユーティリティ

メールの受信方法を自動受信に設定すると、パソコンから離れて何か別なことをしている間に自動的にメールを受信することができます。

自動受信の設定を行う

ここでは、おもにOutlook Expressを使用してメールを自動受信するための手順を説明します。その他のメールソフトを使用したい場合は、メールソフトが次の機能に対応しているか確認し、設定をしておいてください。

- ・ 自動受信
- ・ 接続設定
- ・ 受信後に回線切断



チェック!!

- ・ Outlook Expressでメールの自動受信を行うには、あらかじめOutlook Expressでメールの送受信が行えるように設定しておく必要があります。この時「ユーザーの管理」機能を使用するとメールの自動受信は行えません。
- ・ Outlook Expressの場合、初回および2回目起動時と、はじめてメールを送受信したときにキー入力が必要とするため、自動受信がうまく行えない場合があります。必ず2回以上、送受信テストを行ってから利用してください。
- ・ 自動受信を行うには、Outlook Expressで自動切断の設定が必要です。また、自動切断の設定直後には必ずWindowsの再起動を行ってください。

メール着信ランプについて(VA65J、VA50J/AF、VA45J/AXを除く)

自動受信の設定をしていると、「メール着信ランプ」()を見るだけで、自分宛てのメールが届いているかどうかを確認することができます。この機能を利用すると、メール着信の確認のためだけにインターネットに接続する必要がなくなります。

メールが届いているとメール着信ランプが緑色に点灯します。

自動メール受信ユーティリティの設定をする

自動メール受信ユーティリティを始める

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「自動メール受信ユーティリティ」→「自動メール受信ユーティリティ」をクリックする
「自動メール受信ユーティリティ」の画面が表示されます。
- 2 「メールの自動受信を行う」の左の  をクリックする
 が緑色になり、メッセージの画面が表示されます。
すでに  が緑色になっている場合は、設定ができる状態です。
- 3 「OK」ボタンをクリックして、メッセージの画面を閉じる
これで、自動メール受信ユーティリティの設定を始めることができます。
次の手順で、メールパスワードを設定してください。

メールパスワードを設定する

- 1 「自動メール受信ユーティリティ」の画面で「受信設定」ボタンをクリックする
「受信設定」の画面が表示されます。

2 「パスワード入力」の入力欄をクリックし、「メールパスワード」を入力する



チェック!!

・ここで入力するパスワードは、メールサーバに接続するときに使うパスワードです。

・パスワードの入力では、入力した文字がすべて「*」で表示されるので、画面上では確認できませんが、必ず半角で、大文字と小文字を区別して入力してください。

3 「入力確認用」の入力欄をクリックし、手順2と同じメールパスワードを入力する

4 「OK」ボタンをクリックする

これでメールパスワードの設定ができました。
続けて、自動受信する日時を設定してください。

自動受信する日時を設定する

1 「自動メール受信ユーティリティ」の画面で「毎日」「平日」「カスタム」のいずれかの をクリックする が緑色に変わります。

2 「設定時間1」で受信したい時刻を選ぶ

3 「OK」ボタンをクリックする

4 「設定が変更されています。保存して終了しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする これで、自動受信の設定は終了です。



チェック!!

・インターネット接続用のパスワードが保存されていないと、メールの自動受信は行えません。

・パスワードには、大文字 / 小文字 / 全角 / 半角の区別がありますので、間違えないように入力してください。

メールを自動受信する前に

メールを自動受信するときには、設定した時刻に本機の電源が入っている状態にしておく必要があります。しばらくパソコンから離れている間に受信する場合などは、本機をサスペンド状態にしておくことをおすすめします。また、Outlook Expressなど自動受信するためのメールソフトは終了しておいてください。

参照 サスペンド状態にする→『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能 (Windows 95の場合)」

メールを自動受信する

メールを自動受信している間は、画面が自動的に表示されて、次々に画面が切り替わります。すべて自動的に行われるので、操作の必要はありません。

チェック!! 自動受信するためのメールソフトが起動している状態では自動受信は行えません。

「自動メール受信の実行中にエラーが発生しました。」と表示された場合自動受信が正しく行われなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。この場合は、次のような原因が考えられますので、エラーメッセージの画面を閉じて、設定を確認してください。

- ・メールパスワードの入力に誤りがあった
- ・インターネット接続用のパスワードが保存されていなかった
- ・メールの自動受信を行う前に、メールソフトを終了していなかった
- ・メールソフトにメールパスワードが保存されていなかった
- ・メールソフトに複数のアカウントが登録されていた

メールが受信されたら

Outlook Expressを自動受信するメールソフトに設定している場合は、メールを受信するとメール着信ランプ(VA65J、VA50J/AF、VA45J/AXを除く)が点灯します。また、VA65J、VA50J/AF、VA45J/AXやOutlook Express以外のメールソフトをご利用の場合には、「新しいメールが到着しています。」というメッセージが表示されます。受信したメールは、メールソフトを起動して読みます。

メールの自動受信の設定を解除するには

- 1** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「自動メール受信ユーティリティ」→「自動メール受信ユーティリティ」をクリックする
「自動メール受信ユーティリティ」の画面が表示されます。
- 2** 「メールの自動受信を行う」の左の  (緑色) をクリックする
 が灰色に変わります。
- 3** 「OK」ボタンをクリックする
- 4** 「設定が変更されています。保存して終了しますか?」という画面で「はい」ボタンをクリックする

これで自動受信の設定が解除されました。

P A R T

2

添付アプリケーションの 追加と削除

添付アプリケーションを追加したり削除したりする方法を説明しています。



追加の前に

次のような場合に、アプリケーションを追加する方法を説明しています。

- ・添付のCD-ROMに入っているアプリケーションを追加する場合
- ・標準でインストールされているアプリケーション、または添付のCD-ROMから追加したアプリケーションを削除した後に再追加する場合

追加するときの注意

- ・CD-ROMドライブまたはCD-RWDドライブが内蔵または添付されていないモデルの場合、アプリケーションを追加するには、CD-ROMドライブが必要です。
- ・ここでは、CD-ROMドライブを使用した場合の説明が記載されています。「CD-ROMドライブ」はお使いの機種により「CD-RWDドライブ」に読み替えてください。
- ・「C:\¥Program Files」や「C:\¥Windows」などのシステムが使用しているフォルダには、アプリケーションをインストールしないでください。
- ・CD-ROMを使用して追加した場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。

追加の準備

添付の「アプリケーションCD-ROM」を使用して追加する場合は、次の手順を行ってください。

なお、添付アプリケーションによっては、以下の手順が必要ないものもあります。

- 1** CD-ROMドライブに、添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2** 「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されます。

3 「セットアップと削除」タブを選ぶ

4 「セットアップ」ボタンをクリックし、「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのセットアップ」を起動する

5 「次へ」ボタンをクリックする

6 「セットアッププログラムの実行」の「セットアッププログラムのコマンドライン」に「<CD-ROMドライブ名>:¥NSETUP.EXE」と入力する

例 CD-ROMドライブ名がQの場合
Q: ¥NSETUP.EXE

7 「完了」ボタンをクリックする
「プロダクトの選択」が表示されます。

追加の作業中に、メッセージのウィンドウが他のウィンドウに隠れてしまった場合は、タスクバーにあるそのメッセージウィンドウのボタンをクリックして、最前面に表示してください。



追加のしかた

アプリケーションを追加する手順を各添付アプリケーションごとに説明しています。

Office 2000 Personal

この説明は、Office 2000 Personalモデルのみを対象としています。
Office 2000 Personalは次のアプリケーションで構成されています。

- ・Excel 2000(表計算ソフト)
- ・Word 2000(ワープロソフト)
- ・Outlook 2000(メール / スケジュール管理ソフト)

Office 2000 Personalをまとめて追加することも、各アプリケーションごとに追加することもできます。

追加のしかたについては、『活用ガイド 再セットアップ編』の「Office 2000 Personalの再セットアップ」をご覧ください。

Office 2000 Professional

この説明はOffice 2000 Professionalモデルのみを対象としています。
Office 2000 Professionalは次のアプリケーションで構成されています。

- ・Excel 2000(表計算ソフト)
- ・Word 2000(ワープロソフト)
- ・Outlook 2000(メール / スケジュール管理ソフト)
- ・PowerPoint 2000(プレゼンテーション資料作成ソフト)
- ・Access 2000(データベース管理ソフト)
- ・Publisher 2000(DTPソフト)
- ・顧客データマネージャ(顧客情報管理ソフト)
- ・Business Planner(ビジネス情報検索ソフト)

Office 2000 Professionalをまとめて追加することも、各アプリケーションごとに追加することも出来ます。

追加のしかたについては、『活用ガイド 再セットアップ編』の「Office 2000 Professionalの再セットアップ」をご覧ください。

一太郎10バック

この説明は、一太郎モデルのみを対象としています。
一太郎10バックは次のアプリケーションで構成されています。

- ・ 一太郎10(ワープロソフト)
- ・ 花子10(図形作成ソフト)
- ・ 三四郎9(表計算ソフト)
- ・ Sasuke(スケジュール、文書などを一元的に管理するツール)
- ・ Shuriken(メールソフト)

一太郎10バックをまとめて追加することも、各アプリケーションごとに追加することもできます。

追加のしかたについては、『活用ガイド 再セットアップ編』の「一太郎10・花子10バックの再セットアップ」をご覧ください。

インターネットエクスプローラ5

本機にはインターネットエクスプローラ4.0があらかじめインストールされていますが、インターネットエクスプローラ5を利用することもできます。インターネットエクスプローラ5を利用するには、セットアップが必要です。

インターネットエクスプローラ5のセットアップ

- 1** CD-ROMドライブに、添付の「バックアップCD-ROM」をセットする
- 2** 「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする
- 3** 「セットアップと削除」タブを選ぶ
- 4** 「セットアップ」ボタンをクリックする
「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのセットアップ」の画面が表示されます。
- 5** 「次へ」ボタンをクリックする

6 「セットアッププログラムの実行」の「セットアッププログラムのコマンドライン」に次のように入力する

<CD-ROMドライブ名>: ¥1e5¥1e5setup.exe

7 「完了」ボタンをクリックする

8 「使用許諾契約書」が表示されたら、よく読んでから「同意する」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックする

9 セットアップ方法を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
インストールが始まります。

10 「コンピュータの再起動」画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

最新のコンポーネントを追加する

インターネットエクスプローラに最新のコンポーネントを追加するには、次の手順でインストールします。いずれも同じWebサイトに接続して、最新のアプリケーション(コンポーネント)をダウンロードします(現状のコンポーネントは、インストールモジュールで可能)。

- ・インターネットエクスプローラの「ヘルプ」→「製品更新」をクリックする
- ・「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」で追加する

1 「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする

2 「Microsoft Internet Explorer 4.0」を選び、「追加と削除」ボタンをクリックする

3 「コンポーネントをInternet Explorerに追加する」を選び、「OK」ボタンをクリックする

IntelliSyncを追加する前に、『活用ガイドハードウェア編』PART1の「赤外線通信を行う前に」の手順を行ってください。

- 1 「追加の準備」(→p.46)の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「IntelliSync」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「製品ライセンス契約」画面で契約内容を読み、同意する場合は「はい」ボタンをクリックする
- 5 「ユーザの情報」画面で「名前」「会社名」を入力し、「次へ」ボタンをクリックする
「会社名」を入力したくない(空白としたい)場合は、入力欄に全角スペースを入力してください。

 **チェック!!** シリアル番号は変更しないでください。

- 6 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「セットアップ方法」で「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「プログラムフォルダの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「質問」画面の「スタートアップグループにIntelliSyncを追加しますか?」で「いいえ」ボタンをクリックする
- 10 「セットアップの完了」画面で、「IrWizardを起動して赤外線接続を設定します」のチェックを外して「完了」ボタンをクリックする

赤外線通信を行う場合は「赤外線 (IR) 接続設定」(→p.23)をご覧ください。設定を行ってください。シリアルケーブルによる通信を行う場合は「シリアルケーブル接続設定」(→p.24)をご覧ください。設定を行ってください。

NEC Soft MPEG1.0の追加は、「コントロールパネル」の「ハードウェアの追加」で行います。

- 1** 添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2** 「コントロールパネル」を開き、「ハードウェア」アイコンをダブルクリックする
「ハードウェアウィザード」が起動します。
- 3** 「次へ」ボタンをクリックする
- 4** 「新しいハードウェアを自動的に検出しますか」と表示されたら、「いいえ」を選び「次へ」ボタンをクリックする
- 5** 「インストールするハードウェアの種類を選んでください」と表示されたら、「その他のデバイス」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 6** 「ディスク使用」をクリックし、「フロッピーディスクからインストール」画面で配布ファイルのコピー元に <CD-ROMドライブ名> : NECMPEGと入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 7** 「NEC Soft MPEG1.0」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
- 8** 「完了」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。
- 9** ファイルのコピー終了後に再起動を促すメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

プレーヤ-NX

- 1 「追加の準備 (→p.46) の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「プレーヤ-NX」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ! プレーヤ-NXの世界へ」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「Folder Selection」で「次へ」ボタンをクリックする
インストールが自動的に始まります。
- 5 「プレーヤ-NXは正しくインストールされました」と表示されたら、
「OK」ボタンをクリックする

 **チェック!!** 「アプリケーションの追加と削除」で「CDプレーヤー」を削除または再追加すると、音楽CDをセットしても「プレーヤ-NX」は自動起動しません。音楽CDをセットして「プレーヤ-NX」を自動起動させる場合は、「CDプレーヤー」→「プレーヤ-NX」の順で再追加してください。

DirectCD/Easy CD Creator(CD-RWモデルのみ)

- 1 「Easy CD Creator™ 4 Standard/DirectCD™ 3 CD-ROM」を
CD-RWドライブにセットする
インストーラが起動します。
- 2 一覧から「Adaptec Easy CD Creator」をクリックする
- 3 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「製品ライセンス契約」画面で契約内容をよく読み、同意する
場合は「はい」ボタンをクリックする
- 5 「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「セットアップの完了」画面で「完了」ボタンをクリックする

 **チェック!!** Acrobat Readerをインストールしていない場合、続けてAcrobat Readerのインストールをおこなうかどうか選択する画面が表示されます。ここでは「はい」ボタンをクリックしてください。

7 一覧から「Adaptec DirectCD」をクリックする

8 「DirectCD」画面で「はい」ボタンをクリックする

9 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする

10 「製品ライセンス契約」画面で契約内容をよく読み、同意する場合は「はい」ボタンをクリックする

11 「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする

12 「プログラムフォルダの選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする

 **チェック!!** Acrobat Readerをインストールしていない場合、続けてAcrobat Readerのインストールをおこなうかどうか選択する画面が表示されます。ここでは「はい」ボタンをクリックしてください。

13 「終了」ボタンをクリックする

14 再起動を促すメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックする

Acrobat Reader

1 「追加の準備 (→p.46) の手順1～7を行う

2 「プロダクトの選択」で「Adobe Acrobat Reader 3.0J」をクリックして「OK」ボタンをクリックする

3 「Adobe Acrobat 3.0J インストール」で「はい」ボタンをクリックする

- 4 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「使用許諾契約書」の内容を読み、内容に同意できる場合は「はい」ボタンをクリックする
- 6 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「セットアップの完了」の画面が表示されたら、Acrobat ReaderのReadmeを読む場合はそのまま「終了」ボタンを、読まない場合は「Acrobat Reader 3.0J Readmeファイルを表示する。」のチェックを外してから、「終了」ボタンをクリックする
Readmeファイルを読む場合は、読み終わったら右上の  をクリックしてください。
- 8 「セットアップが終了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

CyberAccess

 **チェック!!** 「C:\Program Files」や「C:\Windows」などのシステムが使用しているフォルダには、アプリケーションをインストールしないでください。
CyberWarner-NXのみをインストールすることはできません。CyberAccessのインストールと同時に、CyberWarner-NXをインストールしてください。

- 1 「追加の準備 (→p.46) の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「CyberAccess」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「CyberAccess セットアッププログラムへようこそ」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「インストール先ディレクトリを選択」で「次へ」ボタンをクリックする

5 「CyberAccess」の画面でセットアップ方法を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

「標準」または「カスタム」のどちらかにチェックを付けてください。

CyberAccessをセットアップするときには、次の項目を設定します。「標準」に設定すると自動的にセットアップが行われます。

・利用できるモード

新規に作成しなくても、あらかじめ準備されているモードのことです。インストール後、「利用環境の設定」から登録することによって利用することができます。

セットアップ方法	設定値
標準	エキスパートモード、セキュリティモード
カスタム	エキスパートモード、セキュリティモード (上記のほかに、アドバンスモード、ベーシックモードを追加選択可能)

・標準起動モード

特定のモードに対応付けられていないユーザ名でログインしたときなどに起動するモードです。モードはセットアップ後に変更することもできます。

セットアップ方法	設定値
標準	エキスパートモード
カスタム	任意のモードを設定可能

・エキスパートモードのパスワード

エキスパートモード(CyberAccessを設定可能な管理者モード)のパスワードです。設定することにより、不正なアクセスやCyberAccessの設定変更などを防ぐことができます。パスワードはセットアップ後に変更することもできます。

セットアップ方法	設定値
標準	manager
カスタム	任意の文字列に変更可能 (初期値は manager)

以降、手順6～9は「カスタム」を選択した時の手順です。「標準」を選択すると、自動的に設定が行われますので、手順10に進んでください。

- 6 セットアップ時に自動的に作成するモードを選択して「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「標準起動モード」を選択して「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「エキスパートモードのパスワード」を設定して「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「CyberAccess サーバ名の入力」欄には何も入力せず、「ネットワークモードをダウンロードしない」にチェックがついていることを確認して「次へ」ボタンをクリックする
この項目は、ネットワークを利用した集中管理を行うためのものです。集中管理を行うためには、別売の「CyberAccess Ver2.0」が必要です。
- 10 「CyberWarner」の画面で「次へ」ボタンをクリックする
CyberWarner-NXをインストールしない場合は、「CyberWarnerをインストール」のチェックを外してください。
- 11 「セットアップ開始」で「次へ」ボタンをクリックする
- 12 「Cyber Access のセットアップに成功しました。」と表示されたら「完了」ボタンをクリックする
CyberWarner-NXをインストールしない場合は、これで操作は完了です。CyberWarner-NXをインストールする場合は、続けて手順13以降の操作を行ってください。
- 13 「CyberWarner-NX セットアップへようこそ！」で「次へ」ボタンをクリックする
- 14 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 15 「セットアップへようこそ！」と表示された場合は「次へ」ボタンをクリックする
- 16 「インストールを有効にするために再起動する必要があります」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

- 1 「追加の準備 (→p.46) の手順1～7を行う
 - 2 「プロダクトの選択」で「McAfee VirusScan」をクリックして、「OK」ボタンをクリックする
セットアッププログラムが起動します。
 - 3 「セットアップへようこそ」で「次へ」ボタンをクリックする
 - 4 契約内容に同意の上、「はい」ボタンをクリックする
 - 5 「セットアップ方法」で「カスタム」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックして、表示された画面の「パス」にインストール先を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。
 - 6 「コンポーネントの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
 - 7 「オプションの選択」で「ブート時にシステムをスキャン」、「エマージェンシーディスクを作成」および「McAfee VirusScan セントラルのショートカット作成」のチェックを外し、「次へ」ボタンをクリックする
- エマージェンシーディスクは、後から作成することもできます。詳しくは、VirusScanのヘルプをご覧ください。
-  **チェック!!** 「ブート時にシステムをスキャン」のチェックを外さずにインストールした場合、MS-DOS用アプリケーションが動作しなくなる場合があります。
- 8 「プログラムフォルダの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
 - 9 「インストール設定の確認」で「次へ」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。
 - 10 「システム領域のスキャンが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

11 「この製品についての最新の情報を表示しますか?」と表示されるので、このまま最新の情報を読む場合は「はい」ボタン、読まない場合は「いいえ」ボタンをクリックする
読み終わったら右上のをクリックしてください。
最新の情報は「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「ウィルスデータベースの内容」をクリックして読むことができます。

12 「変更事項」画面で「次へ」ボタンをクリックする

13 インストールが終了すると、「インストールが完了しました」と表示されるので、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選び、「終了」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

次回起動時からは、自動的にVShieldが常駐します。

英語モードフォント

英語モードフォントに切り替えるには、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールする必要があります。

- 1** 「コントロールパネル」を開き、「フォント」アイコンをダブルクリックする
- 2** 「ファイル」の「新しいフォントのインストール」を選択する
- 3** CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 4** 「フォントの追加」の「ドライブ」に「アプリケーションCD-ROM」をセットしたドライブ(通常はQ: ¥)を指定する
- 5** 「フォルダ」で「usfont」フォルダをダブルクリックする
- 6** 「フォントの一覧」に「EnglishModeFixedSys(Set#6)」「EnglishModeSystem(Set#6)」「EnglishModeTerminal(Set#6)」が表示されたら「すべて選択」をクリックし「OK」をクリックする

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)

✓チェック!! Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)を動作させるためには、ネットワークの設定が行われておりTCP/IPプロトコルがインストールされている必要があります。まだ、TCP/IPプロトコルがインストールされていない場合は、Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)をインストールする前に、TCP/IPプロトコルのインストールを行ってください。TCP/IPの設定を行う前に、Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)をインストールした場合、起動時にエラーメッセージが表示される場合がありますが、TCP/IPをインストールすると正しく動作するようになります。

- 1** 「追加の準備」(→p.46)の手順1～7を行う
- 2** 「プロダクトの選択」で「Intel® LANDesk® Client Manager6.0 (NEC Extension)」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
- 3** 「ようこそ」画面で、「次へ」ボタンをクリックする
- 4** 「製品ライセンス契約」の画面で契約内容を読み、同意する場合は「はい」ボタンをクリックする

✓チェック!! 「デスクトップ管理」がインストールされていると、Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)はインストールすることができません。

- 5** 「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 6** 「コンポーネントの選択」画面が表示されたらインストールするコンポーネントを選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 7** 「プログラムフォルダの選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 8** 「ユーザの追加」画面で「ユーザ名」と「パスワード」を入力して、「次へ」ボタンをクリックする

✓チェック!! Acrobat Readerがインストールされていないと、「警告」画面が表示されることがあります。「警告」画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてください。

- 9** 「セットアップの完了」画面で「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」がチェックされていることを確認して、「完了」ボタンをクリックする

pcAnywhere 9.0 EX

- 1 「追加の準備 (→p.46) の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「pcAnywhere 9.0 EX」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「ユーザーの情報」画面で「名前」と「会社名」を入力して、「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「オンライン使用許諾契約」で「はい」ボタンをクリックする
- 6 「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「セットアップの確認」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「セットアップの完了」画面で、「はい、直ちにコンピュータを再起動します」がチェックされていることを確認して「完了」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

RSA SecurPC

- 1 userpref.!!!ファイルのバックアップを保存するための、1.44Mバイトでフォーマットした空のフロッピーディスクを1枚用意する
- 2 「追加の準備 (→p.46) の手順1～7を行う
- 3 「プロダクトの選択」で「RSA SecurPC for Windows 95」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
- 4 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「複写先を選択」で「次へ」ボタンをクリックする

- 6** 「RSA SecurPCへようこそ」で「OK」ボタンをクリックする
- 7** 「ランダム鍵の生成」で、「鍵生成達成率100%」になるまで適当なキー入力およびマウスカーソルの移動操作を行い、「ランダム鍵の生成が終了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 8** 「RSA SecurPC」で「ユーザー名」と「ユーザーパスワード」の設定を行い、「OK」ボタンをクリックする
- 9** 「ユーザー参照ファイルをバックアップするドライブを選択し、フロッピーディスクを挿入してください。」と表示されたら、1.44Mバイトでフォーマットされた空のフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットし、「OK」ボタンをクリックする
- 10** 「RSA SecurPCセットアップは完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 11** 「RSA SecurPCのインストレーションが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

Masty Data Backup

- 1** 「追加の準備 (→p.46) の手順1～7を行う
- 2** 「プロダクトの選択」で「Masty Data Backup/F」を選び、「OK」ボタンをクリックする
- 3** 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 4** 「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 5** 「セットアップ完了」画面で「完了」ボタンをクリックする
Readmeファイルを読む場合は、「Readmeファイルを読みます。」をチェックしてください。

インターネット設定切替ツール

- 1 「追加の準備 (→p.46) の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「インターネット設定切替ツール」を選び、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「インストール先の選択」画面で、「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「セットアップの完了」画面が表示されたら、Readmeを読む場合はそのまま「完了」ボタンを、読まない場合は「Readmeファイルを読む。」のチェックを外してから、「完了」ボタンをクリックする
Readmeファイルを読む場合は、読み終わったら  をクリックしてReadmeファイルを閉じてください。

Virtual CD 2 (VA50J/BH、VA40H、VA33Hのみ)

- 1 「追加の準備 (→p.46) の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「Virtual CD 2」を選び、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「Virtual CD」画面で「続行」ボタンをクリックする
- 4 「インストール先パスの設定」画面で「続行」ボタンをクリックする
- 5 「セットアップは正常に終了しました。」と表示されたら「再起動」ボタンをクリックする



削除の前に

添付のアプリケーションの削除に関する注意事項を説明しています。

削除するときの注意

- ・アプリケーションを削除する場合は、ご利用にならないことをよくご確認のうえ、削除してください。
- ・インターネットエクスプローラは削除することはできません。
- ・CD-ROMドライブまたはCD-RWドライブが内蔵または添付されていないモデルの場合、削除したアプリケーションを再度追加するためには、CD-ROMドライブが必要になります。
- ・ここではCD-ROMドライブを使用した場合の説明が記載されています。「CD-ROMドライブ」はお使いの機種により「CD-RWドライブ」に読み替えてください。
- ・ご自分でインストールされたアプリケーションの削除については、そのアプリケーションに添付されたマニュアルをご覧ください。
- ・ハードディスクの空き領域を増やしたい場合は、不要なアプリケーションを削除することによって空き領域を増やすことができます。
- ・アイコンを削除する場合は、「アイコン削除の準備」(→ p.66)を行ってから削除します。
- ・CD-ROMを使用して削除した場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。

削除の準備

コントロールパネルを使って削除する場合は、次の手順を行ってください。
CD-ROMを使用する場合とアプリケーションのアンインストール機能を使う場合は必要ありません。

なお、添付アプリケーションによっては、次の手順が必要ないものもあります。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されます。

2 「セットアップと削除」タブを選択する

削除の作業中に、メッセージのウィンドウが他のウィンドウに隠れてしまった場合は、タスクバーにあるそのメッセージウィンドウのボタンをクリックして、最前面に表示してください。

-  **チェック!!** ・ 削除したとき、アプリケーションによってはフォルダやデスクトップ、スタートメニューにショートカットが残る場合があります。その状態でも、操作上は支障ありません。
- ・ アイコンを削除するには、各アプリケーションの削除方法にしたがって操作してください。
 - ・ アプリケーションによっては、削除中に「共有ファイルを削除しますか?」、「共有コンポーネント」などの画面が表示される場合があります。このような画面は、インストールされているアプリケーションが共通で使用していると思われるファイルを削除しようとしたときに表示されます。このような画面が表示された場合は、「すべていいえ」や「すべて残す」を選んで、ファイルを削除しないようにしてください。
 - ・ 「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」でアプリケーションを選んで「追加と削除」ボタンをクリックした後は、途中で中断しても、そのままではアプリケーションを使用できないことがあります。その場合は、本機を再起動して、アプリケーションを再度インストールし直してください。

アイコン削除の準備

アプリケーションを削除した後、デスクトップに残ったアイコンを削除する場合は、アイコンを削除する前に、次の手順を行ってください。

- 1** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリックする
- 2** 「表示」メニュー→「フォルダオプション」をクリックする
- 3** 「表示」タブの「詳細設定」の「ファイルの表示」で「すべてのファイルを表示」を選択する
- 4** 「OK」ボタンをクリックする

この後、各アプリケーションの削除方法でアイコンを削除します。

削除のしかた

アプリケーションを削除する手順を各添付アプリケーションごとに説明しています。

Office 2000 Personal

Office 2000 Personalの削除

- 1** 「削除の準備 (→p.65) の手順1～2を行う
- 2** 「セットアップと削除」の一覧から「Microsoft Office 2000 Personal」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3** 「Microsoft Office 2000 メンテナンス モード」が表示されたら、「Officeの削除」をクリックする
- 4** 「Microsoft Office 2000を削除してもよろしいですか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
- 5** 「Microsoft Office 2000 Personalのセットアップが正常に終了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 6** 本機を再起動する

MS-IME2000の削除

MS-IME2000以外の日本語入力システムが使用できる状態になっていない場合は、MS-IME2000は削除できません。コントロールパネルの「キーボード」→「言語」タブをクリックし、「言語の一覧」で日本語入力システムを確認してください。

MS-IME 2000の削除には、「Office 2000 Personal」CD-ROMが必要です。

- 1** 「削除の準備 (→p.65) の手順1～2を行う
- 2** 「セットアップと削除」の一覧から「Microsoft IME 2000」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする

- 3** 「Microsoft IME 2000 のセットアップ」画面が表示されたら「すべて削除」ボタンをクリックする
「本当にすべて削除しますか?」と表示されます。
- 4** 「削除する」ボタンをクリックする
- 5** 「Office 2000 Personal」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする
- 6** 「OK」ボタンをクリックする
- 7** 「セットアップが完了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 8** 再起動を促すメッセージが表示されたら、「Office 2000 Personal」CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出し、「はい」ボタンをクリックする

アイコンの削除

Office 2000 Personalを削除した後、タスクバー上にOutlookの起動アイコンが残る場合があります。

アイコンは、次の手順で削除することができます。

- 1** タスクバーにあるOutlookの起動アイコンを右クリックする
メニューが表示されます。
- 2** 「削除」をクリックする
「ファイルの削除の確認」が表示されます。
- 3** 「はい」ボタンをクリックする

Word 2000、Excel 2000、Outlook 2000、PowerPoint 2000、Access 2000
の削除

- 1 「削除の準備 (→p.65) の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「Microsoft Office 2000 Professional」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「Microsoft Office 2000 メンテナンス モード」が表示されたら「機能の追加/削除」ボタンをクリックする

 **チェック!!** Word 2000、Excel 2000、Outlook 2000、PowerPoint 2000、Access 2000全部を削除する場合は、「Officeの削除」ボタンをクリックして、「Microsoft Office 2000 を削除してもよろしいですか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックし、手順6に進んでください。

- 4 削除したいアプリケーションのをクリックし、「インストールしない」をクリックする
 - 5 「完了」ボタンをクリックする
 - 6 「Microsoft Office 2000 Professional のセットアップが正常に終了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
 - 7 「インストーラ情報」が表示されたら「はい」ボタンをクリックする
- Publisher 2000、顧客データマネージャ 2000、Business Plannerの削除

- 1 「削除の準備 (→p.65) の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「Microsoft Office 2000 Disc 2」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「Microsoft Office 2000 メンテナンス モード」が表示されたら「機能の追加/削除」ボタンをクリックする

- ✓チェック!!** Publisher 2000、顧客データマネージャ 2000、Business Planner全部を削除する場合は、「Officeの削除」ボタンをクリックして、「Microsoft Office 2000を削除してもよろしいですか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックし、手順6に進んでください。

- 4** 削除したいアプリケーションのをクリックし、「インストールしない」をクリックする
- 5** 「完了」ボタンをクリックする
- 6** 「Microsoft Office 2000 Disc 2のセットアップが正常に終了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 7** 本機を再起動する

MS-IME2000の削除

- 1** 「コントロールパネル」を開いて「キーボード」をダブルクリックする
- 2** 「言語」タブをクリックし、「追加」ボタンをクリックする
- 3** 「言語の追加」から他の言語を選択して「OK」ボタンをクリックする
- 4** 「キーボードのプロパティ」で「Microsoft IME 2000」を選択し「削除」ボタンをクリックする
- 5** 「適用」ボタンをクリックし、「OK」ボタンをクリックする

- ✓チェック!!** メッセージが表示された場合は、「はい」をクリックし「OK」ボタンをクリックしてください。

- 6** CD-ROMドライブに「Office 2000 Professional Disc 1」のCD-ROMをセットする
- 7** 「削除の準備 (→p.65) の手順1～2を行う

- 8 「セットアップと削除」の一覧から「Microsoft IME 2000」を選択し「追加と削除」ボタンをクリックする
「Microsoft IME 2000 セットアップ」が表示されます。
- 9 「すべて削除」をクリックする
- 10 「本当にすべて削除しますか？」と表示されたら「削除する」ボタンをクリックする
- 11 「セットアップが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 12 再起動を促すメッセージが表示されたら「はい」をクリックする
自動的に再起動します。

一太郎10パック

一太郎10が常駐している場合は、必ず常駐を解除してから削除してください。
常駐解除の方法は、添付の一太郎10パックのマニュアルをご覧ください。

- 1 「削除の準備（→p.65）の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「JUSTSYSTEMアプリケーションの追加と削除」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「Voice一太郎10・花子10パックのセットアップ開始」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「Voice一太郎10・花子10パックの追加と削除」で「ファイルの追加・削除」が選択されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「Voice一太郎10・花子10パックのファイルの追加・削除」で「ファイルの削除」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「削除するファイルを選択します」と表示されたら「全て選択」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックする
アプリケーションや機能を選んで削除することもできます。

- 7** 「ジャストシステム共通ファイルも削除しますか?」と表示されたら「削除しない」をクリックする
「Windowsまたは他のアプリケーションがATOKを使用しています。ATOKはコンピュータを再起動するときに削除します。」と表示されることがあります。そのときは、「OK」ボタンをクリックしてください。
- 8** 「フォルダ名を確認してください1/3」で「次へ」ボタンをクリックする
- 9** 「フォルダ名を確認してください2/3」で「次へ」ボタンをクリックする
「指定されたフォルダC:\¥JUST¥VOICEは存在しません。続行しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックしてください。
- 10** 「フォルダ名を確認してください3/3」で「次へ」ボタンをクリックする
「指定されたフォルダC:\¥JUST¥ビデオは存在しません。続行しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックしてください。
- 11** 「ファイルの削除を開始します」で「削除開始」ボタンをクリックする
削除が始まります。
- 12** 「Voice一太郎10・花子10パックのセットアップ終了」が表示されたら「再起動」ボタンをクリックする
本機が自動的に再起動します。

Intellisync

- 1** 「削除の準備 (→p.65) の手順1～2を行う
- 2** 「セットアップと削除」の一覧から「Intellisync」をクリックし「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3** 「「Intellisync」とそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
- 4** 「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときは「すべていいえ」をクリックする
削除が始まります。

- 5** 「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

NEC Soft MPEG1.0

NEC Soft MPEG1.0の削除は、「コントロールパネル」の「マルチメディア」で行います。

- 1** プレーヤ-NXなど、NEC Soft MPEG1.0を使用するアプリケーションが起動していないことを確認する
- 2** 「コントロールパネル」を開き、「マルチメディア」アイコンをダブルクリックする
- 3** 「マルチメディアのプロパティ」から「詳細設定」タブをクリックする
- 4** 「メディアコントロールデバイス」の左の田をクリックする
デバイスドライバの一覧が表示されます。
- 5** 「NEC Soft MPEG1.0」をダブルクリックし、「NEC Soft MPEG1.0のプロパティ」で「削除」ボタンをクリックする
- 6** 「削除」画面で「はい」ボタンをクリックする
- 7** 「ドライバが削除されました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 8** 削除後に再起動を促すメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックし、本機を再起動する

プレーヤ-NX

- 1** 「削除の準備（→p.65）の手順1～2を行う
- 2** 「セットアップと削除」の一覧から「プレーヤ-NX」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする

- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする削除が始まります。
- 4 「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は「すべていいえ」ボタンをクリックする
- 5 「アンインストールが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

DirectCD/Easy CD Creator(CD-RWモデルのみ)

- 1 「削除の準備 (→p.65) の手順1~2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「Adaptec DirectCD」を選び、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「'Adaptec DirectCD' とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
「共有ファイルを削除しますか?」画面が表示されたら、「すべていいえ」ボタンをクリックしてください。
- 4 「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 5 続いて「セットアップと削除」の一覧から「Adaptec Easy CD Creator 4」を選び、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 6 「アンインストールの確認」画面で「OK」ボタンをクリックする
- 7 「アンインストールが完了しました!」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

- 1 「削除の準備 (→p.65) の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「Adobe Acrobat Reader 3.0J」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときは「すべていいえ」をクリックしてください。
- 4 削除が終了し、「アンインストールが完了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

CyberAccess

CyberWarner -NXのみを選択して削除することもできます。

- 1 「削除の準備 (→p.65) の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「CyberAccess」をクリックして、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「CyberAccess アプリケーションとその全てのコンポーネントを削除しますか。」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする

CyberWarner -NXのみを削除する

「CyberWarner -NX」を常駐させていない場合は、手順3から行ってください。

- 1 タスクバーにある「CyberWarner -NX」アイコンをクリックし、「終了」をクリックする
- 2 「CyberWarner -NXのシャットダウン」で、「はい」ボタンをクリックする

- 3 「削除の準備 (→p.65) の手順1~2を行う
- 4 「セットアップと削除」の一覧から「CyberWarner -NX」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 5 「選択したアプリケーションとそのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- 6 「セットアップ」画面で「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

VirusScan

- 1 「削除の準備 (→p.65) の手順1~2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「McAfee VirusScan v4.0.3a (ブレインストール版)」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「McAfee VirusScanを本当に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
- 4 「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は「すべていいえ」ボタンをクリックする
- 5 「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 6 「ファイルを削除しますか?」と表示された場合は、「はい」ボタンをクリックする
- 7 本機を再起動する

英語モードフォント

日本語モードに切り替えるには、インストールした英語モードフォントを削除する必要があります。

- 1** 「コントロールパネル」を開き、「フォント」アイコンをダブルクリックする
- 2** 「FONTS」フォルダ内の「EnglishModeFixedSys(Set#6)」「EnglishModeSystem(Set#6)」「EnglishModeTerminal (Set#6)」(短く表示されることもあります)を選択し「ファイル」の「削除」を選ぶ
- 3** 「これらのフォントを削除してもよろしいですか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)

- 1** 「削除の準備 (→p.65)」の手順1～2を行う
- 2** 「セットアップと削除」の一覧から「Intel LANDesk Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3** 「「Intel LANDesk Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」で「はい」ボタンをクリックする
- 4** 「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたら「すべていいえ」ボタンをクリックする
- 5** 「LDCMのアンインストール画面」で「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

pcAnywhere 9.0 EX

- 1 「削除の準備 (→p.65) の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「pcAnywhere 9.0 EX」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「ファイル検出の確認」画面で「はい」ボタンをクリックする
- 4 「共有ファイルを削除しますか？」画面で「すべていいえ」ボタンをクリックする
- 5 「コンピュータからプログラムを削除」画面で「OK」ボタンをクリックする
- 6 「「pcAnywhere 9.0 EX」はシステムから削除されました。コンピュータを再起動して、アンインストール時に使用中だったファイルを削除することをお勧めします。」で「OK」ボタンをクリックする
- 7 「コンポーネントからpcAnywhereをアンインストールしました。今すぐに再ブートしますか？」で「はい」ボタンをクリックする

RSA SecurPC

- 1 「削除の準備 (→p.65) の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「RSA SecurPC」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「RSA SecurPCアンインストール」で「はい」ボタンをクリックする
- 4 「Windowsを再起動するまで、お待ちください。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。
- 5 「アンインストールが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

- 1 Masty Data Backupを終了する
タスクトレイに時計アイコンが表示されている場合は、タスクトレイの時計アイコン上で右クリックし、表示されたダイアログボックスの右上の  ボタンをクリックして「自動実行を終了しますか?」と表示されたら「OK」ボタンをクリックしてください。
- 2 「削除の準備 (→ p. 65) の手順1～2を行う
- 3 「セットアップと削除」画面の一覧から「Masty Data Backup/F」を選び、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 4 「Masty Data Backup/F」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されるので、「はい」をクリックする
- 5 「アンインストールが完了しました」と表示されるので、「OK」ボタンをクリックする
- 6 本機を再起動する

-  **チェック!!** ・アンインストーラ(アンインストールをするプログラム)は、Windows 95の登録情報とプログラムファイルを削除します。お客様が作成されたログファイルなどは削除しません。このため、アンインストーラがディレクトリの削除に失敗することがあります。この場合には、エクスプローラ、またはファイルマネージャなどを使用して削除してください。
- ・再セットアップ時以外にMasty Data Backupにて作成されるファイルはログファイル以外にもいくつかあります。ログファイル以外は全て隠しファイルとなっています。

インターネット設定切替ツール

✓**チェック!!** インターネット設定切替ツールを起動している場合は、終了させてから削除を行ってください。

- 1 「削除の準備 (→p.65) の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」画面の一覧から「インターネット設定切替ツール」を選び、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「インターネット設定切替ツール」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
- 4 「コンピュータからプログラムを削除」画面で「OK」ボタンをクリックする
- 5 本機を再起動する

Virtual CD (VA50J/BH、VA40H、VA33Hのみ)

- 1 「削除の準備 (→p.65) の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」画面の一覧から「Virtual CD」を選び、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「Virtual CDのアンインストール」画面で「はい」ボタンをクリックする
- 4 「Virtual CDをシステムからアンインストールしていいですか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
- 5 「Virtual CDを完全にアンインストールしました。アンインストールを完了するにはシステムを再起動する必要があります。今すぐに再起動しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする

P A R T

3

パソコンのメンテナンスと管理

パソコンのメンテナンスのしかたやトラブルからパソコンを守るための方法などを説明しています。



パソコンをウイルスから守る

コンピュータウイルスとは

コンピュータウイルスとはプログラム的一种です。ユーザ(使用者)が気づかないうちにシステムに入り込み、異常なメッセージを表示するものや、プログラムやデータの一部を破壊するものなど、さまざまなものがあります。

コンピュータウイルスの種類

コンピュータウイルスは、その感染方法によって次の三種類に分けられます。

ファイル感染型ウイルス

一般に、実行ファイル(拡張子が .EXE や .COM)に感染するタイプのウイルスです。ウイルスに感染したファイルを実行すると、他の実行型ファイルにウイルスプログラムの本体であるウイルスコードを付着させます。

マクロ感染型ウイルス

アプリケーションのマクロ機能を使って作られたウイルスのことです。マクロ機能とは、ワープロや表計算ソフトなどでいくつかの操作をまとめて、データを一括して処理する機能のことです。マクロ感染型ウイルスは、マクロ機能が実行されることで他のデータファイルに感染します。

ブートセクタ型ウイルス

パソコンの起動時に最初に読み込まれるハードディスクやフロッピーディスクの領域をブートセクタ(IPL)といいます。ブートセクタ型ウイルスは、この領域に感染するタイプのウイルスです。本来のブートセクタの内容をウイルス自体と置き換えることにより、コンピュータ起動時にメモリの中に常駐して感染活動を行います。

コンピュータウイルスの感染を防ぐために

ウイルスの感染を少しでも防止するために、次の方法を参考にしてください。

- ・フロッピーディスクのマスター(オリジナル)は、ライトプロテクト(書き込み防止)をして保管する
- ・出所が不明なフロッピーディスクやプログラムは使用しない
- ・マクロ感染型ウイルスのおそれがあるので、出所が不明なワープロや表計算のファイルを開かない

- ・ インターネットからプログラムをダウンロードするときは、直接実行せずいったんディスクに保存し、チェックしてから使用する
- ・ 入手したプログラムはウイルス検査を済ませてから使用する
- ・ ウイルスチェックを定期的に行う

本機にはウイルスチェック用プログラムとして「VirusScan」が添付されています。

また、定期的にデータのバックアップを作成しておくことをおすすめします。万一ウイルスに感染してしまった場合にも、ドライブを初期化し、バックアップからデータを復元することで復旧できます。

参照 バックアップの取りかた→このPARTの「重要なファイルの管理」(p.91)

ウイルスを発見したら

ウイルスを駆除するには、該当ファイルを削除して、アプリケーションを再インストールすることが一番安全で確実な方法です。ただし、発見されたウイルスがブートセクタ型の場合、ブートセクタがウイルスに感染した可能性のある段階ではこの方法は使えません。

また、2次感染を防ぐため、ウイルスが発見されたパソコンで使用した媒体(フロッピーディスクやハードディスクなど)をすべて検査する必要があります。

ウイルスの被害届について

日本では、ウイルスを発見した場合、所定の機関への届出が義務付けられています。届出をしなくても罰則の規定はありませんが、今後の対策や被害状況の把握のためにも積極的な報告をお願いします。

届け出先: 情報処理振興事業協会(通称IPA)

本部 〒113-6591

東京都文京区本駒込2-28-8

文京グリーンコート センターオフィス16階

IPAセキュリティセンターウイルス対策室

電話 03-5978-7509

FAX 03-5978-7518

ホームページアドレス <http://www.ipa.go.jp/>

VirusScanを使ってウイルスを駆除する

VirusScanは、パソコンがウイルスに感染していないかを検査し、万一感染していたときには、それを駆除することができます。

VirusScanは購入時の状態ではインストールされていません。添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールしてください。

参照 「VirusScan」のインストール→「PART2 添付アプリケーションの追加と削除」

ウイルスの検査には次の4通りの方法があります。

- ・VShield
常にファイルのアクセスを監視し、ウイルスに感染しないように検査します。
- ・ScreenScan
スクリーンセーバーの実行中に、ウイルスに感染していないかを検査します。
- ・VirusScanスケジューラ
あらかじめ設定した時間に自動的にウイルスに感染していないかをチェックします。
- ・VirusScan
その場でウイルスに感染していないかを検査します。



チェック!!

- ・ワクチンソフトのウイルス検索エンジンとウイルスのデータベースファイルは順次更新されます。新種のウイルスが出現することがありますので、これらのファイルは定期的に更新してください。
詳しくは「新種のウイルスに備える」(→p.85)をご覧ください。
- ・「VirusScan」でエマージェンシーディスクを作成する場合、フォーマット済みのフロッピーディスクが2枚必要です。

常に検査する

「VShield」を使うことで、ファイルのアクセス、コピー、実行などを常に監視し、リアルタイムでウイルスの感染を検査することができます。

「VShield」の使いかたについては、VirusScanセントラルのオンラインヘルプをご覧ください。

定期的に検査する

「VirusScanスケジューラ」で1回、毎時、毎日、毎週、毎月と期間を指定して、自動的にウイルス感染の検査を実行することができます。

「VirusScanスケジューラ」の使いかたについては、VirusScanセントラルのオンラインヘルプをご覧ください。

すぐに検査する

「VirusScan」は、その場でファイルがウイルスに感染していないかを検査することができます。

外部からファイルを受け取ったときには「VirusScan」を実行して、受け取ったファイルがウイルスに感染していないことを確認してください。

「VirusScan」の使いかたについては、VirusScanセントラルのオンラインヘルプをご覧ください。

ウイルスを駆除する

ウイルスが発見されたときは、「駆除」をクリックしてウイルスを駆除してください。

詳しい説明は、VirusScanセントラルのオンラインヘルプをご覧ください。

新種のウイルスに備える

本機に添付されているVirusScanでは新種のウイルスを検出できない場合があります。新種のウイルスに対応するため、DATファイルを更新する必要があります。



チェック!!

- ・インターネットに接続できる環境(プロバイダに入会済みの場合)は、「VirusScanセントラル」で「アップデート」ボタンを押すことにより最新版のDATファイルをダウンロードすることができます。ただし、「VirusScanセントラル」の「アップデート」機能で「インターネットアクセス可能ですか」の「いいえ」を選んだ場合は、日本国外に電話をかけることがありますので十分にご注意ください。
- ・電源を入れたあとにDATファイルのアップデートを促す画面が表示されることがあります。インターネットに接続できない環境で、「アップデート」または「更新」ボタンをクリックして先に進むと、日本国外に電話をかけることがありますので十分にご注意ください。
なお、アップデートを中止する場合は、「キャンセル」ボタンまたは「OK」ボタンをクリックしてください。
- ・DATファイルの更新だけでは検出できないウイルスが発生する場合があります。その場合は、VirusScanを別途ご購入し、バージョンアップしてください。

データのバックアップを取る

バックアップとは

ハードディスクなどに保存したファイルやフォルダを誤って消してしまった場合や、ハードディスクの故障など、万一の事態に備えて、フロッピーディスクや外付けハードディスクなどに複製を作ることを「バックアップを取る」といいます。大切なデータを保護するには、定期的なバックアップが有効です。

バックアップが必要なデータ

本機のシステムが故障した場合には、添付の「バックアップ CD-ROM」を利用して購入時の状態に戻すことができます。この作業を「再セットアップ」といいます。

再セットアップを行うと、購入後にインストールしたアプリケーションや、作成した文書やデータ、保存してある電子メールなどはすべて失われます(パスワードを除く)。

再セットアップを行うと失われるデータと元に戻せるデータには、以下のようなものがあります。

	データの一例
再セットアップを行うと失われるデータ	・ワープロの文書 ・入力した伝票のデータ ・購入後にインストールしたアプリケーション ・送受信したメール ・メールのアドレス帳 ・インターネットの設定 ・BIOSセットアップメニューの設定
再セットアップを行うと元に戻せるデータ	・Windows 95(OS) ・添付の「アプリケーションCD-ROM」に入っているアプリケーション(ただし、再セットアップ完了後に再追加が必要)

インストールに必要なCD-ROMなどをお持ちの場合には、再セットアップ完了後に再追加すると元の状態に戻ります。

参照 再セットアップ→『活用ガイド 再セットアップ編』

バックアップを取るタイミング

誤ってデータを消してしまったり、システムが故障するなどの事態は、いつ起こるかわからないので、特に大切なデータは、作成したり更新したりするたびに、バックアップを取ってください。

また、日時や曜日を決めて、定期的に必要なデータのバックアップを取ることも有効です。

バックアップ先について

データをバックアップするには、データを保存するための記憶媒体(バックアップ先)が必要です。

次の表を参考にバックアップ先となる記憶媒体を選択してください。

バックアップ先	メリット	デメリット
内蔵ハードディスクのDドライブ	・記録スピードが速い ・追加の機器が必要ない ・容量が非常に大きい(数Gバイト程度)	・ハードディスク自体が故障した場合には、データが失われる
外付けハードディスク	・記録スピードが速い ・容量が非常に大きい(数Gバイト程度) ・ハードディスクが故障しても影響がない	・別売の外付けハードディスクが必要
CD-RやCD-RW	・持ち運びが可能 ・記録スピードが比較的速い ・容量が大きい(数百Mバイト程度) ・ハードディスクが故障しても影響がない	・別売のCD-RやCD-RWとディスクを扱えるドライブが必要
フロッピーディスク	・持ち運びが可能 ・他の媒体に比べて安い ・ハードディスクが故障しても影響がない	・容量が小さい(約1.4Mバイト) ・記録スピードが遅い ・別売のフロッピーディスクが必要

バックアップの手順

内蔵ハードディスクのDドライブにバックアップを取る

内蔵のハードディスクは購入時の状態では、Windowsなどのシステムが保存されている「Cドライブ」と、何もデータが入っていない「Dドライブ」に分けられています。

このDドライブにバックアップを取ります。

ハードディスク自体は故障していなくても、誤って重要なシステムファイルを削除してしまったり、本機では正常に動作しないアプリケーションをインストールすると、Windows 95が起動しなくなる場合があります。

このような場合に「Cドライブのみを再セットアップする」方法で再セットアップを行うと、トラブルを解決できます。この方法では、Cドライブのデータはすべて失われますが、パスワードを除く、Dドライブのデータは残ります。

そのため、システムの調子がおかしくなった場合には、Dドライブへのバックアップが有効です。また、新しい機器を購入する必要があるため、購入直後からバックアップを取ることができます。



参照 Cドライブのみを再セットアップする →『活用ガイド 再セットアップ編』の「カスタム再セットアップ～Cドライブのみを再セットアップする」

フロッピーディスクなどにバックアップを取る

Dドライブにバックアップを取った後、フロッピーディスクや外付けハードディスク、CD-RWなど、Dドライブとは別の記憶媒体にもバックアップを取っておくと安全です。

万一ハードディスクが故障しても、これらの記憶媒体にバックアップを取っていると、ハードディスクを修理した後で、データを復旧することができます。

お使いのモデルによっては、これらの記憶媒体にバックアップを取るために、別売の機器を購入する必要があります。

ハードディスクのメンテナンス

ハードディスクのメンテナンスをする

メンテナンスとは、ハードディスクやハードディスクに記録されているデータの障害の防止や発見、効率的な利用のために、検査や整備をすることです。このパソコンにはこれらのメンテナンスのためのツールがあらかじめインストールされています。

ハードディスクを検査 / 修復する

「スキャンディスク」を使うことで、ハードディスクやハードディスクに記録されているデータに障害がないかどうかを検査することができます。

「スキャンディスク」は、ハードディスクドライブ上のFAT(ファイルアロケーションテーブル)や、クラスタ、ディレクトリツリー構造、ドライブの物理表面の不良セクタなどをチェックします。定期的にスキャンディスクを行って、ハードディスクに障害がないか検査してください。もし障害があった場合は、修復するようにしてください。

「スキャンディスク」の使いかたについては、Windowsのヘルプをご覧ください。

ハードディスクのデータを整理する

「デフラグ」を使うことで、ハードディスク上のデータのフラグメンテーション(断片化)を解消し、データの並びを連続した状態に最適化することができます。

フラグメンテーション(断片化)とは、データがディスクの空いている場所に、バラバラに保存されている状態をいいます。この状態になると、データが連続していないため、データの読み書きに時間がかかるようになります。

「デフラグ」の使いかたについては、Windowsのヘルプをご覧ください。

使用していないファイルを削除する

「ディスククリーンアップ」を使うことで、知らないうちにハードディスクにたまった不要なファイルを削除して、ディスクの空き容量を増やすことができます。

不要なファイルには、インターネットを利用したときやソフトウェアのインストール時、ソフトウェアを使用したときにソフトウェアが作成する一時ファイルなどがあります。

「ディスククリーンアップ」の使いかたについては、Windowsのヘルプをご覧ください。

メンテナンスを定期的に行う

ハードディスクのトラブルを予防するためには、定期的にメンテナンスをすることが重要です。「メンテナンスウィザード」を使うことで、ハードディスクのメンテナンスを決められた時間に自動的に実行するように設定することができます。

「メンテナンスウィザード」の使いかたについては、Windowsのヘルプをご覧ください。

重要なファイルの管理

システムファイルをチェックする

Windows 95の動作が不安定になったときは、システムファイルにトラブルが起きていることが考えられます。「システムファイルチェッカー」は、システムファイルの問題を調べ、異常のあるファイルを修復することができます。

システムファイルとは、Windows 95の動作にかかわる重要なファイルのことです。代表的なシステムファイルの拡張子には「dll」_、「com」_、「vxd」_、「exe」_、「drv」_、「ocx」_、「inf」などがあります。

「システムファイルチェッカー」の使いかたについては、Windowsのヘルプをご覧ください。



チェック!! システムファイルチェッカーなどのシステムツールを使う前には、起動中のアプリケーションを終了させてください。

P A R T

4

他のOSを利用する

Windows 98、Windows NT 4.0を本機で使用方法を説明しています。

Windows 98 / Windows 98 Second Edition を使う

本機で別売のWindows 98またはWindows 98 Second Edition(以降、特に必要のないかぎりWindows 98と記載)を利用する場合のセットアップ方法について説明しています。

Windows 98をセットアップする前に

Windows 98の2000年問題対応について

チェック!! Windows 98 Second Editionを使用する場合は、2000年問題対応は特に必要ありませんが、Windows 98を使用する場合には、2000年問題対応が必要になります。

NECのホームページ「98Information」(<http://www.nec.co.jp/98/>)では、コンピュータの2000年問題対応について情報を提供していますので、Windows 98の2000年問題対応情報と修正プログラムを入手して適用してください。

参照 2000年問題→PART5の「2000年問題について知りたい」(p.263)

セットアップに必要なもの

Windows 98のセットアップには次のものがが必要です。あらかじめ準備しておいてください。

- ・ Microsoft® Windows® 98日本語版 / Upgrade日本語版(別売)
またはMicrosoft® Windows® 98 Second Edition 日本語版 / Upgrade
日本語版(別売)
- ・ アプリケーションCD-ROM(本機添付)

セットアップの説明について

ここでの説明はWindows 98をインストールするときに、次のようなドライブ構成を想定しています。異なるドライブ構成で利用する場合は読み替えてください。

- | | |
|---|----------------------------|
| ・ フロッピーディスクドライブ | Aドライブ |
| ・ Windows 98をインストールするドライブ
(Windows 98をインストールするディレクトリ | Cドライブ
C:¥Windowsディレクトリ) |
| ・ CD-ROMドライブ | Qドライブ |

ここでの説明は、CD-ROMドライブとフロッピーディスクドライブを使用した場合の説明が記載されています。お使いの機種により「CD-ROMドライブ」を「CD-RWドライブ」に、「フロッピーディスクドライブ」を「スーパーディスクドライブ」に読み替えてください。

Windows 98をセットアップする手順

本機で別売のWindows 98を利用するためには、次の手順でWindows 98をセットアップする必要があります。

1. パソコン本体の準備をする
2. Windows 98セットアップ前の準備をする
3. Windows 98をセットアップする
4. 周辺機器や電源管理機能の設定を行う

 **チェック!!** 「NEC PC サポートキット for Windows®98」は必要ありません。

1. パソコン本体の準備をする

- ・『活用ガイド 再セットアップ編』の「機器の準備をする」をご覧ください。パソコン本体の設定(BIOSの設定)を初期値に戻してください。
- ・別売の周辺機器はすべて取り外してください。
- ・CD-ROMドライブ、フロッピーディスクドライブが内蔵されていないモデルをお使いの場合は、CD-ROMドライブ、フロッピーディスクドライブを取り付けてください。

2. Windows 98セットアップ前の準備をする

本機のWindows 95をWindows 98へアップグレードする場合は、アップグレードする前に次の手順を行う必要があります。

VA65J、VA50J/AF、VA45J/AXを使用している場合で、Windows 98を新規にインストールする場合、またはWindows 98 Second Editionをインストールする場合は、次の手順は必要ありません。

- 1** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリックする
MS-DOSプロンプトの画面が表示されます。

2 次のように入力する

CD C:¥WINDOWS¥INF【Enter】

DEL 440MXUSB.INF【Enter】

EXIT【Enter】

以上でWindows 98セットアップ前の準備は終了です。

「3 Windows 98をセットアップする」へ進んでください。

3. Windows 98をセットアップする

本機にWindows 98をセットアップするときは、別売の「Microsoft Windows 98 日本語版」に添付の『Windows 98ファーストステップガイド』をご覧ください。Windows 98をインストールする場合、次の2つの方法があります。

フォーマット済みのドライブにWindows 98のみをセットアップする方法

ドライブを一度フォーマットして、Microsoft® Windows®98日本語版またはMicrosoft® Windows® 98 Second Edition 日本語版をセットアップします。

Windows 95がセットアップされているドライブにWindows 98をアップグレードする方法

Windows 95がセットアップされているドライブに、Microsoft® Windows®98 Upgrade日本語版またはMicrosoft® Windows® 98 Second Edition Upgrade 日本語版をアップグレードします。



チェック!!

- ・「Windows 98 へようこそ」ウィンドウが一番前に表示されている場合は、 ボタンをクリックしてウィンドウを閉じてください。
- ・CD-ROMドライブに「Windows 98 CD-ROM」をセットした後、自動的に「Windows 98 CD-ROM」の画面が表示されることがあります。画面が表示された場合は、 ボタンをクリックして画面を終了し、セットアップを続けてください。

4. 周辺機器の設定を行う

セットアップしたWindows 98の種類(Windows 98またはWindows 98 Second Edition)や、Windows 98を新規にインストールしたのか、それともWindows 95からアップグレードしたのかによって必要なドライバの設定やセットアップは異なります。次の表で必要なドライバのセットアップや設定を確認してください。

必要な設定やセットアップ	Windows 98		Windows 98 Second Edition	
	新規インストール	Windows 95からのアップグレード	新規インストール	Windows 95からのアップグレード
1 .プラグアンドプレイの設定	○			
2 .PCカード(PCMCIA)の設定	○	○		
3 .IDEハードディスクコントローラの設定	○	○		
4 .内蔵LANボード対応ドライバのセットアップ	○	○	○	○
5 .内蔵FAXモデムボード対応ドライバのセットアップ	○		○	
6 .PIAFSDライバのセットアップ	○		○	
7 .ワイヤレス通信機能のセットアップ	○		○	
8 .内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ	○	○	○	○
9 .モニタの設定	○	○	○	○
10 .ワンタッチスタートボタンのセットアップ	○	○	○	○
11 .NX PADドライバのセットアップ	○	○	○	○
12 .スーパーディスクドライバのセットアップ	○	○	○	○
13 .フロッピーディスクドライバのセットアップ	○	○	○	○
14 .MS-DOSモード用CD-ROMドライバのセットアップ	○	○	○	○
15 .内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ	○	○	○	○
16 .パワーマネージメントの設定		○		○
17 .ソフトウェアパワーOFF機能のセットアップ	○		○	
18 .ハイバネーション設定ユーティリティのセットアップ	○		○	
19 Windows 98の設定を有効にする	○	○	○	○

○：設定やセットアップの必要なドライバ

Windows 98のセットアップ終了後、周辺機器の設定を行います。お使いのパソコンにあわせて、必要な部分をお読みください。

周辺機器や電源管理機能の設定は、必ず記載されている順に行ってください。

お使いのパソコンによってドライバのセットアップ方法が多少異なります。それぞれ該当する必要な部分をご覧ください。

1. プラグアンドプレイの設定

本機をWindows 98で利用する場合は、プラグアンドプレイの設定を行うために、次の手順が必要です。

VA65J、VA50J/AF、VA45J/AXを使用している場合、Windows 95からアップグレードした場合、またはWindows 98 Second Editionをインストールした場合は、次の手順は必要ありません。

1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする

2 「デバイスマネージャ」タブをクリックする

3 次のデバイスが存在する場合は選択し、「削除」ボタンをクリックする

- ・「その他のデバイス」の「PCI Bridge」
- ・「システムデバイス」の「PCI 標準ホスト CPU ブリッジ」
- ・「システムデバイス」の「PCI 標準 ISA ブリッジ」

「デバイス削除の確認」画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックしてください。上記のデバイスが存在しなかった場合、手順4～9は不要です。「キャンセル」ボタンをクリックし、「PCカード(PCMCIA)の設定」に進んでください。

4 「システムのプロパティ」画面の「OK」ボタンまたは「閉じる」ボタンをクリックする

5 CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする

6 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリックする

7 MS-DOSプロンプトから次のように入力する

Q:【Enter】

CD ¥WIN98¥OTHER【Enter】

INFINST【Enter】

EXIT【Enter】

8 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする

9 「再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリックする 再起動します。

以上で「プラグアンドプレイの設定」は終了です。
次の「PCカード(PCMCIA)の設定」へ進んでください。

2.PCカード(PCMCIA)の設定

PCカードの設定を行うために、次の手順が必要です。
Windows 98 Second Editionをインストールした場合は、次の手順は必要ありません。

1 CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリックする

3 MS-DOSプロンプトから次のように入力する

Q:【Enter】

CD ¥WIN98¥PCMCIA【Enter】

PCMCIA【Enter】

EXIT【Enter】

4 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする

5 「デバイスマネージャ」タブをクリックする

- 6** 次のデバイスが存在する場合は選択し、「削除」ボタンをクリックする
2つ存在する場合は、2つとも削除してください。
・「PCMCIAソケット」の「Generic CardBus Controller」
- 「デバイス削除の確認」画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックしてください。
- 7** 「システムのプロパティ」画面の「閉じる」ボタンをクリックする
- 8** 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする
- 9** 「再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリックする
再起動します。
- 10** 「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動した場合は、「次へ」ボタンをクリックする
- 11** 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 12** すべてのチェックボックスからチェックを外し、「次へ」ボタンをクリックする
- 13** 「次のデバイス用のドライバファイルを検索します」というメッセージが表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
「PCカード(PCMCIA)ウィザード」が起動した場合は、手順14～19を実行してください。
- 14** 「PCカードをWindowsのインストールに使っていますか?」というメッセージが表示されたら、「いいえ」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

- 15 「システムファイルを確認して、Windowsが使用不可にするリアルモードPCカードドライバを選びますか?」というメッセージが表示されたら、「いいえ」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 16 「完了」ボタンをクリックする
- 17 「ディスクの挿入」画面が表示された場合は「OK」ボタンをクリックする
- 18 「Windows 98 CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットし、「ファイルのコピー元」に「Q: ¥WIN98」と入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 19 再起動を促すメッセージが表示された場合は「いいえ」ボタンをクリックする
- 20 「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」というメッセージが表示されたら、「完了」ボタンをクリックする
- 21 再起動を促すメッセージが表示された場合は「いいえ」ボタンをクリックする
再度、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動した場合は、手順10～20を実行してください。
- 22 起動を促すメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックする

以上で「PCカード(PCMCIA)の設定」は終了です。
次の「IDEハードディスクコントローラ設定」へ進んでください。

3. IDEハードディスクコントローラの設定

IDEハードディスクコントローラの設定を行うために、次の手順が必要です。
VA65J、VA50J/AF、VA45J/AXを使用している場合や、Windows 98 Second Editionをインストールした場合は、次の手順は必要ありません。

- 1 CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリックする

3 MS-DOS プロンプトから次のように入力する

Q:【Enter】

CD ¥WIN98¥OTHER【Enter】

IDEINST【Enter】

EXIT【Enter】

4 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする

5 「デバイスマネージャ」タブをクリックする

6 次のデバイスが存在する場合は選択し、「削除」ボタンをクリックする

- ・「ハードディスクコントローラ」の「標準 IDE/ESDI ハードディスクコントローラ」

- ・「ハードディスクコントローラ」の「標準デュアル PCI IDE コントローラ」

「デバイス削除の確認」画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックしてください。

7 再起動を促すメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックする

8 再起動中に、再起動を促すメッセージが表示された場合は「はい」をクリックする

IDE ハードディスクコントローラを設定すると、CD-ROM ドライブの構成が変更されることがあります。変更された場合は以下の手順で元のドライブに戻してください。

CD-ROM ドライブの構成を元に戻す

1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする

- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックする
- 3 「CD-ROM」をダブルクリックする
- 4 現在セットアップされているCD-ROMを選択し、「プロパティ」ボタンをクリックする
- 5 「設定」タブをクリックする
- 6 「予約ドライブ文字」の「開始ドライブ」をクリックして、表示された一覧の中からドライブ番号をクリックする
「終了ドライブ」は自動的に設定されます。
- 7 「OK」ボタンをクリックする
- 8 「システムのプロパティ」画面の「OK」ボタンまたは「閉じる」ボタンをクリックする
- 9 再起動を促すメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックする
再起動後、CD-ROMドライブの番号が変更されます。

以上で「IDEハードディスクコントローラの設定」は終了です。
次の「内蔵LANボード対応ドライバのセットアップ」へ進んでください。

4. 内蔵LANボード対応ドライバのセットアップ

内蔵LANボードを利用するため、次の手順でドライバをセットアップします。
内蔵LANボードが取り付けられていない場合は、次の手順は必要ありません。

- ・ドライバのセットアップを行うと、ネットワークの設定内容が一部初期化される場合があります。ドライバのセットアップを行う前に、ネットワークの設定を控えておいてください。
- ・「Windows 98 Second Edition CD-ROM」または「Windows 98 CD-ROM」を要求するメッセージが表示された場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。

- ・ 次のファイルが要求された時は「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットし、「ファイルのコピー元」に「Q: ¥WIN98¥100BASE」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

e100b.cat	e100b.sys	e100bnt.sys	e100bnt5.sys
net82557.inf	8255xndi.dll	wol558.vxd	8255xdel.exe
prokddp.vxd	prodd.vxd	promon.exe	prosetp.cnt
prosetp.cpl	prosetp.hlp		

上記にないファイルが要求された場合には「Windows 98 Second Edition CD-ROM」または「Windows 98 CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットし、「ファイルのコピー元」に「Q: ¥WIN98」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

次の手順でセットアップします。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックする
- 2 「現在のネットワークコンポーネント」に次のデバイスが存在する場合は選択し、「削除」ボタンをクリックする
 - ・ Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter(10/100)
 - ・ NEC PC-9821X-B06 互換 (PCI) / Intel 82557-based Ethernet
 - ・ NEC PK-UG-X006(PCI) or compatible Fast Ethernet Adapter
 - ・ NEC 82559-based Fast Ethernet Adapter
- 3 「ネットワーク」画面で「OK」ボタンをクリックする
- 4 再起動を促すメッセージが表示された場合「いいえ」ボタンをクリックする
- 5 「システム」をダブルクリックする
- 6 「デバイスマネージャ」タブをクリックする

- 7** 次のデバイスが存在する場合は選択し、「削除」ボタンをクリックする
・「その他のデバイス」の「PCI Ethernet Controller」

「デバイス削除の確認」画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックしてください。
- 8** 再起動を促すメッセージが表示されたら、「いいえ」ボタンをクリックする
- 9** 「システムのプロパティ」画面の「OK」ボタンまたは「閉じる」ボタンをクリックする
- 10** 「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする
- 11** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOS プロンプト」をクリックする
- 12** MS-DOS プロンプトから次のように入力する
Q:【Enter】
CD ¥WIN98¥100BASE【Enter】
REPX006 C:¥WINDOWS【Enter】
- 13** 「正常に終了しました。」というメッセージが表示されたら、次のように入力する
EXIT【Enter】
- 14** 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする
- 15** 「再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリックする
再起動します。
- 16** 「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動したら、検出されたデバイスが「PCI Ethernet Controller」であることを確認した後、「次へ」ボタンをクリックする

- 17** 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 18** 「検索場所の指定」のみにチェックを付け、検索場所に「Q: ¥WIN98 ¥100BASE」と入力し、「次へ」ボタンをクリックする
- 19** 「NEC 82559-based Fast Ethernet Adapter」を検出したことを確認後、「更新されたドライバ(推奨)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 20** 「次へ」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まりますので、メッセージに従ってセットアップする
- 21** ファイルコピー終了後、「完了」ボタンをクリックする
- 22** 再起動を促すメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックする

以上で「内蔵LANボード対応ドライバのセットアップ」は終了です。
次の「内蔵FAXモデムボード対応ドライバのセットアップ」へ進んでください。

5. 内蔵FAXモデムボード対応ドライバのセットアップ

内蔵FAXモデムボードを利用するため、次の手順でドライバをセットアップします。

Windows 95からアップグレードした場合や、内蔵FAXモデムボードが取り付けられていない場合は次の手順は必要ありません。

- 1** 「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする
- 2** 「コントロールパネル」を開いて「システム」をダブルクリックする
- 3** 「デバイスマネージャ」タブをクリックする
- 4** 次のデバイスを選択し、「プロパティ」ボタンをクリックする

- ・ VA50J/BH、VA40H/BS、VA33H/BCの場合
「その他のデバイス」の「PCI Card」
- ・ 上記以外のモデルの場合
「その他のデバイス」の「PCI Communication Device」

5 次の画面の「ドライバの再インストール」ボタンをクリックする

- ・ VA50J/BH、VA40H/BS、VA33H/BCの場合
「PCI Cardのプロパティ」
- ・ 上記以外のモデルの場合
「PCI Communication Deviceのプロパティ」

6 「デバイスドライバの更新ウィザード」が起動したら、「次へ」ボタンをクリックする

7 検索方法で「現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

8 「検索場所の指定」をチェックして入力欄に次のように入力し、「次へ」ボタンをクリックする

- ・ VA50J/BH、VA40H/BS、VA33H/BCの場合
Q: ¥WIN98 ¥MDMHSFB
- ・ VA65J/AF、VA50J/AF、VA45J/AXの場合
Q: ¥WIN98 ¥MDMCRBA
- ・ 上記以外のモデルの場合
Q: ¥WIN98 ¥MDMLTDF

9 「次へ」ボタンをクリックする

10 「完了」ボタンをクリックする

11 「閉じる」ボタンをクリックする

12 「システムのプロパティ」画面の「OK」ボタンをクリックする

13 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする

14 「再起動する」を選択し、「OK」をクリックする 再起動します。

以上で「内蔵FAXモデムボード対応ドライバのセットアップ」は終了です。
次の「PIAFSドライバのセットアップ」へ進んでください。

6 .PIAFSドライバのセットアップ

本機に内蔵のPIAFS機能を利用するため、次の手順でドライバをセットアップします。

Windows 95からアップグレードした場合や、内蔵PIAFS機能がない場合は、次の手順は必要ありません。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「ハードウェアの追加」アイコンをダブルクリックする
- 2 「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面で、「次の新しいドライバを検索しています。」「NEC PIAFS32k」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
- 3 「検索方法を選択して下さい。」と表示されたら、「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」を選んで「次へ」ボタンをクリックする
- 4 CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 5 「検索場所の指定」をチェックして、次のように入力する
Q: ¥WIN98¥PIAFS
- 6 「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「ドライバのある場所: Q: ¥WIN98¥PIAFS¥NEC_V207.INF」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「新しいハードウェアに必要なソフトウェアがインストールされました」と表示されたら「完了」ボタンをクリックする

以上で「PIAFSドライバのセットアップ」は終了です。
次の「ワイヤレス通信機能のセットアップ」へ進んでください。

7. ワイヤレス通信機能のセットアップ

ワイヤレス通信機能を利用するため、次の手順でドライバをセットアップします。
Windows 95からアップグレードした場合や、ワイヤレス通信機能がない場合は、次の手順は必要ありません。

- 1 CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
- 3 「デバイスマネージャ」タブをクリックする
- 4 次のデバイスが存在する場合は選択し、「削除」ボタンをクリックする
・「その他のデバイス」の「NEC PIAFS32K DCX」
「デバイス削除の確認」画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックしてください。
- 5 「システムのプロパティ」画面の「OK」ボタンまたは「閉じる」ボタンをクリックする
- 6 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする
- 7 「再起動する」を選んで「OK」ボタンをクリックする
再起動します。
- 8 「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動したら、「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「検索方法の選択」画面で、「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 10 「フロッピーディスクからインストール」画面で「Q: ¥WIN98 ¥PIAFS」と入力し、「OK」ボタンをクリックする

- 11** 「次のデバイス用のドライバファイルを検索します。 NEC PIAFS32K+Duallink Wireless Mode(DCX)」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
- 12** 「NEC PIAFS32K+Duallink Wireless Mode(DCX) 新しいハードウェアデバイスを必要なソフトウェアがインストールされました」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする

以上で「ワイヤレス通信機能のセットアップ」は終了です。
次の「内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ」へ進んでください。

8.内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ

次の手順でドライバをセットアップします。

VA50J/WX、VA50J/WT、VA45J/WS、VA46H、VA43Hの場合

- 1** CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 3** 次のように入力し、「OK」ボタンをクリックする

Q: ¥win98¥mobility¥SETUP.EXE

 **チェック!!** Windows 98 Second Editionの場合、標準でDirectX6.1aがインストールされているので、手順4～5のようなメッセージは表示されません。そのまま手順6に進みます。

- 4** 「DirectX6がインストールされていません。ディスプレイドライバをインストールする前にインストールして下さい。」というメッセージが表示された場合は、「OK」ボタンをクリックする
- 5** 「続行しますか?」というメッセージが表示された場合は、「はい」ボタンをクリックする
- 6** 「ようこそ」画面が表示されたら「次へ」ボタンをクリックする

- 7** 「製品ライセンス契約」画面が表示されたら「はい」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが行われます。

 **チェック!!** ATIRAGE.CATファイルが見つからないという内容のメッセージが表示された場合は「スキップ」ボタンをクリックしてください(ATIRAGE.CATファイルが見つからなくても、内蔵アクセラレータ対応ドライバの動作には影響ありません)。

- 8** 「セットアップの完了」画面が表示されたら「はい、直ちにコンピュータを再起動します」を選択し、「完了」ボタンをクリックする
再起動します。

VA65J、VA50J/AF、VA45J/AXの場合

- 1** CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2** 「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする
- 3** 「設定」タブをクリックし、「詳細」ボタンをクリックする
- 4** 「アダプタ」タブをクリックし、「変更」ボタンをクリックする
「デバイスドライバの更新ウィザード」が起動します。
- 5** 「次へ」ボタンをクリックし、検索方法で「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」をクリックして、「次へ」ボタンをクリックする
- 6** 「ディスク使用」をクリックし、「配布ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリックする
Q: ¥win98¥savagemx
- 7** 「デバイスの選択」の画面で次のモデルをクリックし、「OK」ボタンをクリックする

S3 Inc. Savage/MX w/MV

 **チェック!!** 「ドライバの更新の警告」メッセージが表示された場合は「はい」ボタンをクリックします。

8 「次へ」ボタンをクリックする 自動的にドライバのコピーが行われます。

-  **チェック!!** ・「バージョンの競合」メッセージが表示された場合は、「いいえ」ボタンをクリックします。
- ・S3_7.catが見つからないという内容のメッセージが表示された場合は、「スキップ」ボタンをクリックしてください(S3_7.cat のファイルが見つからなくても、内蔵アクセラレータ対応ドライバの動作には影響ありません)

9 「完了」ボタンをクリックする

10 「閉じる」ボタンをクリックし、「画面のプロパティ」の画面の「閉じる」ボタンをクリックする

11 システムの再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックする 再起動後に設定が有効になります。

VA50J/BH、VA40H、VA33Hの場合

「ドライバの更新」→「LynxEMコントロールパネルのセットアップ」→「VPMドライバのセットアップ」の順にセットアップを行ってください。

・ドライバの更新

1 CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする

2 「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする

3 「設定」タブをクリックして、「詳細」ボタンをクリックする

4 「アダプタ」タブをクリックして、「変更」ボタンをクリックする 「デバイスドライバの更新ウィザード」が表示されます。

5 「次へ」ボタンをクリックする

6 検索方法で、「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

7 「ディスク使用」ボタンをクリックする

8 「配布ファイルのコピー元」に次のように入力し「OK」ボタンをクリックする

Q: ¥WIN98 ¥SM710

9 「デバイスの選択」画面で次のデバイスを選択し、「OK」ボタンをクリックする

Silicon Motion LynxEM*****

■ *****はモデルによって異なります。

 **チェック!!** ・複数表示されている場合は、一番下を選択してください。

・「ドライバ更新の警告」画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックします。

10 「次へ」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。

 **チェック!!** 「バージョンの競合」のメッセージが表示された場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。

11 「完了」ボタンをクリックする

12 「閉じる」ボタンをクリックする

13 「画面のプロパティ」画面の「閉じる」ボタンをクリックする

14 再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
続けて、LynxEMコントロールパネルのセットアップを行ってください。

・LynxEMコントロールパネルをセットアップする

1 起動しているアプリケーションがある場合は、すべて終了する

2 タスクトレイに「SMI」と黄色くかかれたアイコンが表示されている場合は、そのアイコンを右クリックして、表示されたメニューから「終了」を選ぶ

3 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックする

4 「名前」欄に次のように入力し「OK」ボタンをクリックする

Q: ¥WIN98 ¥SM710 ¥SETUP.EXE

5 「次へ」ボタンをクリックする

6 プログラムアイコンを格納するフォルダを指定し、「次へ」ボタンをクリックする

7 「完了」ボタンをクリックする

続けて、VPMドライバのセットアップを行ってください。

・VPMドライバをセットアップする

1 起動しているアプリケーションがある場合は、すべて終了する

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックする

3 「名前」欄に次のように入力し、「OK」ボタンをクリックする

Q: ¥WIN98 ¥SM710 ¥VPM ¥SETUP.EXE

4 「Next」ボタンをクリックする

5 「Install VPM Drivers only.」を選択し、「Next」ボタンをクリックする

6 「Finish」ボタンをクリックする

再起動後、設定が有効になります。

以上で「内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ」は終了です。

次の「モニタの設定」へ進んでください。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする
- 2 「設定」タブをクリックし、「詳細」ボタンをクリックする
- 3 「モニタ」タブをクリックし、「モニタ不明」と表示されている場合は「変更」ボタンをクリックする

ここで、お使いのモニタ名称が表示されている場合は、手順4以降は不要です。「キャンセル」ボタンを2回クリックしてモニタの設定を終了してください。

- 4 「デバイスの選択」ダイアログで次の項目をクリックし、「OK」ボタンをクリックする

- ・ VA45J/WS、VA43H、VA40H、VA33Hの場合

製造元: (標準モニタの種類)

モデル: ラップトップディスプレイパネル(800x600)

- ・ 上記以外のモデルの場合

製造元: (標準モニタの種類)

モデル: ラップトップディスプレイパネル(1024x768)

- 5 次のように表示されることを確認し、「閉じる」ボタンをクリックする

- ・ VA45J/WS、VA43H、VA40H、VA33Hの場合

ラップトップディスプレイパネル(800x600)

- ・ 上記以外のモデルの場合

ラップトップディスプレイパネル(1024x768)

- 6 「画面のプロパティ」の画面で「OK」ボタンをクリックする

以上で「モニタの設定」は終了です。

次の「ワンタッチスタートボタンのセットアップ」へ進んでください。

10 .ワンタッチスタートボタンのセットアップ(VA65J、VA50J/AF、VA45J/AXを除く)

次の手順でワンタッチスタートボタンのセットアップを行います。



チェック!! ・「ディスクの挿入」画面が表示された場合は「OK」ボタンをクリックする

・「hidnbtn.sys」ファイルが要求された時は「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットし、「ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

<フォーマット済みのドライブにセットアップした場合>

Q: ¥WIN98 ¥MFNB ¥CLEAN

<Windows 95からアップグレードした場合>

Q: ¥WIN98 ¥MFNB ¥UPGRADE

上記にないファイルが要求された場合には「Windows 98 Second Edition CD-ROM」または「Windows 98 CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットし、「ファイルのコピー元」に「Q: ¥WIN98」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

1 CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする

2 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする

3 「デバイスマネージャ」タブをクリックする

4 次のデバイスを選択し、「プロパティ」ボタンをクリックする

・「キーボード」の「106日本語 (A01) キーボード (Ctrl+英数)」

5 「ドライバ」タブをクリックする

6 「ドライバの更新」ボタンをクリックする
「デバイスドライバの更新ウィザード」が起動します。

7 「次へ」ボタンをクリックする

- 8** 検索方法で「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 9** 「ディスク使用」ボタンをクリックする
- 10** 「配布ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリックする
- <フォーマット済みのドライブにセットアップした場合>
- Q: ¥WIN98 ¥MFNB ¥CLEAN
- <Windows 95からアップグレードした場合>
- Q: ¥WIN98 ¥MFNB ¥UPGRADE
- 11** 「モデル」のリスト中から「NEC Note Keyboard with One-touch start buttons」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 12** 「次へ」ボタンをクリックする
- 「ドライバ更新の警告」画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックします。
- 13** 「完了」ボタンをクリックする
- 14** 再起動を促すメッセージが表示された場合は「はい」ボタンをクリックする

再起動を促すメッセージが表示されない場合

次の手順で再起動してください。

- 1** 「閉じる」ボタンをクリックする
- 2** 「システムのプロパティ」画面の「閉じる」ボタンをクリックする
- 3** 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする

- 4** 「再起動する」を選択し、「OK」をクリックする
表示されるメッセージに従ってください。

以上で「ワンタッチスタートボタンのセットアップ」は終了です。
次の「NX PADドライバのセットアップ」へ進んでください。

11. NX PADドライバのセットアップ

次の手順でドライバをセットアップします。

- 1** CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2** 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
- 3** 「デバイスマネージャ」タブをクリックする
- 4** 「マウス」をダブルクリックする
- 5** 現在セットアップされているマウスを選択し、「プロパティ」ボタンをクリックする
- 6** 「ドライバ」タブをクリックする
- 7** 「ドライバの更新」ボタンをクリックする
「デバイスドライバの更新ウィザード」が起動します。
- 8** 「次へ」ボタンをクリックする
- 9** 検索方法で「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 10** 「ディスク使用」ボタンをクリックする
- 11** 「配布ファイルのコピー元」に「Q: ¥WIN98 ¥NXPAD」と入力し、「OK」ボタンをクリックする

12 「モデル」のリスト中から「NX PAD」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

「NX PAD」が複数表示されている場合は、一番上の「NX PAD」を選択してください。

「ドライバ更新の警告」画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックします。

13 「次へ」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが行われます。

14 「完了」ボタンをクリックする

15 再起動を促すメッセージが表示された場合は、「はい」ボタンをクリックする

再起動を促すメッセージが表示されない場合

次の手順で再起動してください。

1 「NX PAD プロパティ」画面の「閉じる」ボタンをクリックする

2 「システムのプロパティ」画面の「閉じる」ボタンをクリックする

3 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする

4 「再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリックする
再起動後、設定が有効になります。

再起動後、ポインタが動かない場合

次の手順でもう一度再起動してください。

1 【Ctrl】を押しながら【Esc】を押し、「スタート」メニューを開く

2 矢印キーで「Windowsの終了」を選択し、【Enter】を押す

3 矢印キーで「再起動する」を選択し、【Enter】を押す

以上で「NX PADドライバのセットアップ」は終了です。

次の「スーパーディスクドライバのセットアップ」へ進んでください。

12. スーパーディスクドライブのセットアップ

スーパーディスクドライブが内蔵されている場合は、次の手順でドライブをセットアップします。

- 1** CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリックする
- 3** MS-DOSプロンプトから次のように入力する
Q:【Enter】
CD ¥WIN98¥LS120【Enter】
SDINST【Enter】
EXIT【Enter】
- 4** 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする
- 5** 「再起動する」を選択し、「OK」をクリックする
再起動します。

以上で「スーパーディスクドライブのセットアップ」は終了です。次の「フロッピーディスクドライブのセットアップ」へ進んでください。

13. フロッピーディスクドライブのセットアップ

フロッピーディスクドライブが内蔵または添付されている場合は、次の手順でドライブをセットアップします。

- 1** 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
- 2** 「デバイスマネージャ」タブをクリックする
- 3** 次のデバイスがある場合は選択し、「削除」ボタンをクリックする
 - ・VA65J/AF、VA50J/AF、VA45J/AXの場合
 - 「フロッピーディスクコントローラ」の「NEC 3-mode Floppy (PIIX4E)」

- ・ VA50J/BH、VA40H/BS、VA33H/BCの場合
「フロッピーディスクコントローラ」の「NEC 3-mode Floppy (FDC37N869)」
- ・ 上記以外のモデルの場合
「フロッピーディスクコントローラ」の「3-mode Floppy Disk Controller」

「デバイス削除の確認」画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックしてください。上記が存在しなかった場合には、「OK」ボタンをクリックし、手順8に進んでください。

- 4 「システムのプロパティ」画面の「閉じる」ボタンをクリックする
- 5 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする
- 6 「再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。
- 7 再起動後、「コントロールパネル」を開く
- 8 「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする
- 9 「ハードウェアの追加」をダブルクリックする
「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動します。
- 10 「次へ」ボタンをクリックする
- 11 「システムにあるプラグ アンド プレイ機器を検索します。」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
検索が開始されます。
- 12 「インストールするデバイスは一覧にありますか?」というメッセージが表示された場合は、「デバイスは一覧にない」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 13 「プラグ アンド プレイ以外の新しいハードウェアが自動的に検出されます。」というメッセージが表示されたら「いいえ(一覧から選択する)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

14 「ハードウェアの種類」のリストの中から「フロッピーディスクコントローラ」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

15 「ディスク使用」ボタンをクリックする

16 「配布ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリックする

- ・ VA65J/AF、VA50J/AF、VA45J/AXの場合
Q: ¥WIN98 ¥3MODEFD1
- ・ VA50J/BH、VA40H/BS、VA33H/BCの場合
Q: ¥WIN98 ¥3MODEFD3
- ・ 上記以外のモデルの場合
Q: ¥WIN98 ¥3MODEFD2

17 「モデル」のリストの中から次のデバイスを選択し、「次へ」ボタンをクリックする

- ・ VA65J/AF、VA50J/AF、VA45J/AXの場合
NEC 3-mode Floppy(PIIX4E)
- ・ VA50J/BH、VA40H/BS、VA33H/BCの場合
NEC 3-mode Floppy(FDC37N869)
- ・ 上記以外のモデルの場合
3-mode Floppy Disk Controller

18 「完了」ボタンをクリックする

ファイルのコピーが行われます。

「FD3MODE.VXDが見つかりませんでした」というメッセージが表示された場合は、「ファイルのコピー元」に「Q: ¥WIN98 ¥3MODEFD2」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

19 起動を促すメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックする
以上で「フロッピーディスクドライバのセットアップ」は終了です。
次の「MS-DOSモード用CD-ROMドライバ」へ進んでください。

14 . MS-DOSモード用CD-ROMドライバ

次の手順でドライバをセットアップします。

1 CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリックする

3 MS-DOSプロンプトから次のように入力する

Q:【Enter】

CD ¥WIN98¥CDROM【Enter】

RCDROM【Enter】

EXIT【Enter】

4 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする

5 「MS-DOSモードで再起動する」を選択し、「OK」をクリックする

6 コマンドプロンプトから次のように入力する

SETCD /A【Enter】

EXIT【Enter】

MS-DOSモードからWindowsに戻ります。

7 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする

8 「再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリックする

以上で「MS-DOSモード用CD-ROMドライバ」は終了です。
次の「内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ」へ進んでください。

15. 内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ

次の手順でセットアップします。

VA50J/WX、VA50J/WT、VA45J/WS、VA46H、VA43Hの場合

- 1** CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックする
「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。
- 3** 「名前」の欄に「Q: ¥WIN98¥YMF752V¥YMF752V.BAT」と入力し、「OK」をクリックする
「処理が完了しました。次の手順を実行してください。」と表示されます。
- 4** 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
- 5** 「デバイスマネージャ」タブをクリックする
- 6** 次のデバイスが存在する場合は選択し、「削除」ボタンをクリックする
 - ・「サウンド、ビデオおよびゲームのコントローラ」の「YAMAHA AC-XG Audio Device」
 - ・「サウンド、ビデオおよびゲームのコントローラ」の「YAMAHA AC-XG Audio」
 - ・「その他のデバイス」の「PCI Multimedia Audio Device」「デバイス削除の確認」画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックしてください。
- 7** 「システムのプロパティ」画面の「閉じる」ボタンをクリックする
- 8** 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする
- 9** 「MS-DOSモードで再起動する」を選択し、「OK」をクリックする

10 コマンドプロンプトから次のように入力する

C:【Enter】
 CD ¥UPSOUND【Enter】
 UPSOUND.BAT【Enter】

11 「処理が完了しました。再起動してください。」というメッセージが表示されたら、次のように入力する

EXIT【Enter】

Windows 98システムが再起動します。

VA65J/AF、VA50J/AF、VA45J/AXの場合

- 1 「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする
- 2 「コントロールパネル」を開いて「システム」をダブルクリックする
- 3 「デバイスマネージャ」タブをクリックする
- 4 次のデバイスが存在する場合は選択し、「削除」ボタンをクリックする

- ・「ESS Media Device Controllers」の「ESS Device Manager」
- ・「サウンド、ビデオおよびゲームのコントローラ」の「ESS Device Manager」
- ・「ESS Media Device Controllers」の「ESS Maestro2E PCI AudioDrive(WDM)」
- ・「サウンド、ビデオおよびゲームのコントローラ」の「ESS Maestro2E PCI AudioDrive(WDM)」
- ・「サウンド、ビデオおよびゲームのコントローラ」の「Sound Blaster Pro or compatible」
- ・「サウンド、ビデオおよびゲームのコントローラ」の「ゲームポートジョイスティック」
- ・「その他のデバイス」の「PCI Multimedia Audio Device」

 **チェック!!** 「デバイスの削除の確認」画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックしてください。

5 「システムのプロパティ」画面の「閉じる」ボタンをクリックする

6 「コントロールパネル」を閉じる

7 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックする

8 「名前」欄に次のように半角で入力する

Q: ¥WIN98¥ES1978SV¥UPSOUND.BAT

9 「処理が完了しました。次の手順を実行してください。」というメッセージが表示されたら、「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする

10 「MS-DOSモードで再起動する」を選択し、「OK」をクリックする
手本本機が再起動します。

11 コマンドプロンプトから次のように入力する

- ・光デジタル(S/PDIF)出力端子からドルビーデジタル(5.1ch)出力を行いたい場合

C:【Enter】

CD ¥SOUNDTMP【Enter】

VXDSOUND.BAT【Enter】

- ・Windows 98 Second Editionにおいて光デジタル(S/PDIF)出力端子から音楽CDの音声を出力したい場合

C:【Enter】

CD ¥SOUNDTMP【Enter】

WDMSOUND.BAT【Enter】

12 「処理が完了しました。再起動してください。」というメッセージが表示されたら、次のように入力する

EXIT【Enter】

Windows 98システムが再起動します。

✓チェック!! 「Windows 98 CD-ROM」または「Windows 98 Second Edition CD-ROM」を要求するメッセージが表示された場合は、「Windows 98 CD-ROM」または「Windows 98 Second Edition CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットし、CD-ROMを認識後「OK」ボタンをクリックしてください。

13 再起動中に「Maestro PCI Audio Device Multimedia Disk」を要求するメッセージが表示された場合は「OK」ボタンをクリックする

14 「msjstick.drvが見つかりませんでした」というメッセージが表示された場合は、「Windows 98 CD-ROM」または「Windows 98 Second Edition CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットし、「Q: ¥WIN98」と入力して「OK」ボタンをクリックしてください。

VA50J/BH、VA40H/BS、VA33H/BCの場合

1 「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリックする

3 MS-DOSプロンプトから次のように入力する

C:【Enter】

CD¥【Enter】

MD UPSOUND【Enter】

COPY Q: ¥WIN98 ¥ES1946SV ¥*. * C: ¥UPSOUND【Enter】

EXIT【Enter】

4 「コントロールパネル」を開いて「システム」をダブルクリックする

5 「デバイスマネージャ」タブをクリックする

6 次のデバイスが存在する場合は選択し、「削除」ボタンをクリックする

- ・「ESS Media Device Controllers」の「ESS Device Manager」
- ・「サウンド、ビデオおよびゲームのコントローラ」の「ESS Device Manager」
- ・「サウンド、ビデオおよびゲームのコントローラ」の「Sound Blaster Pro or compatible」
- ・「サウンド、ビデオおよびゲームのコントローラ」の「ESS S0L0-1 PCI AudioDrive」
- ・「サウンド、ビデオおよびゲームのコントローラ」の「ゲームポートジョイスティック」
- ・「その他のデバイス」の「PCI Multimedia Audio Device」

 **チェック!!** 「デバイスの削除の確認」画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックしてください。

7 「システムのプロパティ」画面の「閉じる」ボタンをクリックする

8 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする

9 「MS-DOSモードで再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリックする
手本本機が再起動します。

10 コマンドプロンプトから次のように入力する

```
C:【Enter】
CD ¥UPSOUND【Enter】
UPSOUND【Enter】
```

11 「処理が完了しました。再起動してください。」というメッセージが表示されたら、次のように入力する

```
EXIT【Enter】
```

Windows 98システムが再起動します。

 **チェック!!** 「Windows 98 CD-ROM」または「Windows 98 Second Edition CD-ROM」を要求するメッセージが表示された場合は、「Windows 98 CD-ROM」または「Windows 98 Second Edition CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットし、CD-ROMを認識後「OK」ボタンをクリックしてください。

- 12** 再起動中に「Maestro PCI Audio Device Multimedia Disk」を要求するメッセージが表示された場合は「OK」ボタンをクリックする
- 13** 「新しいハードウェア」または「ディスクの挿入」画面が表示された場合は、「ファイルのコピー元」に「C: ¥UPSOUND」と入力し「OK」ボタンをクリックする
- 14** 引き続き、「新しいハードウェア」または「ディスクの挿入」画面が表示された場合は、「ファイルのコピー元」に「C: ¥UPSOUND」と入力し「OK」ボタンをクリックする
- 15** 「msjstick.drvが見つかりませんでした」というメッセージが表示された場合は、「Windows 98 CD-ROM」または「Windows 98 Second Edition CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットし、「Q: ¥WIN98」と入力して「OK」ボタンをクリックする
- 16** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリックする
- 17** MS-DOSプロンプトから次のように入力する


```
C:【Enter】
CD¥【Enter】
DELTREE /Y UPSOUND【Enter】
EXIT【Enter】
```

以上で「内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ」は終了です。
次の「パワーマネージメントの設定」へ進んでください。

16. パワーマネージメントの設定

パワーマネージメントの設定を行うために、次の手順が必要です。
Windows 98またはWindows 98 Second Editionを新規にインストールした場合は、次の手順は必要ありません。

- 1** CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする

- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 3 「名前」に「Q: ¥WIN98 ¥ACPI ¥RINGWAKE.REG」と入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 4 「Q: ¥WIN98 ¥ACPI ¥RINGWAKE.REGの情報をレジストリに追加しますか?」というメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックする
- 5 「Q: ¥WIN98 ¥ACPI ¥RINGWAKE.REGの情報が、レジストリに正しく入力されました」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 6 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする
- 7 「再起動する」を選択し、「OK」をクリックする
再起動します。

以上で「パワーマネージメントの設定」は終了です。
次の「ソフトウェアパワーOFF機能のセットアップ」へ進んでください。

17. ソフトウェアパワーOFF機能のセットアップ

次の手順でセットアップします。
Windows 95からアップグレードした場合は、次の手順は必要ありません。

- 1 CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリックする
- 3 「Q: ¥WIN98 ¥POWEROFF」フォルダを開く
- 4 「NECPOWSW.INF」を選択し、マウスの右ボタンをクリックする
- 5 メニューより「インストール」をクリックする
- 6 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする

- 7** 「再起動する」を選択し、「OK」をクリックする
再起動後、設定が有効になります。

以上で「ソフトウェアパワーOFF機能のセットアップ」は終了です。
以上でWindows 98またはWindows 98 Second Edition用ドライバのセットアップは終了です。

18. ハイバネーション設定ユーティリティのセットアップ

省電力機能を使用するために、次の手順が必要です。
Windows 95がセットアップされているドライブにWindows 98をアップグレードした場合は、次の手順は必要ありません。

- 1** CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリックする
- 3** コマンドプロンプトの画面から次のように入力する
MD C:¥necutils
MD C:¥necutils¥hdprep
COPY Q:¥win98¥necutils¥hdprep¥*. * C:¥necutils¥hdprep【Enter】
- 4** コマンドプロンプトの画面から次のように入力する
EXIT【Enter】
- 5** 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」→「再起動する」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする

以上で、ハイバネーション設定ユーティリティのセットアップは完了です。



チェック!! 省電力機能を有効にするには、設定が必要です。『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能(Windows 98の場合)」をご覧ください。「休止状態の設定」を行ってください。

19. Windows 98の設定を有効にする

Windows 98の設定を有効にするために、必ず次の手順が必要です。

- 1** フロッピーディスクドライブに「システムインストールディスク(起動用)」をセットする
- 2** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリックする
- 3** Aドライブの「WIN98」フォルダの「chgusb」ファイルをダブルクリックする
- 4** 「A: ¥WIN98 ¥CHGUSB.REGの情報をレジストリに追加しますか?」と表示されるので、「はい」ボタンをクリックする
- 5** 「A: ¥WIN98 ¥CHGUSB.REGの情報がレジストリに正しく入力されました」と表示されるので、「OK」ボタンをクリックする

これで、Windows 98の設定が有効になりました。

赤外線通信の利用

赤外線通信機能を利用する場合は、次の手順が必要です。

-  **チェック!!**
- ・「Windows 98 Second Edition CD-ROM」または「Windows 98 CD-ROM」を要求するメッセージが表示された場合は、「Windows 98 CD-ROM」または「Windows 98 Second Edition CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットし、CD-ROMを認識後、「OK」ボタンをクリックしてください。
 - ・お使いの機種によっては、赤外線通信機能を利用するために、BIOSセットアップメニューで赤外線通信機能が使えるように設定する必要があります。設定のしかたについては、『活用ガイド ハードウェア編』の「赤外線通信機能」をご覧ください。

VA65J、VA50J/AF、VA45J/AXの場合

- 1** CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする

2 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする

3 「デバイスマネージャ」タブをクリックする

4 次のデバイスが存在する場合は選択し、「削除」ボタンをクリックする

- ・「ネットワークアダプタ」の「赤外線 PnP シリアルポート(* PnP0510)」
- ・「赤外線」の「赤外線通信デバイス」

 **チェック!** ・「デバイス削除の確認」画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックしてください。

- ・上記デバイスをすべて削除する前に、再起動を促すメッセージが表示された場合は「いいえ」ボタンをクリックしてください。
- ・上記デバイスをすべて削除した後に、再起動を促すメッセージが表示された場合は「はい」ボタンをクリックし、手順7へ進んでください。

5 「システムのプロパティ」画面の「閉じる」ボタンをクリックする

6 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする

7 「再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリックする
再起動します。

8 「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動したら、「次へ」ボタンをクリックする

9 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

10 「検索場所の指定」のみにチェックを付け、検索場所に「Q: ¥WIN98¥IRNSC」と入力し、「次へ」ボタンをクリックする

11 「NEC New Notebooks Fast Infrared Port」を検出したことを確認後、「更新されたドライバ(推奨)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

12 「次へ」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まりますので、メッセージに従ってセットアップしてください。

13 ファイルコピー終了後、「完了」ボタンをクリックする

14 再起動を促すメッセージが表示された場合は、「はい」ボタンをクリックする
再起動後、赤外線通信機能が利用できます。

VA65J、VA50J/AF、VA45J/AX以外のモデルの場合

1 CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリックする

3 MS-DOSプロンプトから次のように入力する

C:【Enter】

CD¥【Enter】

COPY Q:¥WIN98¥IRSMC¥*. * C:¥WINDOWS¥INF【Enter】

EXIT【Enter】

4 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする

5 「デバイスマネージャ」タブをクリックする

6 次のデバイスが存在する場合は選択し、「削除」ボタンをクリックする

・「ネットワークアダプタ」の「赤外線 PnP シリアルポート (* PnP0510)」

・「赤外線」の「赤外線通信デバイス」

✓チェック!! ・「デバイス削除の確認」画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックしてください。

- ・上記デバイスをすべて削除する前に、再起動を促すメッセージが表示された場合は「はい」ボタンをクリックしてください。
- ・上記デバイスをすべて削除した後に、再起動を促すメッセージが表示された場合は「はい」ボタンをクリックし、手順10へ進んでください。

7 「システムのプロパティ」画面の「閉じる」ボタンをクリックする

8 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする

9 「再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリックする
再起動します。

10 「新しいハードウェア」で「NEC 4Mbps 内蔵赤外線ポート」が検出され、ファイルのコピーが始まるので、メッセージに従ってセツトアップする

11 再起動を促すメッセージが表示された場合は、「はい」ボタンをクリックする
再起動後、赤外線通信機能が利用できます。

電源管理モードの利用

APM / ACPI モードの確認方法について

1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする

2 「システムのプロパティ」が表示されたら「デバイスマネージャ」タブをクリックする

3 「システムデバイス」をクリックする
以下の情報が表示されます。

- ・ APMモード のとき：アドバンスド パワーマネジメント サポート
- ・ ACPIモード のとき：ACPIXXXX

-  **チェック!!**
- ・ APMモード / ACPI モードを切り替える際には、Windowsに関して十分知識がある方が作業するようにしてください。
 - ・ モードの切り替えは、セットアップ直後に行ってください。
 - ・ 電源モードの変更を行った場合、モードを元に戻すことはできません。セットアップ時の電源モードに戻すには、再セットアップが必要です。

- 1** CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 3** 「名前」に「Q: ¥WIN98¥ACPI¥ACPI_APM.EXE」と入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 4** 「ACPIが無効です」というメッセージが表示されたら、「Windows 98 CD-ROM」または「Windows 98 Second Edition CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットし、「OK」ボタンをクリックする

-  **チェック!!**
- ・ 「ACPIが有効です」というメッセージが表示された場合は、すでに ACPIモードで動作しているので「キャンセル」ボタンをクリックしてください。「キャンセル」ボタンをクリックした場合は、以降の操作は不要です。CD-ROMを取り出してください。
 - ・ 「ファイルのコピーに失敗しました」と表示された場合は、Windowsフォルダの下に、すでに「ACPI_APM」フォルダが存在している可能性があります。「ACPI_APM」フォルダを削除して、最初の手順からやり直してください。

- 5** 「ACPIを有効に設定する準備ができました」というメッセージが表示されたら「Windows 98 CD-ROM」または「Windows 98 Second Edition CD-ROM」を取り出し、「OK」ボタンをクリックする

-  **チェック!!**
- 以降の手順を行っている途中で、「Windows 98 CD-ROM」または「Windows 98 Second Edition CD-ROM」を要求するメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックし、「C: ¥WINDOWS¥ACPI_APM」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- 6 「コントロールパネル」を開き、「ハードウェアの追加」アイコンをダブルクリックする
- 7 「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動したら「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「システムにあるプラグ アンド プレイ機器を検索します。」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「インストールするデバイスは一覧にありますか?」というメッセージが表示された場合、「デバイスは一覧にない」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 10 「プラグ アンド プレイ以外の新しいハードウェアが自動的に検索されます。」というメッセージが表示されたら「はい、通常はこちらを選んでください。」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 11 「プラグ アンド プレイで検出されなかった新しいデバイスを検索します。」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
ハードウェアの検出が始まります。
- 12 「ハードウェアの検出が完了し、インストールの準備ができました。」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックする
- 13 再起動を促すメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックする
表示されるメッセージに従って設定する。

 **チェック!!** 「NX PAD Setup Disk」ラベルの付いたディスクを挿入して「OK」ボタンをクリックしてください。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。「Apoinet.catが見つかりませんでした。」と表示されるので、「スキップ」ボタンをクリックし、その後「完了」ボタンをクリックしてください。

14 CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする

15 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックする

16 「名前」に次のように入力して「OK」ボタンをクリックする

- ・ VA50J/WX、VA50J/WT、VA45J/WS、VA46H、VA43Hの場合
Q: ¥WIN98 ¥ACPI ¥VW ¥APMOFF.REG
- ・ VA65J、VA50J/AF、VA45J/AXの場合
Q: ¥WIN98 ¥ACPI ¥VA ¥APMOFF.REG
- ・ VA50J/BH、VA40H、VA33Hの場合
Q: ¥WIN98 ¥ACPI ¥VB ¥APMOFF.REG

17 次のメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックする

- ・ VA50J/WX、VA50J/WT、VA45J/WS、VA46H、VA43Hの場合
「Q: ¥WIN98 ¥ACPI ¥VW ¥APMOFF.REGの情報をレジストリに追加しますか？」
- ・ VA65J、VA50J/AF、VA45J/AXの場合
「Q: ¥WIN98 ¥ACPI ¥VA ¥APMOFF.REGの情報をレジストリに追加しますか？」
- ・ VA50J/BH、VA40H、VA33Hの場合
「Q: ¥WIN98 ¥ACPI ¥VB ¥APMOFF.REGの情報をレジストリに追加しますか？」

18 次のメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックする

- ・ VA50J/WX、VA50J/WT、VA45J/WS、VA46H、VA43Hの場合
「Q: ¥WIN98 ¥ACPI ¥VW ¥APMOFF.REGの情報がレジストリに正しく入力されました」
- ・ VA65J、VA50J/AF、VA45J/AXの場合
「Q: ¥WIN98 ¥ACPI ¥VA ¥APMOFF.REGの情報がレジストリに正しく入力されました」
- ・ VA50J/BH、VA40H、VA33Hの場合
「Q: ¥WIN98 ¥ACPI ¥VB ¥APMOFF.REGの情報がレジストリに正しく入力されました」

19 CD-ROMドライブから「アプリケーションCD-ROM」を取り出す

20 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」→「再起動する」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする

以上でACPIモードへの切り替えは完了です。

 **チェック!!** ACPIモードからAPMモードへ切り替える場合には、もう一度、Windows 98またはWindows 98 Second Editionをセットアップしてください。

ACPIモードから APMに切り替える

 **チェック!!** ・APMモード/ACPIモードを切り替える際には、Windowsに関して十分知識がある方が作業するようにしてください。

・モードの切り替えは、セットアップ直後に行ってください。

・電源モード変更を行った場合、モードを元に戻すことはできません。セットアップ時の電源モードに戻すには、再セットアップが必要です。

1 「アプリケーションCD-ROM」を CD-ROMドライブにセットする

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックする

3 「名前」に「Q: ¥WIN98¥ACPI¥ACPI_APM.EXE」と入力し、「OK」ボタンをクリックする

4 「ACPIが有効です」というメッセージが表示されたら、「Windows98 CD-ROM」または「Windows98 Second Edition CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットし、「OK」ボタンをクリックする

 **チェック!!** ・「ACPIが無効です」というメッセージが表示された場合は、すでに APMモードで動作しているので「キャンセル」ボタンをクリックしてください。「キャンセル」ボタンをクリックした場合は、以降の操作は不要です。CD-ROMを取り出してください。

・「ファイルのコピーに失敗しました .」と表示された場合は、Windowsフォルダの下に、すでに「ACPI_APM」フォルダが存在している可能性があります。「ACPI_APM」フォルダを削除して、最初の手順からやり直してください。

- 5** 「ACPIを無効に設定する準備ができました」というメッセージが表示されたら「Windows98 CD-ROM」または「Windows98 Second Edition CD-ROM」を取り出し、「OK」ボタンをクリックする

 **チェック!!** 以降の手順を行っている途中で、「Windows98 CD-ROM」または「Windows98 Second Edition CD-ROM」を要求するメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックし、「C: ¥WINDOWS¥ACPI_APM」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- 6** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックする
- 7** 「ハードウェアの追加」をダブルクリックする
- 8** 「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動したら「次へ」ボタンをクリックする
- 9** 「システムにあるプラグ アンド プレイ機器を検索します。」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
- 10** 「インストールするデバイスは一覧にありますか?」というメッセージが表示された場合、「デバイスは一覧にない」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 11** 「プラグ アンド プレイ以外の新しいハードウェアが自動的に検索されます。」というメッセージが表示されたら「はい(通常はこちらを選んでください)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 12** 「プラグアンドプレイで検出されなかった新しいデバイスを検索します。」というメッセージが表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
ハードウェアの検出が始まります。
- 13** 「ハードウェアの検出が完了し、インストールの準備ができました。」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックする
- 14** 再起動を促すメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックする
メッセージが表示された場合は、メッセージに従って設定してください。

- 15 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブを選択する
- 16 「システムデバイス」をクリックする
「アドバンスド パワーマネジメント サポート」が表示されない場合は、手順7～16を再度実行してください。
- 17 本機を再起動する
- 18 「アプリケーション CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする
- 19 「エクスプローラ」を開き、「Q: ¥WIN98 ¥ACPI ¥ACPI0FF2.REG」をダブルクリックする
- 20 「Q: ¥Win98 ¥ACPI ¥ACPI0FF2.REGの情報をレジストリに追加しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- 21 「Q: ¥Win98 ¥ACPI ¥ACPI0FF2.REGの情報がレジストリに正しく入力されました」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- 22 本機を再起動する

以上でAPMモードへの切り替えは完了です。

電源管理モードを切り替えた時の注意事項

APMモードからACPIモードに切り替えた場合、またはACPIモードからAPMモードに切り替えた場合には、次のことに注意してください。

ディスプレイの設定

「ディスプレイ設定に問題があります」というメッセージが表示されることがあります。「OK」ボタンをクリックすると「画面のプロパティ」の画面が表示されるので、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。また、場合によっては、ディスプレイの解像度が、640×480 16色に変更されることがあります。変更された場合は、解像度や色数を設定し直してください。

USBの設定

ACPI モードに切り替えるとスタンバイの状態にならない場合があります。
ACPI モードに切り替えた後、次の手順でUSBの設定変更を行ってください。

- 1** 「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする
- 2** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 3** 「名前」の欄に「Q: ¥WIN98¥USB¥CHGUSB.exe」と入力し「OK」ボタンをクリックする
- 4** 「USBの設定を変更します。よろしいですか?」というメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックする
- 5** 「USBの設定が正しく変更されました。Windowsを再起動して下さい。」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 6** 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする
- 7** 「再起動する」を選択し、「OK」をクリックする

フロッピーディスクドライバ

1.2MBのフロッピーディスクが読み書きできません。再度、次の「フロッピーディスクドライバの設定」の手順でフロッピーディスクドライバのセットアップを行ってください。

・フロッピーディスクドライバの設定

- 1** 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
- 2** 「デバイスマネージャ」タブをクリックする
- 3** 次のデバイスがある場合は選択し、「削除」ボタンをクリックする

- ・ VA65J/AF、VA50J/AF、VA45J/AXの場合
「フロッピーディスクコントローラ」の「NEC 3-mode Floppy (PIIX4E)」
- ・ VA50J/BH、VA40H/BS、VA33H/BCの場合
「フロッピーディスクコントローラ」の「NEC 3-mode Floppy (FDC37N869)」
- ・ 上記以外のモデルの場合
「フロッピーディスクコントローラ」の「3-mode Floppy Disk Controller」

「デバイス削除の確認」画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックしてください。上記が存在しなかった場合には、「OK」ボタンをクリックし、手順8に進んでください。

- 4** 「システムのプロパティ」画面の「閉じる」ボタンをクリックする
- 5** 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする
- 6** 「再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。
- 7** 再起動後、「コントロールパネル」を開く
- 8** 「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする
- 9** 「ハードウェアの追加」をダブルクリックする
「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動します。
- 10** 「次へ」ボタンをクリックする
- 11** 「システムにあるプラグ アンド プレイ機器を検索します。」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
検索が開始されます。
- 12** 「インストールするデバイスは一覧にありますか?」というメッセージが表示された場合は、「デバイスは一覧にない」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

13 「プラグ アンド プレイ以外の新しいハードウェアが自動的に検出されます。」というメッセージが表示されたら「いいえ(一覧から選択する)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

14 「ハードウェアの種類」のリストの中から「フロッピーディスクコントローラ」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

15 「ディスク使用」ボタンをクリックする

16 「配布ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリックする

- ・ VA65J/AF、VA50J/AF、VA45J/AXの場合
Q: ¥WIN98 ¥3MODEFD1
- ・ VA50J/BH、VA40H/BS、VA33H/BCの場合
Q: ¥WIN98 ¥3MODEFD3
- ・ 上記以外のモデルの場合
Q: ¥WIN98 ¥3MODEFD2

17 「モデル」のリストの中から次のデバイスを選択し、「次へ」ボタンをクリックする

- ・ VA65J/AF、VA50J/AF、VA45J/AXの場合
NEC 3-mode Floppy(PIIX4E)
- ・ VA50J/BH、VA40H/BS、VA33H/BCの場合
NEC 3-mode Floppy(FDC37N869)
- ・ 上記以外のモデルの場合
3-mode Floppy Disk Controller

18 「完了」ボタンをクリックする

ファイルのコピーが行われます。

「FD3MODE.VXDが見つかりませんでした」というメッセージが表示された場合は、「ファイルのコピー元」に「Q: ¥WIN98 ¥3MODEFD2」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

19 起動を促すメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックする
以上で「フロッピーディスクドライバのセットアップ」は終了です。

NX PADドライバ

ACPIモード切り替え後の再起動において、「NX PAD Setup Disk ラベルの付いたディスクを挿入して [OK] をクリックしてください。」と表示されたら、次の手順で設定を行ってください。

・NX PADドライバの設定

- 1** 「NX PAD Setup Disk ラベルの付いたディスクを挿入して [OK] をクリックしてください。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 2** 「NX PAD Setup Disk 上のファイル Apoint.cat が見つかりませんでした。」と表示されるので、「スキップ」ボタンをクリックする
- 3** 「完了」ボタンをクリックする

PCカードを使用すると不具合が発生するときは

Windows 98を新規にインストールした場合や、Windows 95をWindows 98にアップグレードした場合、PCカードを使用しているときに不具合が発生することがあります。このようなときには、本機を強制終了させて、次の手順でUSBの設定を自動から手動に変更してください。

- 1** PCカードを取り外し、本機を起動する
- 2** 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
- 3** 「デバイスマネージャ」タブをクリックする
- 4** 次のうちいずれかのデバイスを選択し、「プロパティ」ボタンをクリックする
 - ・「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」の
「Intel 82440MX PCI to USB Universal Host Controller」
 - ・「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」の
「Intel 82371AB/EB PCI to USB Universal Host Controller」
 - ・「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」の
「VIA Tech 3038 PCI to USB Universal Host Controller」

- ・「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」の
「標準ユニバーサル PCI to USB ホスト コントローラ」

5 「リソース」タブをクリックする

6 「自動設定を使う」のチェックを外す

7 「I/Oの範囲」を選択し、「設定の変更」をクリックする

8 「I/Oの範囲の編集」画面が表示されるので、「値」を「FCA0 - FCBF」に変更し、「OK」をクリックする

9 「OK」ボタンをクリックする

10 「はい」を選択し、「閉じる」ボタンをクリックする

11 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする

12 「再起動する」を選択し、「OK」をクリックする
本機が再起動し、PCカードの使用が可能になります。

以上の設定を行っても不具合が発生する場合は、本機を強制終了させて、もう一度、再起動させてください。

Windows NT 4.0を使う

本機でWindows NT 4.0を使う際に知っておいていただきたいことや、セットアップの方法について説明しています。

セットアップの準備

確認事項

セットアップを行う前に、次の点をご確認ください。

- ・「アプリケーションCD-ROM」の¥NT40ディレクトリにWindows NT 4.0の補足事項を記述したREADME.TXTがあります。セットアップを行う前に読みください。
- ・周辺機器の接続と設定が必要な場合は、システムのセットアップ後にもう一度行ってください。周辺機器の設定については『Microsoft Windows NT Workstationファーストステップガイド』または周辺機器のマニュアルをご覧ください。
- ・ここでは、お使いの機種により、「CD-ROMドライブ」を「CD-RWドライブ」に「フロッピーディスクドライブ」を「スーパーディスクドライブ」に読み替えてください。
- ・ここでは、Windows 95がインストールされているドライブをCドライブ、フロッピーディスクドライブをAドライブ、CD-ROMドライブをEドライブとして説明します。実際と異なる場合は読み替えてください。
- ・実際に表示される画面は、お使いの機種によって、本文中の画面と一部異なる場合があります。



チェック!!

- ・「アプリケーションCD-ROM」でセットアップできるのは、本機に標準で添付されているソフトウェアのみです。本機ご購入後にご自分でインストールしたアプリケーションは復元されません。
- ・ご自分で作成したデータは復元されません。また、変更した設定やデータはすべて消え、ご購入時の初期状態に戻ります。
- ・大切なデータはセットアップを行う前に必ずバックアップをとっておいてください。

- ・ドライバのアップデートはシステム管理者が行ってください。
- ・本機に添付されているドライバは本機専用です。他機種では使用できません。
- ・サスペンド状態ではセットアップできません。一度レジュームし、Windows 95を終了させてから本機の電源を切ってください。
- ・バッテリー駆動状態では、セットアップできません。必ず、ACアダプタを接続して行ってください。
- ・セットアップは途中で中断しないでください。もし中断した場合は、最初からやり直してください。
- ・セットアップ中はスリープ状態にしないでください。
- ・セットアップ中はオートパワーオフは無効となります。

スーパーディスクドライブを使用する際の注意事項

次の説明は、スーパーディスクドライブを搭載しているモデルのみを対象としています。それ以外のモデルの場合は、次の操作を行う必要はありません。

スーパーディスクドライブでは、「Windows NT Workstation Setup Disk」(フロッピーディスク)を使用したセットアップは行えません。スーパーディスクドライブを搭載しているモデルを利用している場合は、「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1」(CD-ROM)だけを使ってWindows NT 4.0のセットアップを行う必要があります。BIOSセットアップメニューを次のように設定することによって、CD-ROMからのWindows NT 4.0のセットアップが可能になります。

- 1** 本機の電源を入れる
- 2** 「NEC」ロゴの画面が表示されたらすぐにキーボードの【F2】を押す
- 3** 【↓】を押して「起動デバイスセットアップ(Boot Device Setup)」を選択し、【Enter】を押す
- 4** 【PgDn】または【PgUp】を押して「第一起動デバイス(1st Boot Device)」を「CD/DVD」にする
- 5** 【Esc】を押す

6 【F10】を押す

7 「現在の状態を保存して設定を終了しますか?」と表示されたら 「はい」を選び、【Enter】を押す

BIOSセットアップメニュー終了後、Windows NT 4.0のセットアップがCD-ROMドライブから行えるようになります。

上記の設定は、デバイスの起動順位を設定するものです。Windows NT 4.0のセットアップ後は設定を元に戻してください。

セットアップの前に行うこと

1 必要なものをそろえる

Windows NT 4.0をセットアップするには、次のものがが必要です。

- ・ Windows NT Workstation CD-ROM Disc
(別売のMicrosoft Windows NT Workstationに添付されているもの)
- ・ Windows NT Workstation Setup Disk
(別売のMicrosoft Windows NT Workstationに添付されているもの)
- ・ 『Microsoft Windows NT Workstationファーストステップガイド』
(別売のMicrosoft Windows NT Workstationに添付されているもの)
- ・ 本機に添付の「アプリケーションCD-ROM」
- ・ 1.44Mバイトでフォーマット済みのフロッピーディスク2枚

1枚に「システム修復ディスク」と書いたラベルを、もう1枚に「アップデートディスク」と書いたラベルを貼っておいてください。

2 「アップデートディスク」を作成する

1 内蔵ハードディスクからWindowsを起動する

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」でMS-DOSプロンプトを起動する

3 CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットし、フロッピーディスクドライブに「アップデートディスク」というラベルを貼ったフロッピーディスク(「1.必要なものをそろえる」で準備したもの)をセットする

4 フロッピーディスクにファイルをコピーする
MS-DOS プロンプトから次のように入力すると、コピーが始まります。

```
E:【Enter】  
CD ¥NT40【Enter】  
CDNTUP A【Enter】
```

CDNTUPのあとに入力するフロッピーディスクドライブ名には、コロン(:)を付けないでください。

以降は画面の指示にしたがって操作し、「アップデートディスク」を作成してください。

3「Service Pack5」を入手する

セットアップの途中で「Service Pack5」をインストールする手順がありますので、以下のアドレスから「Service Pack5」を入手してください。

<http://www.microsoft.com/japan/products/ntupdate/NT4SP5/default.htm>

以上でセットアップの準備は終了です。次に「Windows NT 4.0のセットアップ(→p.151)に進んでください。

Windows NT 4.0を使うときの注意

本機でWindows NT 4.0を使う場合は、次の点にご注意ください。

・Windows NT 4.0の2000年問題対応について

Windows NT 4.0を使用する場合には、2000年問題対応が必要です。NECのホームページ「98Information」(<http://www.nec.co.jp/98/>)では、コンピュータの2000年問題対応について情報を提供していますので、Windows NT 4.0の2000年問題対応情報と修正プログラムを入手して適用してください。

参照 2000年問題 → PART5の「2000年問題について知りたい」(p.263)

- ・ Windows NT 4.0はUSB機器をサポートしていません。
- ・ Windows NT Server 4.0は使用できません。
- ・ Windows NT 4.0では、次のような場合はサスペンドをしないでください。
 - ・ PCカードを使用中
 - ・ ハードディスク、CD-ROMドライブ、フロッピーディスクにアクセス中
 - ・ プリンタへ出力中
 - ・ 通信用アプリケーションを実行中
 - ・ 音声または動画を再生中
- ・ Windows NT 4.0のシャットダウン中

また、サスペンド/レジュームで問題が発生する場合は、BIOSセットアップメニューで次のように設定して、サスペンド/レジューム機能を無効にしてください。

BIOSセットアップメニューの「省電力セットアップ」で次のように設定する
 システムスイッチ切り替え：パワーボタン
 省電力レベルの設定：オフ
 LCDパネル連動スリープ：使用しない

すでにネットワークがインストールされている状態でプロトコルやネットワークサービスを追加しようとする、Windows NT 4.0 CD-ROMをセットするように促すメッセージが表示されます。この場合は、メッセージに従って操作を行ってください。

Windows NT 4.0のセットアップ

ここでは、Windows NTのセットアップ手順について説明します。より詳しい手順については、『Microsoft Windows NT Workstationファーストステップガイド』、オンラインヘルプ、またはWindows NT 4.0の説明ファイルをご覧ください。

CD-ROMモデル、CD-RWモデルの場合

次の説明は、CD-ROMモデルとCD-RWモデルを対象にしています。CD-ROMドライブを内蔵または添付していないモデルの場合は、「CD-ROMドライブが内蔵または添付されていないモデルの場合」(→ p.155)をご覧ください。

✓チェック!! ・スーパーディスクを使用してWindows NT 4.0をセットアップする場合は、必ず前述の「スーパーディスクドライブを使用する際の注意事項」(→ p.148)でBIOSの設定を変更してからセットアップを行ってください。

・スーパーディスクをご利用の場合は、手順2から作業してください。

1 本機の電源を入れ、すぐにフロッピーディスクドライブに「Windows NT Workstation Setup Disk1」をセットする

2 CD-ROMドライブに「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1」をセットする

3 画面の指示にしたがって、セットアップディスクを入れ替える

4 「セットアップへようこそ」の画面が表示されたら【Enter】を押す
「大容量記憶装置を検出しました」の画面が表示されます。

5 「IDE CD-ROM(ATAPI 1.2)/PCI IDE Controller」が表示されていることを確認し、【Enter】を押す

6 ライセンス契約画面が表示されるので、内容をよく読み、【F8】を押す

【PgDn】を押すと画面がスクロールします。なお、表示される内容に同意しない場合は、セットアップはできません。

✓チェック!! 本機に他のWindows NT 4.0がインストールされている場合、アップグレードするかどうか確認が表示されますが、ここではアップグレードしないでセットアップを続けてください。

7 キーボードの種類で、「106日本語キーボード」を選択する

8 「106日本語キーボードでよろしいですか(Y/N)」画面が表示されるので、【Y】を押す

9 画面の指示にしたがって、セットアップを続行する

10 Windows NT 4.0をインストールするパーティション、ファイルシステム、ディレクトリを設定を行う

ファイルシステムの選択画面では、「FATファイルシステムを使用してパーティションをフォーマット」または、「NTFSファイルシステムを使用してパーティションをフォーマット」を選択してください。

11 画面の指示にしたがって、セットアップを続行する ファイルのコピーが終了すると「ここまでのセットアップは正常に終了しました」というメッセージが表示されます。

12 ドライブからフロッピーディスク、CD-ROMを取り出して、本機を再起動する テキストセットアップが終了し、本機を再起動させると、グラフィックセットアップの画面が表示されます。

13 画面の指示に従って次の各設定を行う

- ・ セットアップ方法
- ・ 個人情報の入力
- ・ プロダクトIDの登録
- ・ コンピュータ名の登録
- ・ 管理者アカウントのパスワードの登録
- ・ システム修復ディスク作成の選択(問題が発生した場合に備えて必ず選択してください)
- ・ インストールするファイルの選択

プロダクトIDは、添付の『Microsoft Windows NT Workstationファーストステップガイド』の表紙に記載されています。

14 ここでネットワークに参加する場合は、「9 ネットワークのインストール(LANアダプタ内蔵モデルのみ)」の「9-1 Windows NT 4.0のセットアップ中にネットワークをインストールする場合 (→ p.172)」の手順でネットワークをインストールする

 **チェック!!** LANアダプタを内蔵していないモデルや、Windows NT 4.0のセットアップ終了後にネットワークをインストールする場合は、「まだネットワークに参加しない」を選んでから「次へ」ボタンをクリックし、次の手順へ進んでください。

15 日付時刻の設定 / ディスプレイの設定を行う
画面の指示に従って、次の項目について設定してください。

- ・ 日付、時刻および時間帯の設定
- ・ ディスプレイの設定(確認のみ)

「検出されたディスプレイ」の画面が表示され、“vga互換ディスプレイアダプタ”が検出されます。

16 「OK」ボタンをクリックする
「画面のプロパティ」ウインドウが表示されます。

17 「OK」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが終了するまで待ちます。

18 手順13で「システム修復ディスクを作成する」を選択した場合、
「システム修復ディスク」というラベルを貼ったフロッピーディスク
「1 必要なものをそろえる」で用意したものをフロッピーディスクドライブにセットして「はい」ボタンをクリックし、「システム修復ディスク」の作成を行う

19 「システム修復ディスク」の作成が終了したら、フロッピーディスク
ドライブから「システム修復ディスク」、CD-ROMドライブから
「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1」を取り出す

20 「コンピュータの再起動」ボタンをクリックして、Windows NT 4.0
を再起動する

以上で、Windows NT 4.0のセットアップは終了です。



チェック!!

- ・ ファイルシステムとしてNTFSを選択した場合は、最初のシステム起動でファイルシステムの変換を行い、その後自動起動します。
- ・ スーパーディスクドライブをお使いの方は、「スーパーディスクドライブを使用する際の注意事項」(→p.148)で変更したBIOSの設定を必ず元の設定に戻してください。

Windows NT 4.0のセットアップが終了した後でネットワークをインストールする場合は、「9-2 Windows NT 4.0セットアップ終了後にネットワークをインストールする」(→p.173)をご覧ください。

それ以外の場合は、「周辺機器の設定」(→p.156)に進んでください。

CD-ROMドライブが内蔵または添付されていないモデルの場合

次の説明は、CD-ROMドライブが内蔵または添付されていないモデルのみを対象にしています。

CD-ROMモデル、CD-RWモデルの場合は、「CD-ROMモデル、CD-RWモデルの場合」(→ p.151)をご覧ください。

CD-ROMドライブが内蔵または添付されていないモデルでは、別売のCD-ROMドライブやネットワークを利用して、Windows 95のMS-DOSプロンプトからWINNTコマンドを実行して次のようにセットアップを行います。

1 ネットワークを利用する場合は、Windows NT 4.0のソースファイル(CD-ROM Disc1のi386ディレクトリの下のファイル)を、ネットワークサーバの共有ドライブにコピーする

2 Windows 95を起動する
CD-ROMドライブにWindows NT 4.0のCD-ROM Disc1をセットします。ネットワークを利用する場合は、手順1でWindows NT 4.0のソースファイルをコピーしたドライブに接続します。

3 MS-DOSプロンプトから次のように入力し、WINNTコマンドを実行する

```
Q:【Enter】  
CD ¥i386【Enter】  
WINNT /B【Enter】
```

ここでは、CD-ROMドライブ名を「Q」、ディレクトリ名を「i386」として説明しています。実際と異なる場合は読み替えてください。

4 画面に表示されるメッセージにしたがってセットアップする

この後は、「CD-ROMモデル、CD-RWドライブの場合」(→ p.151)の手順4以降を実行してください。

 **チェック!!** 内蔵FAXモデムを使用するリモートアクセスサービスの設定は、Windows NT 4.0のセットアップ時ではなく、内蔵FAXモデムのセットアップ終了後に行ってください。

1 ドライバのアップデート

1-1 ドライバをコピーする

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「コマンドプロンプト」をクリックする

2 「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする

3 次のように入力する

- ・VA50J/WX、VA50J/WT、VA45J/WS、VA46H、VA43Hの場合

E:【Enter】

CD ¥NT40【Enter】

DRVCOPY2.BAT【Enter】

- ・VA65J、VA50J/AF、VA45J/AXの場合

E:【Enter】

CD ¥NT40【Enter】

DRVCOPY1.BAT【Enter】

- ・VA50J/BH、VA40H、VA33Hの場合

E:【Enter】

CD ¥NT40【Enter】

DRVCOPY3.BAT【Enter】

4 画面の指示に従ってコピーする

以上でドライバのコピーは終了です。

1-2 ドライバをアップデートする

次の手順でドライバのアップデートを行います。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「コマンドプロンプト」をクリックして、コマンドプロンプトを起動する

2 Windows NT 4.0のコマンドプロンプトから次のように入力する

C:【Enter】

CD ¥NT40【Enter】

カレントディレクトリがC:¥NT40のルートディレクトリであることを確認して、次のように入力する

UPDATE【Enter】

3 画面に表示されるメッセージ内容をよく確認しながら画面の指示に従う

以上でWindows NT 4.0のセットアップは終了です。アップデートしたドライバは再起動後に有効になります。

1-3 Windows NT 4.0アップデートサービス Service Pack 5の利用

Microsoft Windows NT4.0アップデートサービス「Service Pack 5」を適用する場合は、必ず次の手順で行ってください。

1 Service Pack 5の「README.TXT」を読む

2 Service Pack 5のインストールを行う



チェック!!

・ファイルコピーの途中で、「コピー先には、コピー元より新しいファイルが存在します。上書きしますか?」のメッセージが表示された場合は、「すべて上書きしない」を選択してください。

・「Authenticode(™) Security Technology」の画面が表示されたら、「Yes」ボタンをクリックしてセットアップを続行してください。

・本機に新しいコンポーネント(ドライバなど)を追加または変更した場合は、再度Service Pack 5をインストールする必要があります。

例)「コントロールパネル」の「ネットワーク」を使用してネットワークのインストールを行った場合

・本機に添付されていないアプリケーションや別売のカードなどを追加する場合は、Service Pack 5に対応しているかを確認した上で使用してください。

3 本機を再起動する

2 .ワンタッチスタートボタンのセットアップ(VA65J、VA50J/AF、VA45J/AXを除く)

ワンタッチスタートボタンを利用するには、次の手順でセットアップを行います。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Windows NT エクスプローラ」をクリックして、エクスプローラを起動する
- 2 メニューバーの「表示」→「オプション」をクリックする
- 3 「表示」タブをクリックする
- 4 「登録されているファイルの拡張子は表示しない」のチェックを外して、「OK」ボタンをクリックする
- 5 「C:¥NT40¥MFNB」にある「¥PS2KBNT.I NF」を右クリックして、メニューから「インストール」を選択する
ファイルのコピーが始まります。
- 6 ファイルのコピーが終了すると、「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか?」と表示されるので、「はい」ボタンをクリックする
自動的に再起動します。

 **チェック!!** ワンタッチスタートボタンの機能を利用するには、Internet Explorer 4.01 SP2 以上をインストールする必要があります。

3 .内蔵アクセラレータの利用

内蔵アクセラレータを利用するには、次の手順でセットアップを行います。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする
- 2 「ディスプレイの設定」タブをクリックする
- 3 「ディスプレイの種類」ボタンをクリックする
- 4 「変更」ボタンをクリックする

5 「ディスク使用」ボタンをクリックする

6 次のディレクトリを指定して、「OK」ボタンをクリックする

- ・ VA50J/WX、VA50J/WT、VA45J/WS、VA46H、VA43Hの場合
C: ¥NT40¥MOBILITY
- ・ VA65J、VA50J/AF、VA45J/AXの場合
C: ¥NT40¥SAVAGEMX
- ・ VA50J/BH、VA40H、VA33Hの場合
C: ¥NT40¥SM710

7 「ディスプレイ」リストボックスから、次のドライバを選ぶ

- ・ VA50J/WX、VA50J/WT、VA45J/WS、VA46H、VA43Hの場合
ATI RAGE MOBILITY-M PCI(日本語)
- ・ VA65J、VA50J/AF、VA45J/AXの場合
S3 Inc. Savage/MX Display Driver Version ****

****はバージョン番号です。****のところに表示される番号は機種によって異なる場合があります。

- ・ VA50J/BH、VA40H、VA33Hの場合
Silicon Motion LynxEM Family

8 「OK」ボタンをクリックする

当社以外のドライバ組み込み確認のメッセージが表示されます。

9 「はい」ボタンをクリックする

ドライバ組み込みの結果が表示されます。

10 「OK」ボタンをクリックする

11 「閉じる」ボタンをクリックする

12 「閉じる」ボタンをクリックする

「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか?」というメッセージが表示されます。

13 「はい」ボタンをクリックする

以上でアクセラレータドライバのセットアップは終了です。次回起動時から、アクセラレータドライバが有効になります。

VA50J/BH、VA40H、VA33Hの場合は、引き続き次の手順でのセットアップが必要です。

14 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックする

15 次のように入力して「OK」ボタンをクリックする

C:\¥NT40¥SM710¥SETUP.EXE

16 「ようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリックする

17 「プログラムフォルダの選択」の画面で「次へ」ボタンをクリックする

18 「セットアップの完了」の画面で「完了」ボタンをクリックする

19 本機を再起動する

4. 内蔵サウンドの利用

内蔵サウンドを利用するには、次の手順でセットアップを行います。

VA50J/WX、VA50J/WT、VA45J/WS、VA46H、VA43Hの場合

1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックする

2 次のように入力して「OK」ボタンをクリックする

C:\¥NT40¥YMF752¥SETUP.EXE

3 「ようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリックする

4 「YAMAHA AC-XG Audio Driver」の画面で「OK」ボタンをクリックする

- 5 「YAMAHA AC-XG Driver」画面で「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、「OK」ボタンをクリックする
自動的に再起動します。
- 6 再起動後、「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 7 「ファイル名を指定して実行」の画面で次のように入力し、「OK」ボタンをクリックする

C:\¥NT40¥Y752MIDI¥DISK1¥SETUP.EXE
- 8 「ようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「製品ライセンス契約」の画面で、「はい」ボタンをクリックする
- 10 「インストール先の選択」の画面で、「次へ」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが開始されます。
- 11 「情報」の画面で、「OK」ボタンをクリックする
- 12 「Windowsの再起動」の画面で、「はい、直ちにコンピュータを再起動します」が選択されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックする
自動的に再起動します。

VA65J、VA50J/AF、VA45J/AX、VA50J/BH、VA40H、VA33Hの場合

- 1 「コントロールパネル」を開き、「マルチメディア」アイコンをダブルクリックする
- 2 「デバイス」タブをクリックし、「追加」ボタンをクリックする
- 3 ドライバの一覧から「一覧にない、または更新されたドライバ」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする

4 「ドライバのインストール」の画面で、次のディレクトリを指定して、「OK」ボタンをクリックする

- ・ VA65J、VA50J/AF、VA45J/AXの場合
C:¥NT40 ¥MAESTRO2
- ・ VA50J/BH、VA40H、VA33Hの場合
C:¥NT40 ¥SOLO-1

5 ドライバの一覧に次のドライバが選択されていることを確認してから、「OK」ボタンをクリックする

- ・ VA65J、VA50J/AF、VA45J/AXの場合
ESS AudioDrive M2/M2E 4.xx.xx
- ・ VA50J/BH、VA40H、VA33Hの場合
ESS AudioDrive ES1938/1946 Version 4.xx.xx

4.xx.xxはバージョン番号です。xxの番号は機種によって異なる場合があります。

6 「ドライバは存在します」画面が表示された場合は、「新しいドライバ」ボタンをクリックする

7 再起動に関するメッセージが表示されるので、「再起動する」ボタンをクリックする

Windows NTが再起動します。再起動後にドライバが有効になります。

5 NXパッドの拡張

NXパッド対応の拡張ドライバを利用することにより、オートジャンプ、タッピングなど、NXパッドの機能を拡張することができます。
次の手順でセットアップを行います。

NXパッドのセットアップ

1 「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックする

2 「全般」タブをクリックする

- 3 「変更」ボタンをクリックする
- 4 「デバイスの選択」で、「ディスク使用」をクリックする
- 5 ドライバのインストール画面になったら、ハードディスクのドライブ名とSLIDEPADディレクトリ(C: ¥NT40 ¥SLIDEPAD)を指定して「OK」ボタンをクリックする
- 6 モデルの一覧から「NX PAD」をクリックして、「OK」ボタンをクリックする
- 7 「デバイスのインストールの確認」で「はい」ボタンをクリックする
- 8 ファイルのコピーが終了したら、「マウスのプロパティ」で「閉じる」ボタンをクリックする
- 9 再起動に関するメッセージが表示されるので、「はい」ボタンをクリックしてWindows NT 4.0を再起動させる
再起動後にドライバが有効になります。

NXパッドの拡張機能の設定

NXパッドの拡張機能の設定は、次の手順で行います。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックする
- 2 必要に応じて設定を行う
設定方法については、オンラインヘルプをご覧ください。
- 3 設定が終了したら、「マウスのプロパティ」で「OK」ボタンをクリックする
「マウスのプロパティ」が閉じて、設定が有効になります。

6 .内蔵FAXモデムのセットアップ

この手順は、FAXモデム内蔵モデルにのみ必要な手順です。
内蔵FAXモデムを利用するには、次の手順でセットアップを行います。

VA50J/WX、VA50J/WT、VA45J/WS、VA46H、VA43Hの場合

- 1** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 2** 「名前」欄に次のように入力して、「OK」ボタンをクリックする
C:¥NT40¥LTMODEM¥SETUP.EXE
- 3** 「Next」ボタンをクリックする
- 4** 「Install New modem driver and components」をチェックし、
「Next」ボタンをクリックする
- 5** 「Yes,I want to restart my computer now.」をチェックし、「Finish」
ボタンをクリックする

VA65J、VA50J/AF、VA45J/AXの場合

- 1** 「コントロールパネル」を開き、「シリアルポート」アイコンをダブル
クリックする
- 2** 「追加」ボタンをクリックする
- 3** 「新しいポートの詳細設定」画面で各設定を選ぶ
「COMポートの番号」は必ず「5」を選んでください。また、「IOポートア
ドレス」は他のデバイスと競合しない値を選んでください。
「割り込み番号」は、『活用ガイド ハードウェア編』PART4の「割り込み
レベルとDMAチャンネル」をご覧ください。割り込みレベル一覧に記載さ
れている値を設定してください。
- 4** 「OK」ボタンをクリックする
- 5** 「システム設定の変更」画面で「再起動しない」をクリックする

- 6 「閉じる」ボタンをクリックする
- 7 「コントロールパネル」を開き、「モデム」アイコンをダブルクリックする
- 8 「新しいモデムのインストール」画面で「モデムを一覧から選択するので検出しない」にチェックを付け、「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「ディスク使用」ボタンをクリックする
「フロッピーディスクからインストール」画面が表示されます。
- 10 次のように入力し、「OK」ボタンをクリックする
C: ¥NT40 ¥LTMODEM
- 11 次のドライバが選ばれていることを確認し、「次へ」ボタンをクリックする
NEC Fax Modem 56K Data+Fax(CRBA)
- 12 どのポートにインストールするかを尋ねてくるので、「選択したポート」にチェックを付ける
- 13 「COM5」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 14 「所在地情報」を設定し、「次へ」ボタンをクリックする
「所在地情報」画面は、1回目のモデムセットアップ時のみ表示されます。すでに他のモデムをセットアップしているときなどは、表示されないことがあります。
- 15 「次へ」ボタンをクリックする
- 16 以降は、画面のメッセージに従って操作し、セットアップ終了後、本機を再起動する

VA50J/BH、VA40H、VA33Hの場合

- 1** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 2** 「名前」欄に次のように入力して、「OK」ボタンをクリックする
C:\¥NT40¥RWMODEM¥SETUP.EXE
- 3** 「次へ」ボタンをクリックする
- 4** 「Conexant SoftK56 Data Fax Modem」が表示されていることを確認して「次へ」ボタンをクリックする
- 5** 「完了」ボタンをクリックする
- 6** 再起動する

7 FAXモデムカードを使用する場合

FAXモデムカードを使用する場合には、次の手順で設定してください。

7-1 FAXモデムカードがWindows NT 4.0で正しく認識されていることを確認する

- 1** PCカードスロットにFAXモデムカードを入れる
- 2** Windows NT 4.0を起動する
- 3** 「コントロールパネル」を開き、「PCカード(PCMCIA)」アイコンをダブルクリックする
- 4** 「ソケットの状態」タブをクリックする
- 5** 目的のFAXモデムカードをポイントする

 **チェック!!** 目的のFAXモデムカードの名前が表示されない場合は、PCカードが正しく挿入されていない可能性があります。『活用ガイド ハードウェア編』PART2の「PCカードのセットのしかたと取り出し方」をご覧ください。カードを正しく入れ直してください。

6 「プロパティ」ボタンをクリックする

7 「カード情報」タブをクリックする

FAXモデムカードがWindows NT 4.0で正しく認識されている場合には、「デバイスマップ」の画面が表示され、使用するFAXモデムカードのCOM番号が表示されます。

このCOM番号は、次の「7-2 モデムのセットアップを行う」や「7-4 FAXモデムカードのリソース(IRQ)を変更する(→p.169)」の操作でも使用しますので、覚えておいてください。

 **チェック!!** 「利用不可」と表示された場合は、FAXモデムカードのリソース(IRQ)が他のデバイスと競合している可能性があります。「FAXモデムカードのリソース(IRQ)を変更する(→p.169)」をご覧ください、FAXモデムカードのリソース(IRQ)を変更してください。

7-2 モデムのセットアップを行う

FAXモデムカードをダイヤルアップネットワークなどで使用する場合には、モデムのセットアップが必要です。

1 「コントロールパネル」を開き、「モデム」アイコンをダブルクリックする

初めてモデムをセットアップする場合には、自動的に「新しいモデムのインストール」ウィザードの画面が表示されます。

既にモデムがセットアップされている場合には、「モデムのプロパティ」が表示されます。「追加」ボタンをクリックすると「新しいモデムのインストール」ウィザードの画面が表示されます。

2 「次へ」ボタンをクリックする

自動的にモデムが検出され、使用するFAXモデムカードのCOM番号の部分に「標準モデム」と表示されます。

 **チェック!!** モデムが検出されなかった場合、FAXモデムカードに割り当てられているリソース(IRQ)が妥当でない可能性があります。「FAXモデムカードのリソース(IRQ)を変更する(→p.169)」をご覧ください、FAXモデムカードのリソース(IRQ)を変更してからモデムをセットアップしてください。

- 3** 使用するFAXモデムカードにWindows NT 4.0用の .infファイルが添付されている場合は、.infファイルをインストールする
.infファイルの入ったフロッピーディスクを本機のフロッピーディスクドライブに入れる
「変更」ボタンをクリックする
「ディスク使用」ボタンをクリックする
コピー元にフロッピーディスクドライブのドライブ名を入力し、
「OK」ボタンをクリックする
使用するFAXモデムカードの名称をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
使用するFAXモデムカードのCOM番号上のモデム名が変更されたことを確認し、「次へ」ボタンをクリックする
「所在地情報」画面が表示された場合、所在地情報を入力し、
「次へ」ボタンをクリックする
「完了」ボタンをクリックする

参照 Windows NT 4.0用の .infファイルがない場合には、Windows 95用の .infファイルで代用できることもあります。ただし、Windows 95用の .infファイルすべてがWindows NT 4.0で正しく動作するわけではありません。
上記 の手順のあと に進むか、またはFAXモデムカードの通信速度に合った「標準のモデム ドライバ」に変更してください。

7-3 モデムのセットアップ状況を確認する

- 1** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「ハイパーターミナル」→「ハイパーターミナル」をクリックする
「新しい接続」ウィザードが表示されます。
- 2** 「キャンセル」ボタンをクリックする
- 3** 「ファイル」メニュー→「プロパティ」をクリックする
「接続の設定」タブの画面が表示されます。
- 4** 「接続方法」リストから使用するモデム名をクリックする
- 5** 「モデムの設定」ボタンをクリックする

6 「ポート」に正しいICOM番号が表示されているか確認し、よければ「OK」ボタンをクリックする

7 「OK」ボタンをクリックする

8 ハイパーターミナルのウィンドウ内に「AT」と入力する
「AT」と表示されます。

9 【Enter】を押す

モデムのセットアップが正しく行われている場合には、「OK」のメッセージが表示されます。

ハイパーターミナルのウィンドウに「AT」と表示されず、「OK」のメッセージも表示されない場合は、Windows NT 4.0でFAXモデムカードが認識されていないか、モデムのセットアップが正常に終了していない可能性があります。p.166をご覧ください、FAXモデムカードが正しくセットアップされているか確認してください。

7-4 FAXモデムカードのリソース(IRQ)を変更する

FAXモデムカードがWindows NT 4.0で正しく認識されなかったり、正しく動作しない場合は、リソース(IRQ)が他のデバイスと競合している可能性があります。その場合は、次の手順でリソース(IRQ)を変更してください。

1 本機で利用可能なリソース(IRQ)を確認する

参照 本機で利用可能なリソース→『活用ガイド ハードウェア編』PART4の「割り込みレベルとDMAチャネル」

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「管理ツール」→「Windows NT診断プログラム」をクリックする

3 「リソース」タブをクリックする

現在のリソース(IRQ)の設定状況が表示されるので、空いているリソース(IRQ)を確認してください。

Windows NT 4.0では、FAXモデムカードは本機内蔵のシリアルポートと同じ「Serial」というデバイス名で表示されます。IRQ4の「Serial」は本機内蔵のシリアルポート、IRQ4以外の「Serial」がFAXモデムカードを表しています。

4 「コントロールパネル」を開き、「シリアルポート」アイコンをダブルクリックする

 **チェック!!** 「コントロールパネル」の「PCカード(PCMCIA)」でデバイスマップが「利用不可」と表示されている場合は、ここでポートを追加する必要があります。次の手順でCOMポートを追加してください。

「追加」ボタンをクリックする

「OK」ボタンをクリックする

Windows NT 4.0の再起動を促すメッセージが表示されたら、「再起動しない」をクリックする

5 「FAXモデムカードがWindows NT 4.0で正しく認識されていることを確認する(→p.166)で確認したポートまたは上記で追加したポートをクリックする

6 「設定」ボタンをクリックする

7 「詳細」ボタンをクリックする

8 「I/Oポートアドレス」リストで「既定値」をクリックする

「既定値」を選ぶと、次のように設定されます。

COM1:3f8

COM2:2f8

COM3:3e8

COM4:2e8

9 「割り込み番号(IRQ)」リストから、現在空いているリソース(IRQ)をクリックする

10 「OK」ボタンをクリックする

11 Windows NT 4.0の再起動を促すメッセージが表示されたら、「再起動しない」をクリックする

12 「閉じる」ボタンをクリックする

13 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックする

14 「名前」の部分に「c:\mnt40\drivers\reg」と入力し、「OK」ボタンをクリックする
FAXモデムカードレジストリ設定ツールが起動し、「Serial *」と表示されます。

15 「Serial *」の*の部分FAXモデムカードのCOM番号から「1」を引いた値になるように設定する

例:COM1の場合「Serial0」

COM2の場合「Serial1」

p.184の ~ の手順でCOMポートを追加した場合には、追加した順番にSerial10000、Serial10001となります。

16 「OK」ボタンをクリックする

レジストリが書き換えられ、FAXモデムカードレジストリ設定ツールが終了します。

次回起動時より、設定 / 変更内容が有効になります。

 **チェック!!** FAXモデムカードレジストリ設定ツールはレジストリを操作するため、使用方法を誤ると重大な障害が発生する可能性があります。使用に際しては、十分注意してください。またレジストリのバックアップをとっておくことをおすすめします。

8 ATAカードを使用する場合

ATAカードを使用する場合、ATAカードのドライブ番号が「C」に割り当てられる場合があります。アプリケーションの起動などができなくなることがあります。このような場合は、次の手順で「Atdisk」のスタートアップの種類を「ブート」から「システム」に変更してください。

1 「コントロールパネル」を開き、「デバイス」アイコンをダブルクリックする

- 2** デバイスの一覧から、「Atdisk」を選択し、「スタートアップ」をクリックする
- 3** スタートアップの種類を「システム」に変更して「OK」ボタンをクリックする
- 4** 「Atdiskデバイスのスタートアップの種類を変更すると、システムは使用不能になる可能性があります。変更してもよろしいですか？」のメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- 5** 「閉じる」ボタンをクリックして、デバイスを終了させる
- 6** 「コントロールパネル」を閉じる
- 7** 本機を再起動する
再起動後に、変更した設定が有効になります。

9. ネットワークのインストール

この手順はLAN内蔵モデルにのみ必要な手順です。
次の手順でネットワークのインストールを行います。

すでにLANドライバがインストールされている場合は、以下の設定は不要です。

9-1 Windows NT 4.0のセットアップ中にネットワークをインストールする場合

- 1** 「ネットワークに参加する」→「ネットワークに接続」を選択して「次へ」ボタンをクリックする
- 2** 「9-3 ネットワークアダプタのインストール」へ進み、「Windows NT 4.0のセットアップ」の手順15(→ p.154)へ戻る

9-2 Windows NT 4.0のセットアップ終了後にネットワークをインストールする場合

 **チェック!!** CD-ROMドライブを内蔵または添付していないモデルでは、Windows NT 4.0上でCD-ROMドライブを使用できる環境が必要です。

- 1** 「コントロールパネル」を開き、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックする
「Windows NT ネットワークがインストールされていません。今すぐインストールしますか?」というメッセージが表示されます。
- 2** 「はい」ボタンをクリックする
- 3** 「ネットワークセットアップウィザード」画面で「ネットワークに接続」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 4** 次の「9-3 ネットワークアダプタのインストール」へ進む

9-3 ネットワークアダプタのインストール

- 1** ネットワークアダプタの検索画面が表示されるので、「一覧から選択」ボタンをクリックする
- 2** 「ネットワークアダプタの選択」画面で「ディスク使用」ボタンをクリックする
- 3** 「フロッピーディスクの挿入」画面が表示されるので、「アップデートディスク」をフロッピーディスクドライブにセットし、次のように入力して、「OK」ボタンをクリックする

A: ¥E100B
- 4** 「OEMオプションの選択」画面が表示されるので、リストから「Intel (R) PRO Adapter」を選択して、「OK」ボタンをクリックする
- 5** ネットワークアダプタの検索画面に「Intel(R) PRO Adapter」と表示されていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックする

6 ネットワークアダプタのセットアップを行う

- ・ ネットワークプロトコルの選択
- ・ ネットワークサービスの選択
- ・ ネットワークの設定の確認
- ・ ネットワークに必要なファイルのコピー
- ・ ネットワークバインドの調整
- ・ ワークグループまたはドメインの参加

 **チェック!!** ネットワークに必要なファイルの読み込みが要求された場合は、「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1」をCD-ROMドライブにセットし、キーボードから「<CD-ROMドライブ名>:¥i386」と入力して、「続行」ボタンをクリックしてください。

7 Windows NT 4.0セットアップ終了後、サービスパックをインストールした後にネットワークをインストールした場合は、Windows NT 4.0を再起動する前に再度サービスパックをインストールする

 **参照** サービスパックをインストールする→「Windows NT 4.0アップデート サービス Service Pack 5の利用」(p.157)

これで、ネットワークをインストールする手順が終了しました。これ以降は、画面の指示にしたがって設定を行ってください。

10 内蔵PIAFSのセットアップ

この手順は、PIAFSモデルにのみ必要な手順です。
次の手順でセットアップを行います。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「モデム」アイコンをダブルクリックする
- 2 「追加」ボタンをクリックする
- 3 「新しいモデムのインストール」で「モデムを一覧から選択するので検出しない」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックする

- 4 「ディスク使用」ボタンをクリックする
- 5 「フロッピーディスクからインストール」画面で「C: ¥NT40¥PIAFS」と入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 6 モデル一覧から「PIAFS32K」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 インストールするポートに「選択したポート」を指定する
- 8 使用する「通信ポート」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 9 画面のメッセージに従って操作し、セットアップを終了する
- 10 本機を再起動する

11. ワイヤレス通信機能のセットアップ

この手順は、ワイヤレスモデルにのみ必要な手順です。
次の手順でセットアップを行います。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「モデム」アイコンをダブルクリックする
- 2 「追加」ボタンをクリックする
- 3 「新しいモデムのインストール」で「モデムを一覧から選択するので検出しない」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「ディスク使用」ボタンをクリックする
- 5 「フロッピーディスクからインストール」画面で「C: ¥NT40¥PHS」と入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 6 「NEC PIAFS32K+Dualink Wireless Mode(DCX)」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「選択したポート」を選択する

- 8 使用する「通信ポート」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 9 画面のメッセージに従って操作し、セットアップを終了する
- 10 本機を再起動する

12 スーパーディスクドライブのセットアップ

この手順は、スーパーディスクドライブを搭載しているモデルでスーパーディスクドライブを3モード対応にする場合にのみ必要な手順です。

-  **チェック!!** ・本機内蔵、または別売のスーパーディスクドライブで、1.2MB(512バイト/セクタ、1024バイト/セクタ)フォーマットのフロッピーディスクを使用する場合は、スーパーディスク3モード対応ドライバおよび専用フォーマットユーティリティをセットアップする必要があります。720KB/1.44MBフォーマットのフロッピーディスクおよびスーパーディスク(120MB)しか使用しない場合は、このセットアップは必要ありません。
- ・1.2MB(1024バイト/セクタ)はPC-9800シリーズの1.25MB(1024バイト/セクタ)のことです。専用フォーマットユーティリティでは、「3.5インチ、1.2MB、1024バイト/セクタ(NEC)」と表示されます。
 - ・スーパーディスク 3モード対応ドライバおよび専用フォーマットユーティリティのセットアップではWindows NT 4.0をインストールしたドライブをC、CD-ROMドライブをEとして説明します。実際と異なる場合は読み替えてください。

スーパーディスク 3モード対応ドライバのセットアップ

- 1 Administrator権限のあるユーザ名とパスワードでWindows NT 4.0にログオンする
- 2 「コントロールパネル」を開き「SCSIアダプタ」アイコンをダブルクリックする
- 3 「ドライバ」タブをクリックする
- 4 「追加」ボタンをクリックする
- 5 「ドライバのインストール」画面で、「ディスク使用」ボタンをクリックする

- 6 「フロッピーディスクからインストール」画面で、「配布ファイルのコピー元」にC:¥NT40¥LS120DRVを指定して「OK」ボタンをクリックする
- 7 「SCSIアダプタ」の一覧に「Panasonic SuperDisk」があることを確認して、「OK」ボタンをクリックする
- 8 「Windows NTセットアップ」画面で、C:¥NT40¥LS120DRVと指定して「続行」ボタンをクリックする
- 9 「今すぐコンピュータを再起動しますか?」と表示されるので、「はい」ボタンをクリックする

専用フォーマットユーティリティのセットアップ

- 1 Administrator権限のあるユーザ名とパスワードでWindows NT 4.0にログオンする
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 3 「名前」にC:¥NT40¥MKELS120¥SETUP.EXEと指定して、「OK」ボタンをクリックする
- 4 画面に表示されるメッセージに従ってセットアップを行う

スーパーディスク 3モード対応ドライバのアンインストール

- 1 Administrator権限のあるユーザ名とパスワードでWindows NT 4.0にログオンする
- 2 「コントロールパネル」を開き「SCSIアダプタ」アイコンをダブルクリックする
- 3 「ドライバ」タブをクリックする
- 4 「Panasonic SuperDisk」をクリックする
- 5 「削除」ボタンをクリックする

- 6** 「はい」ボタンをクリックする
- 7** 「OK」ボタンをクリックする
- 8** 「コントロールパネル」の「デバイス」アイコンをダブルクリックする
- 9** 「デバイス一覧」から「mkefpd」をクリックする
- 10** 「スタートアップ」ボタンをクリックする
- 11** 「スタートアップの種類」で「システム」が選択されているので、「無効」をクリックする
- 12** 「OK」ボタンをクリックする
- 13** 「mkefpdデバイスのスタートアップの種類を変更すると、システムは使用不能になる可能性があります。変更してもよろしいですか?」と表示されたら、「はい」をクリックする
- 14** 「閉じる」をクリックする
- 15** 本機を再起動する

専用フォーマットユーティリティのアンインストール

- 1** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「SuperDisk フォーマットユーティリティ」→「Uninstall」をクリックする
- 2** 画面に表示されるメッセージに従ってアンインストールを行う
- 3** 本機を再起動する

✓ **チェック!!** 「スーパーディスク 3モード対応ドライバ」および「専用フォーマットユーティリティ」をセットアップした場合、次の媒体は、必ず「専用フォーマットユーティリティ」でフォーマットしてください。Windows NT 4.0のエクスプローラでのフォーマット、コマンドプロンプトからFORMATコマンドを実行してのフォーマットはできません。

- ・720KB/1.2MB/1.44MBフォーマットのフロッピーディスク
- ・スーパーディスク(120MB)

✓ **チェック!!** 「スーパーディスク 3モード対応ドライバ」をセットアップしていない場合、次の媒体は、通常通りWindows NT 4.0のエクスプローラでのフォーマットや、コマンドプロンプトからFORMATコマンドを実行してのフォーマットができます。

- ・720KB/1.44MBフォーマットのフロッピーディスク
- ・スーパーディスク(120MB)

専用フォーマットユーティリティの起動

✓ **チェック!!** 「専用フォーマットユーティリティ」は、起動時に、スーパーディスクドライブにセットされている媒体を判別して、フォーマット可能な容量を表示します。そのため、「専用フォーマットユーティリティ」を起動する前に、フォーマットを行う媒体をスーパーディスクドライブにセットしておく必要があります。また、「専用フォーマットユーティリティ」起動後に媒体を入れ替えた場合は、「専用フォーマットユーティリティ」を一度終了してから再起動する必要があります。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「SuperDiskフォーマットユーティリティ」→「SuperDisk用フォーマットユーティリティ」をクリックする

専用フォーマットユーティリティについての注意

「専用フォーマットユーティリティ」で、媒体を1.2MBでフォーマットする場合、次の項目を選択してください。

「3.5インチ、1.2MB、512バイト/セクタ(TOSHIBA)」

「3.5インチ、1.2MB、1024バイト/セクタ(NEC)」

一度もフォーマットされていない媒体や、フォーマットが破壊されていて正常にアクセスできない媒体を、「専用フォーマットユーティリティ」でフォーマットすると、イベントビューアにエラーが記録されることがありますが、この媒体の使用には問題ありません。

「スーパーディスク 3モード対応ドライバ」がセットアップされている場合、1.2MBフォーマットのフロッピーディスクに対して、コマンドプロンプトからchkdskコマンドを実行することはできません。誤って実行した場合、フロッピーディスクがRAW表示となりますが、フォーマットされていないわけではありません。フロッピーディスクの内容を確認する場合は、エクスプローラなどをご利用ください。

P A R T

5

トラブル解決Q&A

トラブルの解決方法を具体的に説明しています。

はじめて電源を入れたら

セットアップの画面が表示されない

はじめて本機の電源を入れたときに、「Press F1 to Run SETUP」のメッセージが表示されたときは、次の手順に従ってください。

1 キーボードの【F1】を押します。

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

参照 BIOSセットアップメニュー→『活用ガイド ハードウェア編』PART3の「BIOSセットアップメニュー」

2 「デフォルト値をロード(Auto Configuration with Defaults)」を選び、【Enter】を押します。

セットアップ確認の画面が表示されます。

3 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押します。

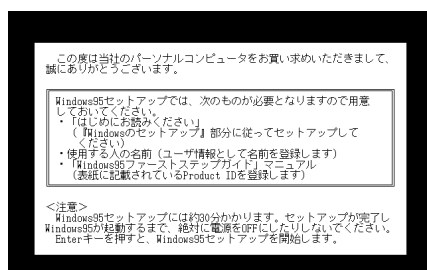
BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

4 キーボードの【F10】を押します。

セットアップ確認の画面が表示されます。

5 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押します。

BIOSセットアップメニューが終了し、本機が自動的に再起動して次の画面が表示されます。



『はじめにお読みください』をご覧になり、セットアップを続けてください。

セットアップの画面が表示されずに、メッセージが表示された

機種によっては、初めて電源を入れたときに「Save to Disk partition not found...」で始まるメッセージが表示されますが、異常ではありません。しばらくするとセットアップの画面が表示されます。
『はじめにお読みください』をご覧ください、セットアップを続けてください。

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった



5秒以上たってから、もう一度電源を入れて、表示される画面をチェックしてください

名前を入力する画面が表示されたとき

『はじめにお読みください』の「Windowsのセットアップ」の「名前を登録する」からセットアップを続けてください。

「何かキーを押してください」と表示されたら、【Enter】などのキーを何か1つ押してください。スキャンディスクが始まります。

スキャンディスクで異常が発見されなかったときは、名前を入力する画面が表示されます。そのままセットアップを続けてください。

何か異常が発見されたときは、画面の指示に従ってください。問題が解決したら、名前を入力する画面が表示されます。そのままセットアップを続けてください。

スキャンディスクの結果、システムに重大な問題が発見されたことを伝えるメッセージが表示された場合は、再セットアップが必要になります。

参照 → 再セットアップをするときには『活用ガイド 再セットアップ編』

セットアップの途中で電源スイッチを操作してしまったら、「Windowsを終了します。よろしいですか?」というメッセージが表示された

「キャンセル」ボタンをクリックしてください。元の画面に戻りますので、そのままセットアップを続けてください。

ハードウェアの検出中にパソコンが動かなくなった(フリーズした)

☹️➡️😊 本当にフリーズしていますか?

Windows 95のセットアップは、さまざまな情報を入力したり、設定をしたりします。この際、正常に処理が行われていても、数分～十数分画面が止まったようになることがあります。あわてて電源を切らないように注意してください。

セットアップ時に登録した名前や会社名を変更したい

セットアップ時に「ユーザー情報」で登録した名前や会社名は、セットアップが完了すると変更できません。

どうしても変更したいときは、再セットアップを行ってください。再セットアップの「ユーザー情報」のウィンドウで名前や会社名を入力します。

参照 再セットアップするときには→『活用ガイド 再セットアップ編』

電源を入れたが

「Invalid system disk Replace the disk,...」と表示された

Windows 95でフォーマットしただけでシステムの入っていないフロッピーディスクやスーパーディスクがセットされていたり、フォーマットされただけのハードディスクが接続されているとこのようなメッセージが表示されます。

☹️➡️😊 フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされていないか確認してください

フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされているとき

システムの入ったディスクをセットしなおすか、またはディスクを取り出して、何かキーを押してください。



フロッピーディスクやスーパーディスクから起動したいときは、PC98-NXシリーズ用のWindows 95でフォーマットされ、Windows 95のシステムが入ったディスクを使用してください。PC-9800シリーズで作られたシステムディスクは使用できません。

フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされていなかったとき

Windows 95起動ディスクから本機を起動して、ハードディスクにスキャンディスクを実行し、ハードディスクの状態を調べてください。

問題が発見されたときは画面の指示に従ってください。スキャンディスクの結果、システムに重大な問題が発見されたときは再セットアップしてください。また、ハードディスクがフォーマットされただけでWindows 95がインストールされていないときも、再セットアップしてください。

参照 ➡️ 再セットアップをするときには『活用ガイド 再セットアップ編』

「Non-system disk or disk error」と表示された

☹️➡️😊 フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされていませんか？

MS-DOSでフォーマットしたフロッピーディスクやスーパーディスクがセットされているとこのようなメッセージが表示されます。

ディスクを取り出して何かキーを押すか、一度電源を切り、約5秒以上待ってからもう一度電源を入れ直してください。



フロッピーディスクやスーパーディスクから起動したいときは、Windows 95でフォーマットされ、Windows 95のシステムが入ったディスクを使用してください。

カーソル以外、画面に何も表示されない

☹️➡️😊 フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされていませんか？

システムの入ったフロッピーディスクやスーパーディスクをセットし直して何かキーを押すか、またはフロッピーディスクやスーパーディスクを取り出して、一度電源を切り、約5秒以上待ってから電源を入れ直してください。



フロッピーディスクやスーパーディスクから起動したいときは、Windows 95でフォーマットされ、Windows 95のシステムが入ったディスクを使用してください。

「Operating System not found」と表示された

☹️➡️😊 フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされているか確認してください

フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされているとき

本機で使用できないフロッピーディスクやスーパーディスクがセットされているとこのようなメッセージが表示されます。フロッピーディスクやスーパーディスクを取り出して、一度電源を切り、約5秒以上待ってからもう一度電源を入れ直してください。ハードディスクからWindows 95が起動します。



フロッピーディスクやスーパーディスクから起動したいときは、Windows 95でフォーマットされ、Windows 95のシステムが入ったディスクを使用してください。

フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされていないとき

Windows 95起動ディスクから本機を起動して、FDISKコマンドを実行し、Cドライブの状態を調べてください。

参照 Windows 95起動ディスクから本機を起動するには→「Windows 95起動ディスクからパソコンを起動したい」(p.264)

- ・ Cドライブの「状態」のところに「A」が付いていないとき

FDISKオプションの「4. 領域情報を表示」で「領域C」の「状態」の所に「A」がついているか確認してください。ついていないときは、Cドライブがアクティブでない状態であることを表しています。

FDISKオプションの「2. アクティブな領域を設定」を選び、Cドライブをアクティブな状態にしてください。

- ・ 「領域」のところに何も表示されていない。または、Cドライブの「システム」のところが「FAT32」または「FAT16」以外になっているとき

ハードディスクがフォーマットされていません。『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧ください。再セットアップしてください。

参照 再セットアップをするときには→『活用ガイド 再セットアップ編』

ここに書かれていないその他のメッセージが表示された、またはピーツというエラー音がした



⇒😊 フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされていませんか？

フロッピーディスクやスーパーディスクによっては、本書に書かれていないメッセージが表示されたり、ピーツというエラー音がしたりします。

起動時に「何かおかしいな」と思ったら、フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされているか確認してください。

フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされているとき

システムの入ったフロッピーディスクやスーパーディスクをセットし直して、何かキーを押すか再起動してください。またはフロッピーディスクやスーパーディスクを取り出して、一度電源を切り、約5秒以上待ってからもう一度電源を入れ直してください。

フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされていないとき、または上記の手段でも問題が解決しなかったとき

メッセージや症状を書きとめて、ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

ディスプレイに何も表示されない

電源ランプ()が点灯していないとき

 →  ACアダプタは正しく接続されていますか？ バッテリーパックは取り付けられていますか？ バッテリーは充電されていますか？

『はじめにお読みください』に従って、バッテリーパックやACアダプタを接続しなおしてください。

ACアダプタを接続しないで、バッテリーパックを取り付けているときは、バッテリーの残量がなくなっていることが考えられます。ACアダプタを接続して充電してください。

 **チェック!!** ACアダプタを正しく接続して電源を入れても電源ランプが点灯しないときは、本機の故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

電源ランプ()が点灯しているとき

 →  ディスプレイの輝度(明るさ)は適切ですか？

【Fn】を押したまま【F8】または【F9】を押し、ディスプレイの輝度を調整してください。

☹️➡️😊 外付けのディスプレイを接続していませんか？

外付けのディスプレイを接続した状態で、画面の出力先が「外部モニター」になっているときは、液晶ディスプレイには画面が表示されません。キーボードの【Fn】を押したまま【F3】を押すことで、画面の出力先を切り替えることができます。詳しくは『活用ガイド ハードウェア編』PART2の「外部ディスプレイ」をご覧ください。

☹️➡️😊 液晶ディスプレイで表示できない解像度に設定されていませんか？

強制的に本機の電源を切った後、SafeモードでWindowsを起動して、解像度を設定し直してください。

参照 強制的に電源を切る方法 → 「電源を切れない。強制的に電源を切りたい」(p.197)

✔️**チェック!!** これらのチェックを行ってもディスプレイに何も表示されないときは、故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

Windows 95が起動しない

BIOSセットアップメニューの設定が正しくない可能性があります。次の方法でBIOSセットアップメニューの設定をご購入時の状態に戻して、もう一度電源を入れ直してください。

✔️**チェック!!** ・本機にPCカードを接続しているときは、取り外してください。

・BIOSセットアップメニューの設定を初期値に戻しても、スーパーバイザパスワードとユーザパスワードは解除されません。

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 「NEC」のロゴが表示されたらすぐにキーボードの【F2】を押します。
BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。
- 3 「デフォルト値をロード(Auto Configuration with Defaults)」を選び、【Enter】を押します。
セットアップ確認の画面が表示されます。
- 4 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押します。
BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

VA50J/WX、VA50J/WT、VA45J/WS、VA46H、VA43Hのワイヤレスモデルをお使いの場合は、BIOSセットアップメニューの「周辺機器セットアップ (Peripheral Setup)」で「赤外線ポート (IR Serial Port)」を「自動 (Auto)」に設定し、「IR/PIAFS切り替え (IR/PIAFS Switch)」を「PIAFS」に設定してください。

5 キーボードの【F10】を押します。

セットアップ確認の画面が表示されます。

6 「はい (Yes)」を選び、【Enter】を押します。

BIOSセットアップメニューの設定が初期値となり、再起動します。

「Microsoft Windows 95 Startup Menu」が表示された



「3. Safe mode」を選ぶような画面が表示されているか確認してください

「3. Safe mode」を選ぶような画面(「Enter a choice:」が「3」になっている状態)が表示されたときは、そのまま【Enter】を押します。

「キーボードのタイプを判定します」と表示されたら、【半角/全角】を押してください。次に表示される画面で「OK」ボタンをクリックすると、Windows 95がSafeモードで起動します。



チェック!!

・画面の配色や解像度が通常とは異なりますが、異常やトラブルではありません。Windows 95 Startup Menuは、起動時に問題があってWindowsが正常に起動できなかったときに表示されます。Safeモードを選ぶような画面が表示されたときは「1. Normal」を選ばずに、Safeモードで起動してください。Safeモードで問題が解決すると、次に起動したときは、元の状態に戻ります。

・問題が解決しなかったときは、システムに障害が発生している可能性があります。再セットアップを行ってください。



参照 再セットアップするときには→『活用ガイド 再セットアップ編』

「Windowsが正しくシャットダウンされませんでした」と表示される



キーボードのいずれかのキー(【Enter】など)を押してください

スキャンディスクが起動し、ハードディスクに異常がないかチェックが行われ、ハードディスクに異常がなければ、Windows 95が起動します。

正常に起動しなかったときは、画面の指示に従ってください。

✓ チェック!! 再セットアップの必要があるとき

- ・ スキャンディスクでシステムファイルに異常が発見されたとき
- ・ 異常は発見されなかったが、Windowsが起動しないとき
- ・ 動作が不安定なとき
- ・ 画面が正しく表示されないとき



正しく電源を切らなかったときや、サスペンドした内容が何らかの原因で失われてしまうと、このメッセージが表示されます。

参照 再セットアップするときには→『活用ガイド 再セットアップ編』

パスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」と表示される

☹️➡️😊 設定したパスワードを正しく入力しましたか？

パスワードをもう一度確認して、正しく入力し直してください。

☹️➡️😊 キャップスロックキーランプ (A) またはニューメリックロックキーランプ (1) が点灯していませんか？

キャップスロックキーランプやニューメリックロックキーランプが点灯していると、パスワードを正しく入力できない場合があります。

キャップスロックキーランプが点灯しているときは【Shift】を押したまま【Caps Lock】を押して、キャップスロックを解除してから、パスワードを入力してください。

ニューメリックロックキーランプが点灯しているときは、ニューメリックロックを解除してから、パスワードを入力してください。

ニューメリックロックの解除のしかた

- ・ VA50J/BH、VA40H、VA33Hの場合

【Fn】+【F12】を押す

- ・ 上記以外のモデルの場合

【Num Lock】を押す

パスワードを忘れてしまった

Windows 95のパスワードを忘れたとき

Windows 95のパスワードを忘れてしまったときは、「Windowsログオン」の画面で、新しいユーザ名でログオンを行うか、Windows 95を再セットアップしてください。

「Windowsログオン」でパスワードの入力をせずに「キャンセル」ボタンをクリックすると、ネットワーク上の「パスワードの保存」などの機能が使えなくなります。



本機の購入時の設定では、「Windowsログオン」の画面は表示されません。ネットワークの設定などを行うと表示されるようになります。

スーパーバイザパスワードや暗証番号ボタンのパスワード(暗証番号機能モデルのみ)を忘れてしまったとき

スーパーバイザパスワードや暗証番号ボタンのパスワード(暗証番号機能モデルのみ)を忘れてしまったときには、解除処置が必要です。Bit-INN、NEC サービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。

- ・パスワード解除処置は保証期限内でも有償です。
- ・パスワード解除処置は原則としてお客様のお持ち込みによる対応となります。機密保持のため、お客様ご本人からのご依頼に限り、処置をお受けいたします。
- ・パスワード解除処置を依頼されるときには、次のものをすべてご用意ください。
 1. 本機の購入を証明するもの(保証書など)
 2. 身分証明書(お客様ご自身を証明できるもの)
 3. 印鑑
- ・パスワード解除処置をご依頼の際、受付にてお客様ご自身により専用の用紙に必要事項を記入・捺印していただくことが必要です。専用品紙の記載事項にご同意いただけない場合には、処置のご依頼に対応しかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ハードディスクのパスワードを忘れてしまったとき

ハードディスクに保存したパスワードを忘れてしまうと、ハードディスクの利用ができなくなります。この場合は、ハードディスクの有償交換となります。また、ハードディスクに保存したデータを見られなくなります。

- ✓ **チェック!!** お客様ご自身で作成されたデータも利用できなくなります。ハードディスクは有償で交換することになりますので、ハードディスクのパスワードは忘れないように十分注意してください。

レジュームしたが、何も画面に表示されない

- ☹️➡️😊 キャップスロックキーランプ (A) とスクロールロックランプ (N) が交互に点灯していませんか？

レジュームしたときに、画面に何も表示されずにキャップスロックキーランプ (A) とスクロールロックキーランプ (N) が交互に点灯しているときには、パスワードが設定されています。

電源を入れたときに入力したパスワードをもう一度入力し直してから、【Enter】を押してください。

- ✓ **チェック!!** レジュームしたときに入力するパスワードは、前回電源を入れたときのパスワードと同じものを入力する必要があります。

Windows 95の起動時、「Invalid HIBERNATION XXXX / file...RUN HDPREPEZ...」または「Save to Disk partition not found...」と表示された

- ☹️➡️😊 メモリの取り付け / 取り外しやCDドライブの圧縮 / 圧縮解除などをしませんでしたか？

メモリの取り付け / 取り外しやCDドライブの圧縮 / 圧縮解除などをしたときは、ハイバネーション機能をもう一度設定し直してください。

- ☹️➡️😊 ハイバネーション機能を使用しない設定にしませんでしたか？

ハイバネーション機能を使用しない設定にした場合、Windows 95起動時には必ずこのメッセージが表示されます。

- ☹️➡️😊 ハイバネーション状態のときに機器構成を変えませんでしたか？

ハイバネーションの設定をして電源を切ったときに、接続している周辺機器などの構成を変えると、ハイバネーション機能が正しく働かないことがあります。このようなときは、一度電源を切り、機器構成を元に戻してから、もう一度電源を入れてください。

電源を入れたら「MACAFEEによる保護」または「VirusScan DATファイルのアップデート!」というメッセージが表示される

ウイルス検出用のウイルスデータファイルが古くなっている場合、最新のウイルスを検出するために、ウイルスデータの更新をうながすメッセージが表示されます。

インターネットに接続できる場合は、「アップデート」または「更新」ボタンをクリックすると自動的に最新のDATファイルをダウンロードし、アップデートすることができます。

インターネットに接続できない場合は「キャンセル」ボタンもしくは「OK」ボタンをクリックしてください。

バッテリーを使っていたら

ACアダプタを接続してもバッテリーの充電が始まらない

- ☹️➡️😊 バッテリーがフル充電されていませんか？
 バッテリーがフル充電されている場合はバッテリー充電ランプが消灯しています。既にバッテリーがフル充電されていたり、フル充電に近いと充電されないことがあります。
- ☹️➡️😊 バッテリーパックが接触不良を起こしていませんか？
 バッテリーパックが接触不良のときには、バッテリー充電ランプが点滅します。バッテリーパックを取り外し、もう一度取り付けてください。

タスクバーに電源アイコンが表示されない

- ☹️➡️😊 バッテリーパックは取り付けられていますか？
 バッテリーパックが取り付けられていないと電源アイコン  は表示されません。
- ☹️➡️😊 バッテリーパックから本機を駆動していませんか？
 バッテリーパックから本機を駆動している場合は  が表示されません。
- ☹️➡️😊 「コントロールパネル」の「パワーマネージメント」で、「Windowsでコンピュータの電源管理をする」はオンになっていますか？

- 1 「コントロールパネル」を開き、「パワーマネージメント」アイコンをダブルクリックします。
 「電源のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「パワーマネージメント」タブの「Windowsでコンピュータの電源管理をする」が ☐ (オフ) になっているときは、クリックして ☒ (オン) にします。
- 3 「詳細」ボタンをクリックします。
 「詳細のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 4 「トラブルシューティング」タブの「電力状態をポーリングしない」が ☒ (オン) になっているときは、クリックして ☐ (オフ) にします。

- 5 「詳細のプロパティ」ウィンドウの「OK」ボタンをクリックします。
「詳細のプロパティ」ウィンドウが閉じます。
- 6 「電源のプロパティ」ウィンドウの「OK」ボタンをクリックします。
「システム設定の変更」ウィンドウが表示されます。
- 7 「はい」ボタンをクリックします。
パソコンが再起動します。
- 8 「コントロールパネル」を開き「パワーマネージメント」アイコンをダブルクリックします。
「電源のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 9 「パワーマネージメント」タブの「タスクバーにバッテリーの状態を表示」が ☐ (オフ) になっているときは、クリックして ☒ (オン) にします。
- 10 「電源のプロパティ」ウィンドウの「OK」ボタンをクリックします。
「電源のプロパティ」ウィンドウが閉じ、タスクバーに電源アイコンが表示されます。
再起動を促すメッセージが表示されたときは、画面の指示に従って再起動してください。

フル充電したのに、バッテリー充電ランプ()が点灯する

バッテリーは少しずつ自然放電しているので、それを補充するため、ACアダプタが接続されているときは自動的に充電が始まります。故障ではありません。

バッテリー充電ランプ()が点滅する

 ➡  バッテリーが正しく取り付けられていますか？

電源を切り、ACアダプタとバッテリーパックを取り外してからもう一度正しく取り付け直してください。

バッテリーパックを取り付け直しても直らないときは、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「バッテリー」をご覧ください。バッテリーリフレッシュを行ってください。バッテリーリフレッシュを行っても直らないときは、バッテリーパックの寿命ですので別売のバッテリーパックと交換してください。

電源を切ろうとしたが

電源を切れない。強制的に電源を切りたい

正しい電源の切り方

- 1 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックします。
「Windowsの終了」ウィンドウが表示されます。
- 2 「電源を切れる状態にする」をクリックして  (オン) にし、「OK」ボタンをクリックします。
しばらくすると、自動的に電源が切れ、電源ランプ () が消えます。

メモ

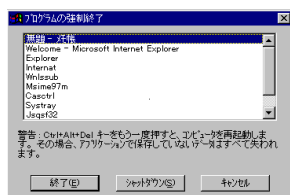
- ・作業中に誤って電源スイッチを操作してしまったときは、「Windowsを終了します。よろしいですか」というメッセージが表示されます。このようなときは「キャンセル」ボタンをクリックすると元の画面に戻ります。
「OK」ボタンをクリックすると、しばらくして自動的に電源が切れます。
- ・機種によっては、BIOSセットアップメニューで、電源スイッチでスリープ状態になる設定にしている場合は、電源スイッチを操作したときにスリープ状態になりますので、ご注意ください。

画面は表示されているが正しい手順で電源が切れないとき

上記の手順で電源が切れないときは、アプリケーションがフリーズ(ハングアップ)するなどの異常を起こしていることが考えられます。

次の方法で異常を起こしているアプリケーションを強制的に終了してから、本機の電源を切ってください。

- 1 【Ctrl】と【Alt】を押したまま【Del】を押してください。
「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されます。



- 2 右側に「応答なし」と表示されているアプリケーションがあるときはアプリケーション名をクリックし、「終了」ボタンをクリックします。



この方法でアプリケーションを終了させると、保存していないデータは消えてしまいます。

- 3 もう一度、「正しい電源の切り方」に従って電源を切ってください。

この方法でも電源を切ることができないときは、次の「強制的に電源を切る方法」に従って本機を強制的に終了させてください。



強制的に電源を切る方法

電源スイッチを約4秒以上操作し続ける



チェック!! BIOSセットアップメニューで、電源スイッチでスリープ状態になる設定にしている場合、この操作をするとスリープ状態になってしまうことがあります。このようなときには、いったん電源スイッチから手を離し、もう一度電源スイッチを約4秒以上操作し続けて本機を強制的に終了させてください。

画面が表示されていないとき

サスペンド/レジューム機能、または、ハイバネーション機能に対応していないアプリケーションを使っているときに、サスペンド状態、または、ハイバネーション状態になると、電源を切ることができなくなることがあります。このようなときには、いったん電源スイッチを約4秒以上操作し続けて本機を強制的に終了させてください。

画面がおかしい

電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる

☹️➡️😊 スタンバイモードになっていませんか？

NXパッドなどのポインティングデバイス进行操作するか、またはキーボードのいずれかのキー(【Shift】など)を押してください。元に戻らないときは、サスペンド状態になっていると考えられます。『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能(Windows 95の場合)」をご覧ください。

画面の色がおかしい

Windows 95の画面の表示色を256色にしていると、アプリケーションによっては画面の色が正しく表示されないことがあります。次の操作をすると正しく表示されることがあります。

- 1 デスクトップ上の何も無いところで右クリックします。
- 2 表示されるメニューから「アクティブデスクトップ」→「Webページで表示」をクリックします。
「Webページで表示」の左にチェックが付いていないことを確認してください。

アクティブ デスクトップ(インターネットエクスプローラ)ではなく、Windows 95の画面にしたい

- インターネットエクスプローラの機能を削除せずWindows 95の画面に近づけると

次の操作をすると画面はWindows 95に近いものになります。

- 1 マイコンピュータを開き「表示」メニューの「フォルダオプション」をクリックします。
- 2 「全般」タブの「Windows デスクトップのアップデート」で「従来のWindowsスタイル」を選んで「OK」ボタンをクリックします。

- アクティブ デスクトップ機能を削除するとき

次の手順で、アクティブ デスクトップの機能を外すことができます。

- 1** 「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2** 「セットアップと削除」タブで「Microsoft Internet Explorer 4.0」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックします。
「Internet Explorer 4.0 アクティブセットアップ」ウィンドウが表示されます。
- 3** 「Windows デスクトップのアップデートコンポーネントを削除するが、Internet Explorer 4.0のWebブラウザは削除しない」を選び、「OK」ボタンをクリックします。
セットアップメッセージが表示されます。
- 4** 「すべてのプログラムを閉じて、システムを再設定します。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックします。
「自動的に閉じることができなかったプログラムがいくつかあります。」と表示されたときは、作業中のデータを保存し、実行中のプログラムをすべて終了させてから「OK」ボタンをクリックしてください。

MS-DOS プロンプト画面がフルスクリーンになってしまった

【Alt】を押したまま【Enter】を押してください。

MS-DOSモードを終了し、Windows 95に戻りたい

EXITと入力して【Enter】を押します。

Windows 95が起動します。

液晶ディスプレイを開いたら、画面が表示されなくなった

☹️➡️😊 スクリーンセーバーを設定していませんか？

スクリーンセーバーを設定しているときに、液晶ディスプレイを閉じてもう一度開くと、まれに液晶ディスプレイの画面に何も表示されないことがあります。この場合は、【Fn】を押したまま【F3】を1回押すことで、画面を表示することができます。

別売のディスプレイを使っていたら

ディスプレイの省電力機能を設定できない



ディスプレイの省電力機能は、「コントロールパネル」の「画面」で設定します。



「ディスプレイの詳細プロパティ」ウィンドウにディスプレイの種類は表示されていますか？

1 「コントロールパネル」を開いて「画面」アイコンをダブルクリックします。

「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「ディスプレイの詳細」タブで「詳細プロパティ」ボタンをクリックします。

「ディスプレイの詳細 プロパティ」ウィンドウが開きます。「モニター」タブに、「モニター不明」と表示されているときは、省電力機能が使えません。使っているディスプレイの種類を指定してください。



ここに使っているディスプレイの種類が表示されます。

3 「省電力ディスプレイ」をクリックして ☒ (オン) にします。



参照 ディスプレイの種類を指定するには→『活用ガイド ハードウェア編』PART2の「外部ディスプレイ」



「コントロールパネル」の「パワー・マネジメント」を確認してください

1 「コントロールパネル」を開き「パワー・マネジメント」アイコンをダブルクリックします。

「電源のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 2 「パワー・マネジメント」タブで「Windowsでコンピュータの電源管理をする」のチェックボックスをクリックして ☒ (オン) にしてください。ここが ☒ (オン) になっていないと、Windows 95で電源の管理ができません。



「ディスプレイの種類が指定されていません...」というメッセージが表示される



「ディスプレイの詳細プロパティ」ウィンドウにディスプレイの種類は表示されていますか？

- 1 「コントロールパネル」を開いて「画面」アイコンをダブルクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「ディスプレイの詳細」タブで「詳細プロパティ」ボタンをクリックします。
「ディスプレイの詳細 プロパティ」ウィンドウが開きます。「モニター」タブに、「モニター不明」と表示されているときは、省電力機能が使えません。使っているディスプレイの種類を指定してください。



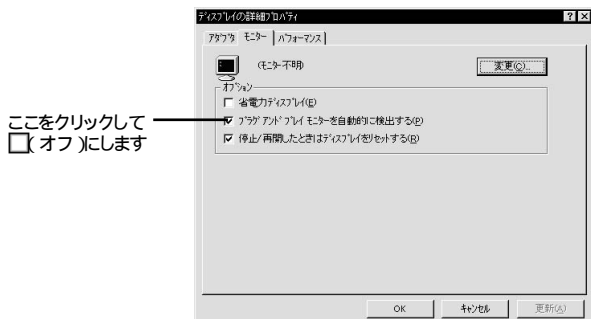
参照 ディスプレイの種類を指定するには→『活用ガイド ハードウェア編』PART2の「外部ディスプレイ」

表示できるはずの高解像度を選べない

別売のディスプレイでは、プラグアンドプレイ(DDC)対応ディスプレイでも、ディスプレイの種類によっては、高解像度など、サポートしている表示モードの一部を選べないことがあります。

次の操作で解像度を選ぶことができるようになります。

- 1 ディスプレイを接続し、Windows 95を起動します。
起動時にディスプレイが検出されたことを表すメッセージが表示されます。
- 2 「コントロールパネル」を開いて「画面」アイコンをダブルクリックします。
「画面のプロパティ」ウインドウが表示されます。
- 3 「ディスプレイの詳細」タブの「詳細プロパティ」ボタンをクリックして「モニター」タブをクリックします。
- 4 「オプション」の「プラグアンドプレイモニターを自動的に検出する」チェックボックスをクリックして ☐ (オフ) にします。



- 5 「OK」ボタンをクリックし、もう一度「OK」ボタンをクリックします。
- 6 「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。
「Windowsの終了」ウインドウが表示されます。
- 7 「再起動する」を ☒ (オン) にし、「OK」ボタンをクリックします。
Windowsが再起動します。
- 8 「コントロールパネル」を開き「画面」アイコンをダブルクリックします。
「画面のプロパティ」ウインドウが表示されます。

9 「ディスプレイの詳細」タブの「詳細プロパティ」ボタンをクリックします。

10 「モニター」タブの「変更」ボタンをクリックします。

モニター不明の場合は、次の画面が表示されます。間違ったディスプレイが選ばれているときは、「すべてのデバイスを表示」をクリックすると、同じような画面を表示することができます。



(画面はモデルによって多少異なります)

11 「製造元」でディスプレイの製造元を選び、「モデル」でディスプレイの種類を選びます。

ディスプレイ一覧に、接続したディスプレイの種類が表示されないときは、「製造元」で「(スタンダードモニター)」を選び、「モデル」で接続したディスプレイがサポートしている解像度を選びます。

参照 ディスプレイの製造元とモデル→ディスプレイ添付のマニュアル

12 「OK」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリックしてください。

13 「OK」ボタンをクリックします。

14 Windowsを再起動するようメッセージが表示されるときは、他のアプリケーションが終了していることを確認して「はい」ボタンをクリックしてください。

再起動後、高解像度を選ぶことができるようになります。

参照 解像度の変更をするときには→『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「液晶ディスプレイ」

NXパッドを操作しても

NXパッドを操作しても、何も反応しない、または反応が鈍い

キーボードのキーを押すと反応する

☹️ → 😊 スクロール領域で操作していませんか？

出荷時の設定では、NXパッドのスクロール機能が有効になっています。パッドのスクロール領域(右端下)でポインタの移動やドラッグなどの操作をすることができません。スクロール機能のオン/オフは「コントロールパネル」を開き「マウス」アイコンをダブルクリックして表示される「マウスのプロパティ」ウィンドウの「ジェスチャー」タブで設定できます。

参照 → イージースクロール機能について → 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「NXパッド」

☹️ → 😊 指先やNXパッドが汚れていませんか？

指先やNXパッドに水分や油分がついていると、正常に動作しません。汚れを拭き取ってから操作してください。

☹️ → 😊 NXパッドの2カ所以上に同時に触れていませんか？

NXパッドの2カ所以上に同時に触れていると、正常に動作しません。

☹️ → 😊 NXパッドを使用しない設定になっていませんか？

VA50J/BH、VA40H、VA33H以外の機種の場合は、BIOSセットアップメニューの「拡張セットアップ(Advanced CMOS Setup)」の「NXパッド(Internal Mouse)」を「使用する(Enable)」に設定してください。

参照 → NXパッドの設定 → 『活用ガイド ハードウェア編』の「PART3 BIOSセットアップメニュー」

☹️ → 😊 「コントロールパネル」の「パワーマネージメント」で、「Windowsでコンピュータの電源管理をする」は ☒ (オン) になっていますか？

1 「コントロールパネル」を開き「パワーマネージメント」アイコンをダブルクリックします。

「電源のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「パワーマネージメント」タブで「Windowsでコンピュータの電源管理をする」のチェックボックスをクリックして ☒ (オン) にしてください。

☹️➡️😊 「マウスのプロパティ」で「ボタン設定」が変更されていませんか？

次の手順でボタンの設定を変更することができます。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックします。
「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「ボタン」タブの「ボタン設定」で「左ボタン」「右ボタン」「左右ボタン」の設定を使いやすいように設定してください。

キーボードのキーを押しても反応しない

☹️➡️😊 マウスポインタが砂時計の形 ⌚ に変わっていませんか？

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラムの処理をしているので、NXパッドの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。

しばらく待ってもNXパッドの操作ができないときは、プログラムに異常が発生して動かなくなった（フリーズした）と思われます。アプリケーションを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは消去されます。

参照 ➡️ 強制終了をするときには→「電源を切れない。強制的に電源を切りたい」(p.197)

NXパッドが動作しない

誤動作防止のため、キー入力時にはNXパッドからの操作が無効になるように設定されています。

この設定を解除するには、次の手順で設定を変更してください。

- 1 「コントロールパネル」を開き「マウス」アイコンをクリックします。
「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「タッピング」タブをクリックし、「キー入力時タップ・ポインタ移動しない」の☒ オン)をクリックして☐ オフ)にします。
- 3 「OK」ボタンをクリックします。

文字を入力しようとしたら

キーボードのキーを押しても、何も反応しない

☹️➡️😊 マウスポインタが砂時計の形⌚に変わっていませんか？

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラムの処理をしているので、キーボードからの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。

しばらく待っても、キーボードの操作ができないときは、プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)と思われます。アプリケーションを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは消去されます。

参照 強制終了をするときには→「電源を切れない。強制的に電源を切りたい」(p.197)

別売のキーボードを接続したが、キーを押しても反応しない。使えないキーがある

☹️➡️😊 キーボードの設定は行いましたか？

設定していないときは、次の方法でキーボードの設定を行ってください。

✔️**チェック!!** この方法で設定すると別売のキーボードも使えますが、キーによっては使えなくなることがあります。

- 1 「コントロールパネル」を開き「キーボード」アイコンをクリックします。
「キーボードのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「情報」タブの「変更」ボタンをクリックします。
- 3 「モデル」に表示されている一覧の中から接続しているキーボードをクリックします(接続しているキーボードが表示されていないときは、「すべてのデバイスを表示」をクリックしてください)。
- 4 「OK」ボタンをクリックします。
「再起動しますか？」と表示されます。

5 「はい」ボタンをクリックします。

パソコンが再起動し、キーボードを使えるようになります。

キーボードで押したキーと違う文字が表示される

☹️➡️😊 キャップスロックキーランプ (A) が点灯していませんか？

この状態で【Shift】を押していないときは大文字、押しているときは小文字が入力されます。

【Shift】を押したまま【Caps Lock】を押して、ランプを消すと、【Shift】を押していないときは小文字、押しているときは大文字が入力される状態になります。

☹️➡️😊 ニューメリックロックキーランプ (1) が点灯していませんか？

ニューメリックロックキーランプ (1) が点灯しているときには、VA50J/BH、VA40H、VA33Hの場合はキー上段に青で表示されている数字や記号が入力され、その他のモデルの場合はキー前面に印字されている数字や記号が入力されます。ニューメリックロックを解除すると、通常の文字が入力される状態になります。

ニューメリックロックの解除のしかた

- ・ VA50J/BH、VA40H、VA33Hの場合

【Fn】+【F12】を押す

- ・ 上記以外のモデルの場合

【Num Lock】を押す

☹️➡️😊 入力したいモードになっていますか？

日本語入力と英字入力を切り替えたいときは、【Alt】を押したまま【半角/全角】を押します。

日本語入力モードでかな入力とローマ字入力を切り替えたいときは、【Ctrl】を押したまま【Caps Lock】を押します。

☹️➡️😊 別売の98配列USBキーボード(バスパワーハブ付き)を使っていませんか？

別売の98配列USBキーボード(バスパワーハブ付き)を使っているときは、内蔵キーボードは使用できません。

記号などで入力できない文字がある

日本語入力システムを使っても入力できないような文字は、文字コード表を使って入力します。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」の「文字コード表」をクリックします。

「文字コード表」ウィンドウが表示されます。



- 2 文字コード表の文字をダブルクリックして、「コピー」をクリックし、文書を開いているアプリケーションの「編集」メニューの「貼り付け」を選びます。



貼り付け先でフォントの再指定が必要なものもあります。



参照 文字コード表を使うとき→文字コード表のヘルプ

MS-DOSプロンプトのとき、バックスラッシュ(\)が入力できない

\の代わりに¥を入力して代用することができます。

例) 英語モード >\cd

日本語モード .. >¥cd

バックスラッシュ(¥)は、MS-DOSプロンプトが日本語モードの場合はキーを押しても入力できません。入力したい場合は次の手順で一度英語モードにしてください。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」の順にクリックします。

「MS-DOSプロンプト」の画面が表示されます。

- 2 「US」と入力して【Enter】を押します。

これで英語モードになります。日本語モードに戻す場合は、手順2で「JP」と入力してから【Enter】を押してください。

ファイルを保存しようとしたら

ハードディスクに保存できない

☹️ → 😊 ディスクの空き領域を確認してください

「ハードディスクの空き領域が足りない」(p. 236)に従って空き領域を増やしてください。ディスクの空き領域よりもサイズが大きいファイルは保存できません。

フロッピーディスクやスーパーディスクに保存できない

☹️ → 😊 フロッピーディスクやスーパーディスクがライトプロテクトされていませんか？
ディスクがライトプロテクトされているときは、ライトプロテクトを解除してください。

参照 ライトプロテクトを解除するには→「読み込みはできるが、書き込みができない」
(p. 233)

☹️ → 😊 ディスクの空き領域を確認してください

ディスクの空き領域が足りないときは、いらないファイルを削除するか、別のディスクを使ってください。ディスクの空き領域よりもサイズが大きいファイルは保存できません。

M0ドライブなどを接続すると、より大容量のデータを扱うことができます。

本機では、市販のM0ドライブなどを接続することができます。

長いファイル名をつけられない。表示できない

☹️ → 😊 MS-DOS用やWindows 3.1用のソフトを使っていますか？

Windows 95で、Windows 95用のソフトウェアを使っているときは、ドライブ名、フォルダ名、ファイル名を合わせて、半角で255文字までの長い名前を使えますが、Windows 95でMS-DOS用やWindows 3.1用のソフトウェアを使っているときは、フォルダやファイルに長い名前をつけることはできません。半角で8文字以内の名前にしてください。

インターネット / パソコン通信しよう としたら

接続できない

☹️ → 😊 URL が正しく入力されていますか？

入力したアドレスが間違っていると、「ページが見つかりません」などのメッセージが表示されて接続できません。

URL(`http://...`)ではじまるアドレス)には、大文字、小文字の区別があります。すべて半角で入力し、コロン(`:`) スラッシュ(`/`) ピリオド(`.`) チルダ(`~`) などが抜けないようにしてください。

☹️ → 😊 モデムがきちんとセットアップされていますか？

別売のモデムを新しく接続したときは、モデムのセットアップを行う必要があります。モデムのマニュアルをご覧ください、セットアップしてください。

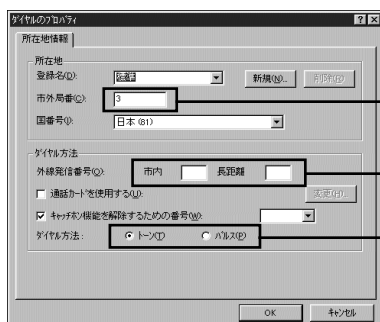
☹️ → 😊 接続は正しくできていますか？

モジュラーケーブルが正しく接続されているかを確認してください。

☹️ → 😊 電話回線の設定は正しいですか？

ご利用の電話回線がトーン式(プッシュ回線)かパルス式(ダイヤル回線)かを確認してください。また、ご利用の電話回線が外線発信が必要な場合は、外線発信番号が設定されているかを確認してください。パソコンの回線の設定を「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウで確認し、ご利用の電話回線に合わせます。

電話回線の設定は、「コントロールパネル」を開き「モデム」アイコンをダブルクリックして表示される「モデムのプロパティ」ウィンドウの「ダイヤルのプロパティ」ボタンをクリックして行ってください。



ご使用になる地域の市外局番が " 0 " ではじまる場合、最初の " 0 " を除いた番号を入力します。

外線発信番号が必要な回線をご利用の場合は入力します。

プッシュ回線の場合はトーンを、ダイヤル回線の場合はパルスを選択します。

☹️ ➡️ 😊 ダイアルアップの設定は正しいですか？

プロバイダに接続するための正しい情報を設定する必要があります。ダイヤルアップの画面で、正しく設定できているかを確認してください。

☹️ ➡️ 😊 Internet Explorerの接続設定は正しいですか？

1 コントロールパネルの「インターネット」アイコンをダブルクリックします。

「インターネットのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「接続」タブをクリックし、「モデムを使用してインターネットに接続」が

☐ オフ) になっているときはクリックして ☑️ オン) にしてください。

☹️ ➡️ 😊 電話番号は正しいですか？

接続先の電話番号をもう一度確認してください。

☹️ ➡️ 😊 回線が混雑していませんか？

時間帯によっては回線が混んでいて接続できないことがあります。何度か接続し直してみるか、少し待ってから接続し直してください。また、何度接続し直しても接続できない場合には、アクセスポイントを変更してみてください。

☹️ ➡️ 😊 電話を使っていますか？

電話と同じ回線に接続しているとき、電話を使っている間はインターネットに接続できません。電話を切ってから接続の操作を行ってください。

☹️➡️😊 キャッチホンサービスを受けていませんか？

キャッチホンサービスを受けている場合、モデムで通信中に電話がかかってくると、モデムによる通信が切れる場合があります。この場合は、もう一度接続し直してください。通話中にかかってきた電話を転送・録音する、キャッチホンIIというサービスを利用すると通信が切れることはありません。

☹️➡️😊 電話回線を使うアプリケーションが他に起動していませんか？

電話回線を使うアプリケーションが他にも起動していると、インターネットに接続できないことがあります。そのアプリケーションを終了させたあと、接続の操作を行ってください。

☹️➡️😊 FAXモデムは動作していますか？

デバイス マネージャの画面を表示して(p.246) FAXモデムが正しく認識されているかを確認してください。

FAXモデムのアイコンが表示されていなかったり、アイコンに赤い「×」や黄色い「！」がついているときは、正しく認識されていません。Windows 95のヘルプを参照して、「×」や「！」がついていない状態にしてください。

☹️➡️😊 親機の通信圏外でダイヤルしようとしていませんか？(ワイヤレスモデルの場合)

別売の親機との有効通信圏は最大約100m以内です。有効通信圏内でダイヤルしなおしてください。

BIOSセットアップメニューで設定すると、圏内 / 圏外の状況をランプで表示させることができます。詳しくは、『活用ガイド ハードウェア編』の「表示ランプ」をご覧ください。

☹️➡️😊 親機の設定が間違っていないですか？(ワイヤレスモデルの場合)

購入時の状態では、別売の親機のダイヤル方法は「パルス(20pps)」に設定されています。ご利用の電話回線のダイヤル方法が「トーン(プッシュ信号)」や「パルス(10pps)」の場合、別売の親機の設定を変更する必要があります。

✔️ **チェック!!** ご利用の電話回線が「パルス」の場合でも、「ダイヤルのプロパティ」の「ダイヤルの方法」が「トーン」に設定してください。

参照 ➡️ 別売の親機に添付のマニュアル

「コンピュータは、モデムからの応答を受信しません。」と表示される

☹️➡️😊 ポート(COM値)は接続されていますか？

1 「コントロールパネル」を開き「モデム」アイコンをダブルクリックします。

「モデムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 使っているモデムをクリックして「プロパティ」でポートの欄に接続しているポートが表示されているか確認してください。

通信ソフトの設定とCOMの値を確認してください。

モデムが外付けのとき

モデムの電源と接続を確認してください。

 参照 周辺機器のマニュアル

文字がおかしくなったり、データの送受信にエラーが発生する

☹️➡️😊 通信相手との通信条件は正しいですか？

通信相手の通信条件(最大通信速度、エラー訂正手順など)を確かめて、通信速度を下げるなどの設定をしてください。詳しくは、通信ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

☹️➡️😊 本機の近くにテレビやラジオなどはありませんか？

テレビやラジオなどは、本機から遠ざけて使ってください。

本機の近くにテレビやラジオなどがあると、本機とモジュラーコンセントを接続するモジュラーケーブルがノイズの影響を受けて、正しく通信ができないことがあります。

Outlook Expressで送ったメールが文字化けしていたとき

メールの送信形式をテキスト形式にしてください。

ご購入時の状態では、HTMLメールを送るように設定されています。送信先の相手の電子メールソフトがHTMLメールに対応していない場合、HTML形式の読みにくいメールになってしまいます。メールの送信形式を単純なテキスト形式にするには次のように設定してください。

- 1 「ツール」メニューの「オプション」をクリックします。
- 2 「オプション」ウィンドウの「送信」タブをクリックします。
- 3 「メール送信の形式」の「テキスト形式」をクリックします。
- 4 「ニュース送信の形式」シートの「テキスト形式」をクリックします。
- 5 「OK」ボタンをクリックします。

これで送信形式が変更されました。



メールの返信を、送り先の電子メールソフトやニュースリーダーで表示できる形式で送るには、「受信したメッセージと同じ形式で返信する」をクリックして ☒ (オン) にします。

Exchangeで送ったメールが文字化けしていたとき



☹️ ➡️ 😊 メッセージ形式や文字コードセットは正しいですか？

次のように設定してください。

- 1 Exchangeで「ツール」メニュー→「サービス」をクリックします。
- 2 「このプロファイルにセットアップされたインフォメーションサービス (D)」の中の「インターネットメール」をクリックし、プロパティボタンをクリックします。
- 3 「全般」タブの「メッセージ形式」ボタンをクリックします。
- 4 「メッセージを送信するときにMIMEを使用 (M)」をチェックします。
- 5 「文字コードセット」ボタンをクリックし、「メッセージで使用する拡張文字の文字コードセット」で「日本語 (JIS)」を選びます。
- 6 「OK」ボタンをクリックして、開いているウィンドウをすべて閉じてExchangeを終了します。

次にExchangeを起動したときから、設定した内容が有効になります。



☹️ ➡️ 😊 半角のカタカナや特殊記号を使っていませんか？

半角のカタカナや特殊記号 (丸付き数字や罫線文字など) は使わないでください。

☹️➡️😊 件名(サブジェクト)に漢字やひらがなを使っていませんか?

件名(サブジェクト)には、漢字やひらがななどの全角文字を使わないでください。文字化けの原因になることがあります。使うときは、18文字以内にしてください。

ファイルを添付したメールをうまく送れない

☹️➡️😊 メールに添付したファイルサイズが、加入しているインターネットプロバイダが許容するサイズより大きくありませんか?

インターネットサービスプロバイダによっては、送信できる添付ファイルのサイズを制限していることがあります。

このようなときは、メールに添付するファイルを圧縮ツールなどを使って圧縮してから送ってください。また、複数のファイルを一度に送るときは、分割して送ってください。メールサイズの上限については、加入しているインターネットプロバイダのサポート窓口で確かめてください。



圧縮ツールは、ファイルのサイズを小さく圧縮するアプリケーションです。インターネットのホームページや雑誌の付録などで配布されているものもあります。

「発信音がありません。」と表示された

☹️➡️😊 電話回線は正しく接続されていますか?

モジュラーケーブルが抜けていたり浮いていたりしませんか?電話回線が正しく接続されていないときは、正しく接続直してください。

☹️➡️😊 内線 / 外線の区別がある電話回線を使っていませんか?

受話器を取ったときに発信音が聞こえるかどうか確認してください。発信音が聞こえない電話回線のときは、次の手順に従って設定してください。

- 1 デスクトップ上の「マイコンピュータ」にある「ダイヤルアップネットワーク」を開きます。
- 2 使用する接続先のアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックします。
- 3 「情報」タブの「接続の方法」の「設定」ボタンをクリックします。

4 「接続」タブの「接続オプション」の「トーンを待ってからダイヤルする」の☒ (オン) をクリック☐ (オフ) してにします。

5 「OK」ボタンを2回クリックします。

6 「情報」タブの「ダイヤルのプロパティ」ボタンをクリックします。

7 「コントロールパネル」を開き「モデム」アイコンをダブルクリックします。
「モデムのプロパティ」が表示されます。

8 「外線発信番号」を入力します。

たとえば、0発信が必要なときは、「外線発信番号」の「市内通話」と「市外通話」のそれぞれに0を入力します。

9 「OK」ボタンを2回クリックします。

アプリケーションによっては独自に設定を保存している場合があります。このようなアプリケーションをお使いの場合は、各アプリケーションのマニュアルに従って設定を変更してください。

 **チェック!!** ワイヤレスモデルで別売の親機をご利用の場合、構内変換機によっては外線発信番号のダイヤル間隔に対応できない場合があります。
その場合は、外線発信番号が必要のない電話回線をご利用ください。

 →  加入電話回線以外の回線と接続していませんか？

加入電話回線以外と接続すると、本機が正しく動作しない場合があります。
また、本機を破損するおそれがあります。

「モデムを検出できませんでした。モデムは使用中か、オフにされているか、または正しくインストールされていません。」と表示された

 →  電話回線は正しく接続されていますか？

モジュラーケーブルが抜けていたり浮いていたりしませんか？電話回線が正しく接続されていないときは、正しく接続し直してください。

 →  トーンまたはパルスの設定は正しいですか？

電話回線にはトーン式(プッシュ回線)とパルス式(ダイヤル回線)の2通りがあります。次の手順に従ってお使いの電話回線にあった方を設定してください。

- 1 コントロールパネルを開き「モデム」アイコンをダブルクリックします。
「モデムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「ダイヤルのプロパティ」ボタンをクリックします。
「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「ダイヤル方法」欄で「トーン」か「パルス」のいずれかを選択します。
- 4 「OK」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリックします。

「回線はビジーです。」と表示された



電話回線が混み合っていないですか？

しばらく待ってからもう一度接続し直してください。



トーンまたはパルスの設定は正しいですか？

電話回線にはトーン式(プッシュ回線)とパルス式(ダイヤル回線)の2通りがあります。「モデムを検出できませんでした。モデムは使用中か、オフにされているか、または正しくインストールされていません。」と表示された(→p.219)の手順に従って、お使いの電話回線にあった方を設定してください。

「ダイヤルアップネットワーク接続を確立できません。」と表示された

電話回線にはトーン式(プッシュ回線)とパルス式(ダイヤル回線)の2通りがあります。「モデムを検出できませんでした。モデムは使用中か、オフにされているか、または正しくインストールされていません。」と表示された(→p.219)の手順に従って、お使いの電話回線にあった方を設定してください。

「回線が混雑しているか、電話回線使用のお客様は、トーン / パルス、外線発信番号(“0”)の設定、ISDN回線使用のお客様は、同期 / 非同期設定に誤りがあります」と表示された



電話回線の設定は正しいですか？

次の手順に従って回線の確認と設定を行ってください。

- 1 コントロールパネルを開き「モデム」アイコンをダブルクリックします。
「モデムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「ダイヤルのプロパティ」ボタンをクリックします。

「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウが表示されたら、必要な項目を確認して設定してください。

「所在地情報」の画面が表示されたときは、0を除いた市外局番を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。もう一度「ダイヤルのプロパティ」ボタンをクリックすると、「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウが表示されますので、必要な項目を確認して設定してください。



3 「OK」ボタンをクリックします。

ダイヤラでダイヤルできない

「ダイヤラ」で正常にダイヤルできない場合は、「ダイヤル中」ダイアログボックスの「オプションの変更」ボタンをクリックし、「リダイヤルする番号」の先頭に表示されている「T」または「P」の文字を削除してからダイヤルし直してください。

モデムで電話できるか確認したい

VA50J/BH、VA40H、VA33Hの場合

【Fn】を押したまま【F6】を押して音量を調整します。キーを押すごとに音量が「なし」「小」「中」「大」と切り替わります。

上記以外のモデルの場合

正しく電話されているかどうか、モデムが電話している音で確認することができます。モデムから音がなかったり、音が小さいときは次の手順で調整してください。

- 1 コントロールパネルを開き「モデム」アイコンをダブルクリックします。
「モデムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「プロパティ」ボタンをクリックし、「全般」タブの「音量」を調整します。



画面はモデルによって異なります。

- 3 「OK」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリックします。

✓チェック!! モデムの音量設定が「オフ」になっていないのに電話をしてもモデムから音がしないときは、何らかの原因でモデムが動いていないことが考えられます。「接続できない」(p. 213)をご覧ください。それでも解決しないときは、モデムの故障が考えられますので、Bit-INN、NEC サービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

「要求されたこのURLはオフラインでは利用できません。」と表示される

「オフライン作業」をオン(チェックマークがついた状態)をしているときに、インターネットにアクセスしないと得られない情報を得ようとするこのメッセージが表示されます。ダイヤルアップ接続をして最新のインターネット情報を表示したいときは、「接続」をクリックしてください。そうでないときは、「オフライン作業」をクリックしてください。

「接続」をクリックすると、「オフライン作業」は解除されます。

Internet Explorerや関連製品に関するサポート技術情報について知りたい

Internet Explorerやその関連製品に関するサポート技術情報は、次の方法で調べることができます。

インターネットに接続し、Internet Explorerやその関連製品の「ヘルプ」メニューをクリックし、「Microsoft Webページ」「よく寄せられる質問」の順にクリックします。しばらくすると、Microsoft社のサポートページが表示されます。

このあとは、そのページの説明にしたがって操作してください。

自動発着機能が作動しない

☹️➡️😊 接続は正しくできていますか？

モジュラーケーブルが正しく接続されているかを確認してください。

☹️➡️😊 発信命令の送り方や条件は正しいですか？

モデムのマニュアルのATコマンドの項目や、使っている通信ソフトのマニュアルをご覧になり、発信命令の送り方や条件を確認してください。

  ATコマンド一覧を見る方法(FAXモデム内蔵モデルのみ)

次のようにしてATコマンド一覧を参照することができます。

1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

2 「名前」に次のように入力します。

C:¥windows ¥ATCREAD.DOC

3 「OK」ボタンをクリックします。

ネットワーク(LAN)に接続しようとしたら

ネットワークへの接続方法がわからない

LAN内蔵モデルをご使用の方は、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「LAN(ローカルエリアネットワーク)」をご覧ください。リンクケーブルを接続してください。また、必要なネットワークソフトウェアを正しくセットアップしてください。

ネットワークに接続できない

☹️➡️😊 接続は正しくできていますか？

ネットワーク管理者に相談して、パソコンとHUB(ハブ)がリンクケーブルで正しく接続されているかを確かめてください。

☹️➡️😊 設定が間違っていないですか？

プロトコルやドメインワークグループ等の設定が間違っているか、またはコンピュータアカウントがプライマリドメインコントローラ上にありません。詳しくはネットワーク管理者に相談してください。

ネットワークコンピュータに「ネットワーク全体」のアイコンしか表示されない

ネットワークコンピュータに表示されるまでには、時間がかかることがあります。しばらく待ってから、「表示」メニューの「最新の情報に更新」をクリックしてください。

それでも表示されない場合は、ネットワークが正常に接続されていないか、ネットワークソフトウェアの設定が正しくありません。接続の方法やネットワークソフトウェアを確認してください。

ネットワークコンピュータに自分のコンピュータしか表示されない

ネットワークコンピュータに表示されるまでには、時間がかかることがあります。しばらく待ってから、「表示」メニューの「最新の情報に更新」をクリックしてください。

それでも表示されない場合は、接続しようとしているドメインまたはワークグループが一致しているか確認してください。設定されているドメインまたはワークグループは、「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンで調べることができます。

共有ドライブやフォルダが使えない

☹️➡️😊 「Microsoftネットワーク共有サービス」は組み込まれていますか？

「コントロールパネル」を開き、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックして表示される「ネットワーク」ウィンドウの「ネットワークの設定」タブをクリックして確認してください。

「Microsoftネットワーク共有サービス」が組み込まれていない場合は、共有ファイルやフォルダを使うことはできません。このサービスは、「ネットワークの設定」タブの「ファイルとプリンタの共有」ボタンをクリックして設定すると使えるようになります。

☹️➡️😊 お客様のコンピュータが共有を行う設定になっていますか？

共有するドライブ、フォルダを設定してください。ネットワークに接続された他のコンピュータからお客様のコンピュータを利用するには、「共有する」の設定が必要です。

利用したいドライブ、フォルダを右クリックし、表示されたメニューの中から「共有」をクリックしてください。共有設定が行われるとドライブやフォルダのアイコンが変わります。

☹️➡️😊 共有するドライブやフォルダにアクセス権が設定されていますか？

共有するドライブやフォルダには、その所有者がアクセス権を設定できるようになっています。アクセス権が設定されている場合、全く利用できないか、読み取りのみ可能な設定、読み取りも書き込みも可能な設定と、いくつかのパターンが設定されます。



お客様が共有を設定した当初は「読み取り専用」の設定になっています。他のユーザから読み取りはできますが、書き込みはできません。

赤外線通信しようとしたら

赤外線通信できない

- ☹️➡️😊 本機の通信ポートと通信相手の通信ポートの配置は正しいですか？
お互いの通信ポートが正面に向き合うようにして、20～80cmの距離のところに置いてください。
- ☹️➡️😊 デバイスの設定は正しいですか？
『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」をご覧ください、正しい設定を行ってください。
- ☹️➡️😊 デバイスマネージャの画面で赤外線通信のところに赤い「×」マークや黄色い「！」マークが付いていませんか？
「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックして表示される「システムのプロパティ」ウィンドウの「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
赤外線通信のところに赤い「×」マークや黄色い「！」マークが付いているときは、周辺機器が何らかの理由で正常に動作していないことが考えられます。
Windowsのヘルプまたは『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」に従ってマークが付かないようにしてください。
- ☹️➡️😊 BIOSの設定は正しいですか？
VA50J/WX、VA50J/WT、VA45J/WS、VA46H、VA43Hのワイヤレスモデルの場合、BIOSセットアップメニューの「赤外線ポート」を「自動」に設定し、「IR/PIAFS切り替え」を「IR」に設定していないと、赤外線通信機能は使用できません。

Intellisyncで赤外線デバイスを有効にしようとしたとき、「試みた接続は不正なオペレーションです。Intellisyncは正しくインストールされていません。続けるには「OK」をクリックして下さい。」と表示された

☹️➡️😊 デバイスを正しく設定していますか？

BIOSセットアップメニューで赤外線ポートを「使用しない」に設定している場合は、このようなメッセージが表示されます。

『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」をご覧ください、赤外線通信機能を利用するための準備を行ってください。



光デジタル出力機能を使っていたら

(VA65J、VA50J/AF、VA45J/AX)

デジタル出力からの音が鳴らない

☹️ ➡️ 😊 オーディオ機器と正しく接続されていますか？

本機の光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力端子と、デジタルオーディオ機器の光デジタル入力端子が、市販のデジタルケーブルで正しく接続されているか確認してください。

☹️ ➡️ 😊 オーディオ機器のサンプリングレートが、本機のサンプリングレートに対応していますか？

本機の光デジタル出力のサンプリングレートは48KHzです。接続先のオーディオ機器が48KHzのサンプリングレート入力に対応しているか確認してください。

印刷しようとしたら

プリンタから印刷できない、プリンタから意味不明の文字が印字される

- ☹️➡️😊 プリンタの電源は、入っていますか？
プリンタのマニュアルを見て電源を入れてください。
- ☹️➡️😊 接続ケーブルが外れていたり、接触不良を起こしていませんか？
『活用ガイド ハードウェア編』PART2の「プリンタ」とプリンタのマニュアルに従って、本機とプリンタを接続し直してください。
- ☹️➡️😊 プリンタが用紙切れ、トナー、インク切れになっていませんか？
プリンタのマニュアルに従って用紙やトナー、インクを補充してください。
- ☹️➡️😊 プリンタが印刷可能な状態(オンライン)になっていますか？
プリンタの「印刷可」や「オンライン」の表示を確認してください。
- ☹️➡️😊 プリンタの製造元が推奨するプリンタケーブルを使っていますか？
プリンタによっては、プリンタ製造元の指定したケーブルを使わないと印刷がうまくいかないものがあります。プリンタのマニュアルをご覧ください。ケーブルを確認してください。
- ☹️➡️😊 プリンタのテスト印刷はできますか？
プリンタには一般にテスト印刷の機能があります。この機能を使ってプリンタの印字テストを行ってください。テスト印刷ができないときは、プリンタの故障が考えられます。プリンタの製造元にご相談ください。
- ☹️➡️😊 プリンタ専用のプリンタドライバがインストールされていますか？
新しくプリンタを接続したときは、プリンタドライバのインストールが必要です。

参照 ▶ プリンタドライバのセットアップ → プリンタのマニュアル

☹️➡️😊 使用したいプリンタが『通常使うプリンタ』になっていますか？

使用したいプリンタが『通常使うプリンタ』になっていないと、プリンタから印刷されなかったり予期しない内容が印字されることがあります。

このようなときは、次の手順に従ってプリンタの設定を行ってください。

1 「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」をクリックします。

「プリンタ」ウィンドウが表示されます。

2 使用したいプリンタのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「通常使うプリンタに設定」をクリックします。

3 「プリンタ」ウィンドウを閉じます。

これで設定が終了しました。

☹️➡️😊 プリンタドライバの設定を確認してください。

プリンタドライバの設定によっては、正しく印刷されないことがあります。

参照 ▶ プリンタドライバの設定 → プリンタのマニュアル

☹️➡️😊 デバイスの設定を確認してください

BIOSセットアップメニューで、パラレルポートを使用しない設定にしている場合は、設定を解除してください。

また、セキュリティの設定をしている場合は、設定を解除してください。

参照 ▶ デバイスの設定 → 『活用ガイド ハードウェア編』PART3の「BIOSセットアップメニュー」

印刷しようとしたら「FAX送信」、「Microsoft Exchange」、「新しいメッセージの作成」などのウィンドウが表示された



使用したいプリンタが「通常使うプリンタ」になっていますか？

使用したいプリンタが「通常使うプリンタ」になっていないと、上記のようなウィンドウが表示されることがあります。

このようなときは、次の手順に従ってプリンタの設定を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」をクリックします。
「プリンタ」ウィンドウが表示されます。
- 2 使用したいプリンタのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「通常使うプリンタに設定」をクリックします。
- 3 「プリンタ」ウィンドウを閉じます。
これで設定が終了しました。

フロッピーディスクやスーパーディスクを使っていたら

「マイコンピュータ」の3.5インチFDをクリックしたが、ディスクの内容が表示されない

☹️➡️😊 フロッピーディスクドライブは正しく接続されていますか？

フロッピーディスクドライブをケーブルで接続している機種では、ケーブルが正しく接続されているかどうか確認してください。

「デバイスの準備ができていません」と表示されたとき

ディスクをいったん取り出し、ラベルの貼られた方を手前、上向きにし、ディスクドライブの奥まで入れて、「再試行」をクリックしてください。

同じメッセージが表示されたときは、「キャンセル」をクリックし、ディスクを取り出し、別売のクリーニングディスクを使ってディスクドライブのヘッドをクリーニングしてください。

クリーニング後、再び同じ現象が起きるときは、他のディスクを入れてみてください。

このとき、他のフロッピーディスクをセットすると内容が表示されるときは、元のディスクの内容が壊れていると考えられます。復旧は困難です。

✔️ **チェック!!** 他のディスクをセットしても内容が表示されないときは、ディスクドライブの故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

メモ

ディスクドライブのヘッドが汚れると、ディスクを読むことができなくなります。ひと月に一回を目安にクリーニングディスクを使ってクリーニングしてください。

クリーニングディスクについては、ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

また、ディスクが壊れた場合に備えて、重要なデータは必ずバックアップ(コピー)をとっておくようにしましょう。

しばらくたって、「ディスクはフォーマットされていません」と表示されたとき

セットされたディスクは、このパソコンでは読めないフォーマットのディスクか、フォーマットされていないことが考えられます。
ディスクに必要なファイルが入っていないければ、「はい」ボタンをクリックしてフォーマットしてから使ってください。

読み込みはできるが、書き込みができない



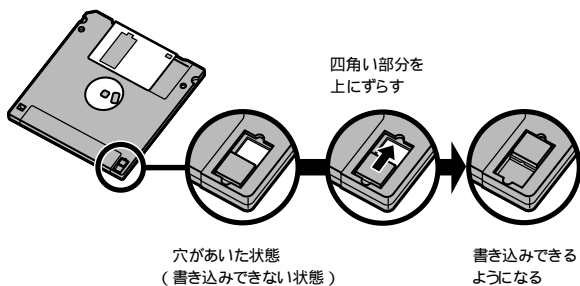
ディスクがライトプロテクトされていませんか？

ディスクがライトプロテクトされていないかどうか確認してください。ライトプロテクトされているときは、ライトプロテクトを解除してください。



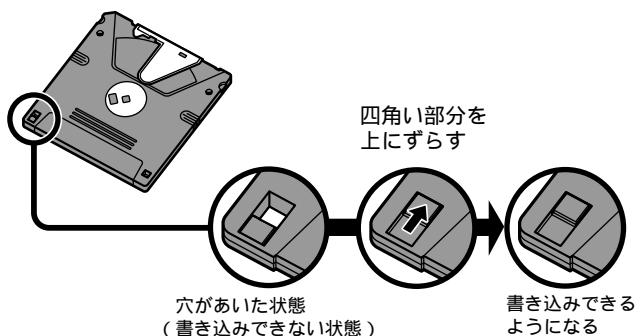
フロッピーディスクやスーパーディスクには、記録されている内容を間違えて消したり、変更してしまわないように、書き込みを保護する機能（ライトプロテクト機能）があります。ファイルを保存するときは、ライトプロテクトノッチを書き込みできるほうにずらしてください。

フロッピーディスクの場合



システムディスクなど大切なディスクは、本当に書き込みをしていいか、もう一度確認しましょう。

スーパーディスクの場合



2DDのフロッピーディスクに書き込みができない

2DDのフロッピーディスクを720Kバイトでフォーマットした場合、いったんフロッピーディスクを取り出し、もう一度入れ直してから使用してください。フォーマット後にフロッピーディスクを入れ直さずにファイルを書き込もうとすると、フォーマットが正常に終了していても、エラーが発生する場合があります。なお、クイックフォーマットされたフロッピーディスクの場合は、この手順は必要ありません。

✓チェック!! 必要なディスクをフォーマットしてしまわないように、十分に注意してください。大切なデータが入っているディスクには、ライトプロテクトをかけておいてください。また、こまめにバックアップを取ることをおすすめします。

ディスクコピーやフォーマットができない

☹️➡️😊 セットしたディスクの容量を確認してください

Windows 95では、1.2Mバイトや120Mバイトでフォーマットされたディスクをディスクコピーしたり、フロッピーディスクを1.2Mバイトの容量でフォーマットしたりすることはできません。

次の手順でセットしたフロッピーディスクの容量を確認してください。

1 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。

「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。

2 「マイコンピュータ」ウィンドウの「3.5インチフロッピーディスク」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「全般」タブでフロッピーディスクの容量を確認します。

なお、スーパーディスクドライブで、すでに1.2Mバイトでフォーマット済みのフロッピーディスクを1.44Mバイトにフォーマットし直そうとすると、エラーメッセージが表示されることがあります。

その場合は、「スタート」ボタン→「プログラム」から「MS-DOSプロンプト」を起動して、次のように入力してください。

```
FORMAT A: /F:1.44【Enter】
```

スーパーディスクドライブからディスクを取り出せない

☹️➡️😊 パソコンの電源が入っているか確認してください

パソコンの電源を入れてから、イジェクトボタンを押してください。電源が切れている状態では、出し入れができません。

電源が入っているのにスーパーディスクを取り出せないときは、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「フロッピーディスクドライブ」をご覧ください。スーパーディスクを取り出してください。

ハードディスクを使っていたら

ハードディスクの空き領域が足りない

ハードディスクの空き領域を増やすには、次の方法があります。

- ハードディスクを増設する
- 「ごみ箱」を空にする

削除したファイルは、ハードディスクからすぐに削除されずに、デスクトップの「ごみ箱」に入っています。ごみ箱を空にすると、ごみ箱に入っていたファイルの分だけ、ハードディスクが空きます。ごみ箱を空にするときは、「ごみ箱」アイコンを右クリックして、メニューの「ごみ箱を空にする」をクリックします。

- 「ごみ箱」の最大サイズを小さくする

ごみ箱の設定は、「ごみ箱」アイコンを右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックして、表示される「ごみ箱のプロパティ」ウィンドウで行います。



チェック!! ごみ箱の最大サイズを0%にすると、削除したファイルはごみ箱に保管されずに消えてしまいます。

- TEMPフォルダの中身を削除する

アプリケーションによっては、実行中に一時作業用ファイル(テンポラリファイル)を作成します。このファイルは、通常は、終了時に消去されますが、アプリケーションを強制終了すると、削除されません。一時作業用ファイルは、通常、Windowsフォルダの中のTEMPフォルダに作られます。

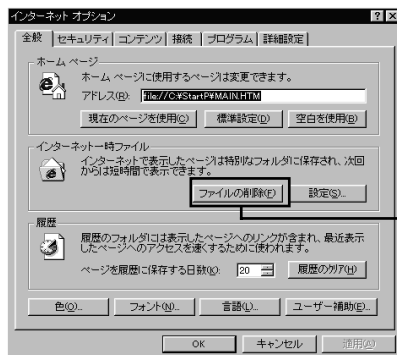


アプリケーションを実行中は、一時作業用ファイルは削除しないでください。アプリケーションが動かなくなることがあります。

● インターネットエクスプローラのテンポラリファイルを削除する

インターネットエクスプローラで、既に表示したページを後で参照する必要がないときは、次の方法でハードディスクの空き領域を増やすことができます。

- 1 「インターネットエクスプローラ」を起動します。
- 2 「表示」メニュー→「インターネットオプション」を選びます。
- 3 「全般」タブの「ファイルの削除」ボタンをクリックします。



ここをクリックします。

4 「OK」ボタンをクリックし、もう一度「OK」ボタンをクリックします。

● 「ドライブスペース」でハードディスクの内容を圧縮する

ドライブスペースを使ってハードディスクの内容を圧縮すると、空き領域を増やすことができます。

参照 ドライブスペース→『Microsoft® Windows® 95 ファーストステップガイド』

● インストールされているアプリケーションを削除する

すぐに使わないアプリケーションをハードディスクから削除すると、ハードディスクの空き領域を増やすことができます。

参照 ・添付アプリケーションの削除→「PART2 添付アプリケーションの追加と削除」

・別売のアプリケーションの削除→アプリケーションに添付のマニュアル

ファイルをゴミ箱に捨てても、ハードディスクの空き領域が増えない

削除した「ゴミ箱」にドラッグしたファイルは、ハードディスクからすぐに削除されずに、「ゴミ箱」に保管されます。「ゴミ箱」に保管されているファイルをハードディスクから削除したいときは、「ゴミ箱」アイコンを右クリックして表示されるメニューから「ゴミ箱を空にする」をクリックしてください。

領域作成できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない

カタログなどに記載されているハードディスクの容量は、1 M バイト=1,000,000バイトで計算しています。これに対し、ハードディスクを領域作成するときには、1Mバイト=1,024×1,024=1,048,576バイトで計算しているので、容量が少なく表示されることがありますが、故障ではありません。

Gバイト(ギガバイト)についても、同様の記述となっています。

スキャンディスクを実行するとリトライ(再試行)をくりかえし、エラーメッセージが表示されて終了してしまう

プリンタ監視ソフトなどの常駐ソフトが起動していると、常駐ソフトが頻繁にファイルにアクセスするので、このような現象が起きます。スキャンディスクを実行する前に、これらの常駐ソフトを終了するか、削除してください。

スキャンディスクで完全チェックを行うと、メッセージが表示されてスキャンディスクが中断される

Windows 95がインストールされているドライブに対し、スキャンディスクで完全チェックを行うと、「Windowsまたはほかのアプリケーションがこのドライブに書き込みを行っているため、再試行回数が10回に達しました。実行中ほかのアプリケーションを終了するとチェックが早く行われます。今後もこの警告メッセージを表示しますか?」と表示され、スキャンディスクが中断される場合があります。このメッセージが表示されたときには、実行中のほかのアプリケーションを終了して、「はい」ボタンをクリックしてください。引き続きスキャンディスクが実行されます。

2つ以上の領域にわかれている内蔵ハードディスクを1つの領域にしたい

☹️➡️😊 FAT32ファイルシステムを適用してハードディスクの領域を作成してください

2Gバイト以上のハードディスクを1つの領域にするには、FAT32ファイルシステムを適用してハードディスクの領域作成を行う必要があります。FAT32ファイルシステムについては『活用ガイド ハードウェア編』PART4の「FAT32システムの利用」をご覧ください。

ハードディスクを2Gバイト程度しか領域確保できない

☹️➡️😊 FAT32ファイルシステムを適用してハードディスクの領域を作成してください

FAT32ファイルシステムを適用すると、一つの領域に2Gバイト以上の領域確保ができます。

参照 ➡️ FAT32ファイルシステム → 『活用ガイド ハードウェア編』PART4の「FAT32システムの利用」

CD-ROM/CD-R/CD-RWを使っていたら

トレイを出し入れできない

☹️➡️😊 パソコンの電源は、入っていますか？

パソコンの電源を入れて、イジェクトボタンを押してください。電源が切れている状態では、出し入れできません。

電源が入っているのにディスクトレイが出てこないときは、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「CD-ROMドライブ」または「CD-ROMドライブ / CD-RWドライブ」をご覧ください、ディスクを強制的に取り出してください。

ディスクをセットしても自動起動しない

☹️➡️😊 ディスクは、自動起動に対応していますか？

自動起動に対応していないディスクは自動起動できません。CD-ROMのマニュアルで確認してください。

対応していないときは、Windows 95のデスクトップ画面の「マイコンピュータ」から「CD-ROMドライブ / CD-RWドライブ」アイコンをダブルクリックして起動してください。

☹️➡️😊 自動起動が設定されていますか？

次の手順で確認します。

1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックします。

「システムのプロパティ」ウインドウが表示されます。

2 「デバイスマネージャ」タブをクリックして「CD-ROM」の前の $\oplus$ をクリックし、表示されたドライブ名をダブルクリックします。

3 「設定」タブをクリックします。

- 4 「自動挿入」のチェックボックスがチェックされていない場合は、☒ (オン) にします。



ここが☒ (オン) になっていないと自動起動ができません。



自動起動の設定を解除する場合は、「自動挿入」のチェックボックスを☐ (オフ) にします。

- 5 「OK」ボタンをクリックします。

再起動を促すメッセージが表示されます。

- 6 「はい」ボタンをクリックして本機を再起動します。

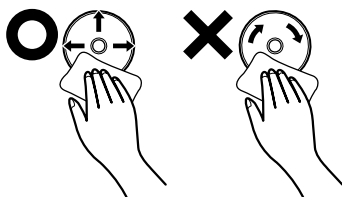
データを読み出せない、音楽CDの再生中に音飛びする

- ☹️ ➡️ 😊 ディスクは正しくセットされていますか？

ディスクの表裏を確認して、本体のCD-ROMドライブのディスクトレイの中心の軸にきちんとセットしてください。

- ☹️ ➡️ 😊 ディスクが汚れていませんか？

ディスクが汚れているときは、乾いた柔らかい布で内側から外側に向かって拭いてから使ってください。



☹️➡️😊 ディスクに傷が付いていませんか？

傷がついているディスクは使えないことがあります。



添付されているCD-ROMに傷がついて使えなくなったときなどは、有料で交換いたします。

☹️➡️😊 このパソコンに何らかの振動を与えませんでしたか？

振動を与えないようにして、操作をやり直してください。

☹️➡️😊 このパソコンで使えるディスクかどうか確認してください

このパソコンで使えるディスクを使ってください。

アプリケーションなどのCD-ROMは、一般にOSごとに専用のものが用意されています。例えば、Windows 95を使うときは、Windows 95に対応したCD-ROMを使ってください。

☹️➡️😊 音楽CDを再生中にフロッピーディスクを出し入れしませんでしたか？

音楽CDを再生中にフロッピーディスクを出し入れすると、音飛びの原因となります。

音楽CDの再生中はフロッピーディスクを出し入れしないでください。

再生中の動画がとぎれる、なめらかに再生されない

☹️➡️😊 動画データ再生中に、他のアプリケーションを実行していませんか？

他のアプリケーションを終了させてください。

動画データのCD-ROMの再生には、パソコンの処理能力が多く必要になります。このため、複数のアプリケーションを同時に使うと動画データの処理が追いつかなくなり、画像がとぎれたり、なめらかに再生されなくなったりします。

☹️➡️😊 再生中に、ウィンドウの大きさや位置を変えませんでしたか？

動画データの再生中にウィンドウの大きさや位置を変えると、音飛びや画像の乱れの原因になります。いったん動画の再生を停止してから操作してください。



アプリケーションによっては本機のメモリを増設すると、よりなめらかになるものもあります。

動画の再生中に画面が消えてしまう

ビデオCDなど、MPEG形式の動画を再生中に省電力機能などが働くと、再生画面が消えてしまいます。動画を再生するときは、省電力機能やパワーマネージメント機能をオフにしてください。

音楽CD再生中に音楽が止まってしまう

音楽CD再生中に省電力機能などが働くと、音楽が止まってしまいます。音楽CDを再生するときは、省電力機能やパワーマネージメント機能をオフに設定してください。

CD-ROMドライブ / CD-RWドライブのドライブ番号を変えたい

本機に標準で装備されているCD-ROMドライブ / CD-RWドライブのドライブ番号は、Qドライブに設定されていますが、次のようなときにはドライブ番号が変更されます。

- ・添付または別売のCD-ROMドライブ / CD-RWドライブを増設したとき
- ・CD-ROMドライブ / CD-RWドライブの設定を変更したときなど

メモ

特に指定しなければ、CD-ROMドライブ / CD-RWドライブのドライブ番号は、最後のハードディスクドライブの次の番号が割り当てられます。

例：最後のハードディスクがDドライブのとき、CD-ROMドライブ / CD-RWドライブはEドライブ

ドライブ番号を変更する場合は、次のように操作してください。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックします。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「CD-ROMドライブ」の前の  をクリックし、表示されたドライブ名をダブルクリックします。
- 3 「設定」タブをクリックします。

- 4 「予約ドライブ文字」の「開始ドライブ」をクリックして表示された一覧の中から選びます。



終了ドライブも自動的に変更されます。

- 5 「OK」ボタンをクリックして、次に表示された画面でも「OK」ボタンをクリックします。
- 6 Windows 95の再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックして再起動します。

MS-DOSモードでCD-ROMドライブ / CD-RWドライブを使いたい

出荷時の状態では、MS-DOSモードでCD-ROMドライブ / CD-RWドライブを使うことはできません。

MS-DOSモードでCD-ROMドライブ / CD-RWドライブを使うためには、設定が必要です。PART6の「Windows 95でMS-DOSモードを使う」(p.268)をご覧ください。

CD-ROMの読みとりエラーメッセージが表示されたら

CD-ROMを使用するプログラムを実行中に、ディスクを取り出すと、エラーメッセージが表示されます。取り出したディスクをセットし直して、【Enter】を押してください。なお、このメッセージで表示されるシリアル番号は無視してください。

CD-R/CD-RWに書き込み中にエラーになった

☹️➡️😊 書き込み中にスクリーンセーバーが起動したり、本機がスタンバイ状態になったりしませんでしたか？

Easy CD Creatorなどのトラックアットワンス方式やディスクアットワンス方式のCD-R書き込みソフトを使って、CD-R/CD-RWにデータの書き込みを行う場合、他のアプリケーションが起動していると書き込みエラーになることがあります。

CD-R/CD-RWに書き込みを行う場合には、以下の操作をおすすめします。

- ・ スクリーンセーバーを起動させないようにする
- ・ サスペンド状態に移行させないようにする
- ・ 他のアプリケーションを終了する
- ・ 常駐プログラムをオフにする

☹️➡️😊 ACアダプタを接続していますか？

CD-R/CD-RWにデータを書き込んでいるときには、バッテリーの残量がなくなるとデータの書き込みに失敗します。CD-R/CD-RWにデータを書き込むときには、かならずパソコンにACアダプタを接続してお使いください。

周辺機器を取り付けようとしたら

別売の周辺機器を取り付けたが動作しない。別売の周辺機器を取り付けたらパソコンが起動しなくなった。他の機能が使えなくなった

☹️ ➡️ 😊 正しく接続されていますか？

コネクタやネジがゆるんでいないか確認してください。

☹️ ➡️ 😊 割り込みレベルなどの設定は正しいですか？

周辺機器には、取り付けるときに、割り込みレベル、DMAチャネルなどの設定が必要なものがあります。

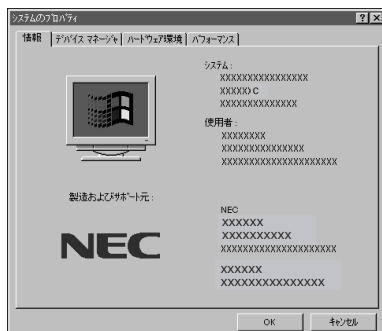
周辺機器が使う割り込みレベルがすでに使われていると、パソコンが起動しなくなったり、動作が不安定になったりします。割り込みレベルが重ならないように、どちらかの設定を変更してください。

周辺機器の割り込みやドライバなどの設定は、「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックして表示される「システムのプロパティ」ウィンドウの「デバイスマネージャ」タブで確認します。

☒ ☒ デバイスマネージャの表示方法

1 「コントロールパネル」を開いて「システム」アイコンをダブルクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



2 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

デバイスマネージャの画面が表示されます。



参照 割り込みレベル、DMAチャネル → 『活用ガイド ハードウェア編』PART4の「割り込みレベルとDMAチャネル」

取り付けた周辺機器のところに赤い「×」マークや黄色い「！」マークが付いているときは、その周辺機器が何らかの理由で正常に動作していないことが考えられます。

☹️ → 😊 周辺機器の設定は正しいですか？

周辺機器によっては、設定スイッチの変更やデバイスドライバなどのインストールが必要な場合があります。

参照 周辺機器のマニュアル

プラグアンドプレイ対応の周辺機器のドライバをインストールしたが、デバイスマネージャの画面に黄色い「！」マークが表示され、周辺機器が動作しない

☹️ → 😊 ドライバをインストールした後、本機を再起動しましたか？

PCカードなどのプラグアンドプレイに対応した周辺機器のドライバをインストールした場合は、本機を再起動した後、周辺機器が使えるようになります。ドライバをインストールした後、本機を再起動してください。

アプリケーションを使っていたら

パソコンの動作が遅い。パソコンが動かない



リソースが不足していませんか？

アプリケーションを使うには、リソースが必要です。

複数のアプリケーションを同時に起動すると、リソースが少なくなりアプリケーションの動きが遅くなったり、パソコンが動かなくなってしまうことがあります。起動中のアプリケーションや常駐プログラムを終了してください。



リソースの空き容量は、「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」→「システムのプロパティ」→「パフォーマンス」タブの「システムリソース」に表示されています。

起動中のアプリケーションを終了する

「リソースが足りません」というようなメッセージが表示されて、終了したいアプリケーションが選択できないときは、次の手順でアプリケーションを終了してください。

1 【Alt】を押しながら【Tab】を押します。

ウィンドウが表示されます。

2 【Alt】を押したまま【Tab】を押してアプリケーションを選択し、【Alt】を離します。

3 タスクバーに表示されているアプリケーション名を右クリックします。メニューが表示されます。

4 「閉じる」をクリックします。

これでアプリケーションを終了することができます。

作成中のデータなどがある場合は、保存の確認をするメッセージが表示されますので、メッセージにしたがって操作してください。

常駐プログラムを終了する

画面右下のインジケータ領域(タスクトレイ)にある使っていない常駐アプリケーションのアイコンを右クリックし、アプリケーションを終了する項目(アプリケーションによって異なりますが、「終了」「終了する」などが一般的です)をクリックしてアプリケーションを終了してください。

アプリケーションを終了してもリソースが不足している場合

アプリケーションを終了してもリソースが不足している場合があります。この場合は、Windowsを再起動してください。

以上の操作をしても問題が解決しない場合、次の手順で常駐アプリケーションを非常駐にしてください。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「スタートアップ」をクリックし、非常駐にしたい常駐アプリケーションを右クリックします。
- 2 「削除」をクリックします。
メッセージが表示されます。
- 3 「はい」をクリックします。
- 4 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックします。
- 5 「再起動する」を選択し、「OK」をクリックします。
本機が自動的に再起動します。

これで常駐アプリケーションが非常駐になります。

☹️➡️😊 アプリケーションは省電力機能(サスペンド)に対応していますか?

対応していないアプリケーションを使用中にサスペンド状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。対応していないアプリケーションを使用中は、サスペンド状態にしないでください。

省電力機能を使って、電源を切ることができなくなったときには、約4秒以上電源スイッチを押し続けて、強制的に電源を切ってください。

☹️➡️😊 アプリケーションの削除をしませんでしたか?

アプリケーションの削除を中断したあとに、そのアプリケーションが動作しなくなった場合は、本機を再起動してください。

それでも動作しない場合は、アプリケーションの再追加が必要です。

アプリケーションが起動しない

- ☹️➡️😊 アプリケーションを起動するのに必要なだけメモリは空いていますか？
すでに複数の他のアプリケーションが起動しているときは、それらを終了してから、起動してください。それでも起動しないときは、パソコンを再起動してください。

メモ

複数のアプリケーションが起動していると、メモリが不足して、新たにアプリケーションを起動できなくなることがあります。

- 参照** ➡️ アプリケーションの起動に必要なメモリ容量を調べるには➡️アプリケーションのマニュアル

- ☹️➡️😊 アプリケーションは省電力機能(サスペンド)に対応していますか？
対応していないアプリケーションを使用中にサスペンド状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。対応していないアプリケーションを使用中は、サスペンド状態にしないでください。

省電力機能を使って、電源を切ることができなくなったときには、約4秒以上電源スイッチを押し続けて、強制的に電源を切ってください。

- ☹️➡️😊 アプリケーションの削除をしませんでしたか？
アプリケーションの削除を中断したあとに、そのアプリケーションが動作しなくなった場合は、本機を再起動してください。
それでも動作しない場合は、アプリケーションの再追加が必要です。

フルカラーにするようにというメッセージが表示された

アプリケーションの中には、画面の表示色をフルカラーにしないと正常に動作しないものがあります。画面の表示色を変更してください。

- 参照** ➡️ 画面の表示色を変更するには➡️『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「液晶ディスプレイ」

アプリケーションをインストールできない

☹️➡️😊 アプリケーションはこのパソコンに対応していますか？

アプリケーションによっては、このパソコンでは動作しないものや、別売の周辺機器が必要な場合があります。アプリケーションのマニュアルで「動作環境」や「必要なシステム」を確認してください。

☹️➡️😊 アプリケーションのインストール先がAドライブになっていませんか？

インストール先をハードディスクのドライブ名(購入時の状態では、Cドライブ)に変えて、インストールし直してください。

☹️➡️😊 アクティブデスクトップをWebページで表示していませんか？

アクティブデスクトップをWebページで表示するように設定している場合、アプリケーションを正しくインストールできないことがあります。次の手順でアクティブデスクトップの設定を変更してください。

1 デスクトップ上の何もないところで、右クリックします。

2 表示されるメニューから「アクティブデスクトップ」→「Webページで表示」をクリックします。

「Webページで表示」の左側にチェックが付いていないことを確認してください。

☹️➡️😊 「インストール先のハードディスクがメモリ不足のためインストールできません」というようなメッセージが表示されませんでしたか？

アプリケーションを新しくインストールするときに、ハードディスクに一定の空き領域が必要な場合があります。アプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。ハードディスクに必要な空き領域を確認してください。ハードディスクの空き領域が足りないときは、空き領域のある他のドライブにインストールしてください。

参照 ハードディスクの空き領域を増やすには→「ハードディスクの空き領域が足りない」(p.236)

メモ

どうしてもハードディスクの空き領域を増やすことができないときは、セットアップ時にセットアップの方法を「最小」や「カスタム」にすることで、必要最低限の機能だけをインストールできるアプリケーションもあります。



Windows 95に対応していないMS-DOS用、または、Windows 3.1用のアプリケーションをインストールしようとしていませんか？

MS-DOS用、Windows 3.1用のアプリケーションの中にはインストールできないものがあります。各アプリケーションの製造元にご確認ください。



MS-IME 2000またはMS-IME 97使用時にWindows 3.1用のアプリケーションを実行しようとしませんでしたか？

MS-IME 2000またはMS-IME 97を標準でご使用の状態でWindows 3.1用のアプリケーションを実行すると、まれに(主にセットアップ時に)プログラムが停止することがあります。このような場合は次のように設定してください。



チェック!!

・通常は、次の操作は必要ありません。そのままWindows 3.1対応アプリケーションをお使いください。

・次の操作は1つのアプリケーションに対して1度だけ行えば、以後毎回有効です。ただし、アプリケーションが異なった場合は、そのアプリケーションのために、もう一度、次の方法を行う必要があります。



次の操作を行うとWIN.INIファイルが変更されます。まず、Windows 95のフォルダ(購入時の状態では、CDドライブ)にあるWIN.INIファイルのコピー(バックアップ)を取っておくことをおすすめします。

1 まず、クイックビューアをセットアップします。すでにクイックビューアのセットアップを行っている場合は、手順6へ進んでください。

2 「コントロールパネル」を開いて「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

3 「Windowsファイル」タブで「ファイルの種類」の「アクセサリ」をクリックして「詳細」ボタンをクリックします。

4 「クイックビューア」の左についているチェックボックスをクリックして

☒ (オン)にし、「OK」ボタンをクリックします。

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 5 「OK」ボタンをクリックします。
クイックビューアのセットアップが行われ、Windows 95のデスクトップの画面が表示されます。
- 6 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
- 7 症状の起きたWindows 3.1対応アプリケーションのアイコンを右クリックし、メニューの「クイックビューア」をクリックします。
選択したアプリケーションの情報(Technical File Information)を表示するウインドウが開きます。
- 8 「Module Name:」の右側に表示されている文字をメモします。
ここでは仮に「ABC」とします。
- 9 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行...」をクリックします。
- 10 「名前」欄に「WIN.INI」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。
「メモ帳」が起動して、WIN.INIが表示されます。
- 11 「検索」メニューから「検索」をクリックします。
「検索」ダイアログが開きます。
- 12 「検索する文字列」欄に「Compatibility」と入力し、「次を検索」ボタンをクリックします。
本文内の「Compatibility」が選ばれます。
- 13 「検索」ダイアログ内の「キャンセル」ボタンをクリックします。
- 14 キーボードの【Fn】を押しながら【Home】を押します。
「Compatibility」の後ろにカーソルが移動します。
- 15 キーボードの【Enter】を押します。
新しい行が作成されます。
- 16 手順8でメモした文字(ここではABC)を入力します。
- 17 手順16で入力した文字に続けて「=0x00400000」を入力します。
手順15で作成された行に次の内容が表示されます。
ABC=0x00400000

- 18** 「メモ帳」→「ファイル」メニュー→「上書き保存」をクリックします。
- 19** 「メモ帳」→「ファイル」メニュー→「メモ帳の終了」をクリックします。
メモ帳が終了します。
- 20** 「クイックビューア」の「ファイル」メニューから「クイックビューアの終了」をクリックします。
クイックビューアが終了します。
- これでWindows 3.1対応アプリケーションが使用できます。



Windows 3.1対応アプリケーションのアイコンを右クリックした時表示されるメニューに、クイックビューアが存在しない場合には、クイックビューアがセットアップされていません。
クイックビューアのセットアップを先に行ってください。

「CDプレーヤ」で音量の変更ができない

「CDプレーヤ」などで音楽CDを再生中に、「コントロールパネル」の「マルチメディア」で表示される画面の、「音楽CD」タブのヘッドホンの音量設定を変更した場合、その変更が有効になるのは、次回「CDプレーヤ」などを起動したときからです。

「CDプレーヤ」を一度終了し、再起動してください。

「ペイント」の「パレットの交換」機能が使えない

「ペイント」を使用時、画面の表示色の設定が256色モードになっている場合、または「ペイント」で256色ビットマップデータが読み込まれている場合には、「ペイント」の「パレットの交換」機能は利用することができません。

画面の解像度や表示色High Color(16bit)モード以上にしてください。

再セットアップするときに、インストールするアプリケーションを選びたい

アプリケーションを選んで再セットアップすることはできません。再セットアップすると、購入したときにインストールされていたすべてのアプリケーションがインストールされます。インストールしたくないアプリケーションがあるときは、再セットアップしたあとで、削除してください。

サスペンド / レジューム機能を使おうとしたら

レジュームしたが、サスペンドする前の状態の画面が表示されない

☹️ ➡️ 😊 バッテリーの残量はありますか？

バッテリーの残量がなくなると、サスペンドしたデータは消えてしまうことがあります。ACアダプタを接続していないときは、バッテリーの残量に気を付けてください。

参照 バッテリーの残量を確認するには →『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「バッテリー」

☹️ ➡️ 😊 「パワーマネージメント」の設定がオフになっていませんか？

次の手順でパワーマネージメントの設定を行ってください。

1 「コントロールパネル」を開き「パワーマネージメント」アイコンをダブルクリックします。

「電源のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「パワーマネージメント」タブをクリックし、「Windowsでコンピュータの電源管理をする」が☒ (オン) になっているか確認し、☐ (オフ) になっているときはクリックして ☒ (オン) にします。

3 「OK」ボタンをクリックします。

☹️ ➡️ 😊 アプリケーションや周辺機器はサスペンド / レジューム機能に対応していますか？

対応していないアプリケーションや周辺機器でこの機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。一度本機の電源を切って、もう一度電源を入れ直してください。また、このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、サスペンド / レジューム機能は使わないでください。

サスペンド / レジュームできない。または、省電力を設定しても自動スリープ機能が利用できない

☹️ → 😊 「コントロールパネル」の「パワーマネージメント」ウィンドウで「Windowsでコンピュータの電源管理をする」が☒ (オン) になっていますか？

次の操作を行って、設定を確認してください。

- 1 「コントロールパネル」を開き「パワーマネージメント」アイコンをダブルクリックします。
「電源のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「パワーマネージメント」タブの「Windowsでコンピュータの電源管理をする」が☐ (オフ) になっているときは、クリックして☒ (オン) にします。
- 3 「OK」ボタンをクリックします。
再起動するようにメッセージが表示されますので、再起動してください。

自動的にサスペンドしない

☹️ → 😊 一定間隔でパソコンにアクセスする周辺機器を接続していませんか？

双方向通信するプリンタなど、一定間隔でパソコンにアクセスする周辺機器を接続しているときは、自動的にサスペンドしません。

☹️ → 😊 電源管理の設定を確認してください

次の操作で電源管理ができるようになっているか確認します。

- 1 「コントロールパネル」を開き「パワーマネージメント」アイコンをダブルクリックします。
「電源のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「パワーマネージメント」タブの「Windowsでコンピュータの電源管理をする」が☐ (オフ) になっているときは、クリックして☒ (オン) にします。
- 3 「OK」ボタンをクリックします。
再起動するようにメッセージが表示されますので、再起動してください。

「スタート」メニューに「サスペンド」が表示されない

☹️➡️😊 「サスペンド」を表示しない設定になっていませんか？

- 1 「コントロールパネル」を開き「パワーマネージメント」アイコンをダブルクリックします。
「電源のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「パワーマネージメント」タブの「詳細」ボタンをクリックします。
「詳細のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「スタート」メニューの「サスペンドコマンドの表示」の ☐ (オフ) をクリックして ☒ (オン) にし、「OK」ボタンをクリックしてください。
「電源のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 4 「OK」ボタンをクリックします。
- 5 「スタート」ボタン → 「Windowsの終了」で「再起動する」をクリックして ☒ (オン) にし、「OK」ボタンをクリックします。
再起動後、設定が変更されます。

☹️➡️😊 電源管理の設定を確認してください

次の操作で電源管理ができるようになっているか確認します。

- 1 「コントロールパネル」を開き「パワーマネージメント」アイコンをダブルクリックします。
「電源のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「パワーマネージメント」タブの「Windowsでコンピュータの電源管理をする」が ☐ (オフ) になっているときは、クリックして ☒ (オン) にします。
- 3 「OK」ボタンをクリックします。
再起動するようにメッセージが表示されますので、再起動してください。

サスペンドしておいたデータをレジュームさせようとしたら、画面が乱れて電源が切れた

☹️➡️😊 パソコンがWindowsの終了処理を行っている間に次の操作を行いませんでしたか？

- ・ディスプレイのフタを閉めた
- ・スリープ状態にした
- ・電源を切った

Windowsの終了処理中にこれらの操作を行うと、復帰(レジューム)できなくなることがあります。このような場合は、電源スイッチで電源を入れてください。エラーメッセージが表示されたときは、メッセージに従ってください。

ハイバネーション機能を使おうとしたら

ハイバネーションの処理画面が表示されずサスペンドしてしまう



ハイバネーション機能は設定されていますか？

『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能(Windows 95の場合)」の「ハイバネーション」を見て設定してください。



再セットアップや、内蔵ハードディスクのフォーマットや、メモリの取り付け / 取り外しやCDドライブの圧縮 / 圧縮解除をしませんでしたか？

再セットアップや、内蔵ハードディスクのフォーマットや、メモリの取り付け / 取り外しやCDドライブの圧縮 / 圧縮解除をしたときは、ハイバネーション機能の再設定が必要です。



参照 ハイバネーション機能について →『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能(Windows 95の場合)」



Windowsでコンピュータの電源管理をする設定になっていますか？

1 「コントロールパネル」を開き「パワーマネージメント」アイコンをダブルクリックします。

「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「パワーマネージメント」タブで「Windowsでコンピュータの電源管理をする」が☒ (オン)になっているか確認し、☐ (オフ)になっているときはクリックして☒ (オン)にして、「OK」ボタンをクリックします。

Windows 95の起動時、「Invalid HIBERNATION XXXX / file...RUN HDPREPEZ...」または「Save to Disk partition not found...」と表示された



メモリの取り付け / 取り外しやCDドライブの圧縮 / 圧縮解除などをしませんでしたか？

メモリの取り付け / 取り外しやCDドライブの圧縮 / 圧縮解除などをしたときは、ハイバネーション機能をもう一度設定し直してください。

☹️➡️😊 ハイバネーション機能を使用しない設定にしませんでしたか？

ハイバネーション機能を使用しない設定にした場合、Windows 95起動時には必ずこのメッセージが表示されます。

☹️➡️😊 ハイバネーション状態のときに機器構成を変えませんでしたか？

ハイバネーションの設定をして電源を切ったときに、接続している周辺機器などの構成を変えると、ハイバネーション機能が正しく働かないことがあります。このようなときは、一度電源を切り、機器構成を元に戻してから、もう一度電源を入れてください。

ハイバネーションの設定をして電源を切ったのに、電源を入れたときに前の状態にならない

☹️➡️😊 Windowsでコンピュータの電源管理をする設定になっていますか？

1 「コントロールパネル」を開き「パワーマネージメント」アイコンをダブルクリックします。

「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「パワーマネージメント」タブで「Windowsでコンピュータの電源管理をする」が☒ (オン) になっているか確認し、☐ (オフ) になっているときはクリックして☒ (オン) にして、「OK」ボタンをクリックします。

ハイバネーション設定ユーティリティを使用してハイバネーション機能を使用するように設定すると、エラーメッセージが表示される

☹️➡️😊 ハードディスク内の空き領域が不足していませんか？

ハイバネーション設定ユーティリティでは、実装しているメモリ容量によって作成されるハイバネーション用のファイルの大きさが変わります。必要な連続した空き領域を確保してからハイバネーションの設定を行ってください。

その他

日付や時刻が正しく表示されない

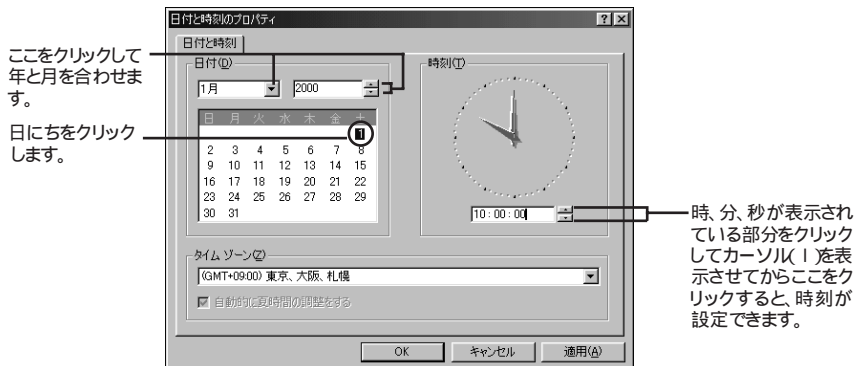
☹️ ➡️ 😊 内蔵のリチウム電池は十分に充電されていますか？

本機の内蔵時計はリチウム電池で動いています。内蔵のリチウム電池が十分に充電されていないと、日付や時刻が正しく表示されないことがあります。本機購入後すぐや、本機を2カ月以上使用しないでいた後などには、本機の電源を約40時間以上入れたままにしてリチウム電池を充電してから、次の手順に従って日付と時刻をもう一度設定し直してください。

1 「コントロールパネル」を開き「日付と時刻」アイコンをダブルクリックします。

「日付と時刻のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 正しい日付と時刻をそれぞれクリックして選びます。



3 「OK」ボタンをクリックします。

これで正しい日付と時刻が設定されました。

2000年問題について知りたい

NECでは、インターネットのホームページ「98Information」の「西暦2000年対応状況」や「98AP情報」で、2000年問題についての情報を提供しています。次のアドレスにアクセスしてください。

<http://www.nec.co.jp/98/>

なお、記載されている情報は更新されますので、定期的にアクセスして確認してください。

各アプリケーションが2000年問題に対応しているかどうかは、アプリケーションの製造元にお問い合わせください。

2000年問題

慣習的に西暦年号は下2桁で表現され、同様にコンピュータの世界でも下2桁の年号が多く使われてきました。西暦2000年を迎えたときに、アプリケーションによっては、年号が00になってしまい、日付をキーにした期間計算などの結果が不正となり、業務システム等に多大な影響を与えることが考えられます。これがコンピュータの西暦2000年問題です。

Windows 95起動ディスクを作成したい

Windows 95起動ディスクは、Windowsがハードディスクから正しく起動できなかったときに、フロッピーディスクドライブから起動するために使うものです。

Windows 95起動ディスクは、次の手順で作成します。

- 1 「コントロールパネル」を開き「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「起動ディスク」タブで画面の指示に従って起動ディスクを作成します。

Windows 95起動ディスクからパソコンを起動したい

- 1 パソコンの電源を入れます。
- 2 電源ランプがついたらすぐにフロッピーディスクドライブにWindows 95起動ディスクをセットします。
「キーボードのタイプを判定します」と表示されます。
- 3 【半角 / 全角】を押してください。
「106キーボードが選択されました」と表示されたあと、「A: ¥ > _」と表示されます。

これで、Windows 95起動ディスクからのパソコンの起動が完了しました。

もう一度ハードディスクから起動したいときは、ディスクドライブからWindows 95起動ディスクを取り出して、パソコンの電源を入れ直してください。

動作状況が不安定になった

-  →  LANに接続して通信中にサスペンドやハイバネーションしませんでしたか？
LANに接続して通信中にサスペンドやハイバネーションすると、本機が正常に動作しなくなることがあります。通信中にサスペンドやハイバネーションしないでください。

なお、本機ご購入時には自動スリープ機能が設定されていますので、LANに接続して通信するときには自動スリープ機能を使用しないように設定するか、またはAC電源時のパワーマネージメントを使用しないように設定し、AC電源で本機を使用してください。

参照 システムの設定を変更するには→『活用ガイド ハードウェア編』の「PART3 システムの設定」

コンピュータウイルスが検出された

VirusScanなどによってコンピュータウイルスに感染したファイルが検出されたら、すぐにウイルスを駆除し、最寄りのNECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。

ウイルスの駆除には、該当ファイルを削除して、アプリケーションのオリジナル媒体またはバックアップから再インストールすることが一番安全で確実な方法です。なお、感染したウイルスがブートセクタ型の場合、またはブートセクタがウイルスに感染した可能性がある段階ではこの方法は使えません。また、2次感染を防ぐため、ウイルスが発見された場合は、使用した媒体(フロッピーディスク、ハードディスクなど)をすべてウイルス検査する必要があります。

また、日本では、企業でも個人でもウイルスを発見した場合は、所定の機関に届けことが義務づけられています。ウイルスの届け出先として、情報処理振興事業協会という通産省の外郭団体(通称IPA)がウイルス技術調査室を設置しており、そこを届け出先として指定しています。これは、ウイルスの対策基準として平成7年7月に通産省から官報で告知されたもので(平成7年7月7日付通商産業省告示第429号)届け出をしなくても罰則の規定はありませんが、今後の対策や被害状況を正しく把握するためにも積極的に報告してください。届け出の内容は、今後の被害対策のための貴重な情報となります。

届け出先: 情報処理振興事業協会(通称IPA)

〒113-6591 東京都文京区本駒込2-28-8

文京グリーンコート センターオフィス16階

IPAセキュリティセンター ウィルス対策室

電話 03-5978-7509

FAX 03-5978-7518

ホームページアドレス <http://www.ipa.go.jp/>

追加情報(READMEファイル)を参照したい

「スタート」ボタン→「プログラム」→「追加情報」をご覧ください。

「ネットウォッチャー」や「ケーブル接続」の機能を利用できない

 →  ネットワークの設定はされていますか?

「ネットウォッチャー」や「ケーブル接続」の機能を利用するには、ネットワークの設定が必要です。

ご使用になるネットワーク環境にあわせて、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「ネットワーク」アイコンをダブルクリックし、「クライアント」、「アダプタ」、「プロトコル」の設定をしてください。

6

付録

ここでは、本機の機能に関連した補足情報を記載してあります。



Windows 95でMS-DOSモードを使う

Windows 95のMS-DOSモードを利用するときの注意事項を説明しています。

MS-DOSモードを利用する

本機は、MS-DOSプロンプトで動作しないMS-DOSアプリケーションを利用するために、MS-DOSモードで起動することができます。

✓チェック!! プログラムによっては、MS-DOSモードおよびMS-DOSプロンプトでは利用できないものがあります。特に、PC-9800シリーズ対応のアプリケーションの多くは、MS-DOSモードやMS-DOSプロンプトでは動作しません。ご使用のアプリケーションが利用できるかについては、アプリケーションの製造元にお問い合わせください。

本機をMS-DOSモードで再起動する

MS-DOSモードを利用するには、次のように操作します。

- 1 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする
- 2 「MS-DOSモードで再起動する」をクリックして、「OK」ボタンをクリックする
本機がMS-DOSモードで再起動します。

MS-DOSモードを終了する

- 1 コマンドプロンプトの画面から、次のように入力する
EXIT【Enter】

Windows 95が再起動します。

MS-DOSモードとMS-DOSプロンプトの違い

MS-DOSアプリケーションやMS-DOSコマンドを利用するには、「MS-DOSモード」と「MS-DOSプロンプト」とがあります。「MS-DOSモード」は、MS-DOSで起動したときと同じような環境になるため、他のアプリケーションと一緒に使うことはできません。「MS-DOSプロンプト」は、MS-DOSをWindows 95上でマルチタスクのアプリケーションとして使用できるようにしたものです。

 **チェック!!** 「MS-DOSモード」または「MS-DOSプロンプト」からは使用できないコマンドやアプリケーションもあります。

MS-DOSプロンプトを起動する

「MS-DOSプロンプト」を利用するには、次のように操作します。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリックする
「MS-DOSプロンプト」ウィンドウが表示されます。

 **チェック!!** 本機はMS-DOSモードでPCカードを使用することはできません。

MS-DOSモードでCD-ROMドライブ、CD-RWドライブを利用する

本機は、ご購入時の設定では、MS-DOSモードでCD-ROMドライブ、CD-RWドライブを使用することはできません。MS-DOSモードでCD-ROMドライブ、CD-RWドライブを使用する場合は、次の手順が必要です。

ここでは、CD-ROMドライブを例に説明しています。CD-RWモデルを使用している場合は、「CD-ROMドライブ」を「CD-RWドライブ」に読み替えてください。

 **チェック!!** CD-RWドライブは、MS-DOSモードでは、CD-ROMドライブとしてのみ使うことができます。

現在のMS-DOSモードでCD-ROMドライブ、CD-RWドライブを使う場合

現在のMS-DOS設定を使う場合で、MS-DOSモード上でCD-ROMを使うときには、次の手順を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする
- 2 「MS-DOSモードで再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリックする
本機がMS-DOSモードで再起動します。
- 3 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する
SETCD /A【Enter】
CD-ROMドライブがCONFIG.SYS、DOSSTART.BATに追加され、SETCD実行前のCONFIG.SYS、DOSSTART.BATは拡張子SCDとして保存されます。
- 4 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する
EXIT【Enter】
Windows 95が再起動します。
- 5 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする
- 6 「再起動する」を選択して、「OK」をクリックする
本機を再起動します。
- 7 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする
- 8 「MS-DOSモードで再起動する」を選択して、「OK」をクリックする
MS-DOSモードが起動し、CD-ROMドライブがQドライブに割り当てられます。

新しいIMS-DOS設定を指定する

新しいIMS-DOS設定を指定する場合、MS-DOSモード上でCD-ROMドライブを使用するには、次の手順で行ってください。

- 1** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」でエクスプローラを起動する
「エクスプローラ」が表示されます。
- 2** COMMAND.COMをクリックする
プログラム名が反転表示されます。
- 3** 「エクスプローラ」の「ファイル」メニューから「プロパティ」をクリックする
「プロパティ」が表示されます。
- 4** 「プログラム」タブをクリックして、「詳細設定」ボタンをクリックする
「プログラムの詳細設定」が表示されます。
- 5** 「MS-DOSモード」をクリックして、「新しいIMS-DOS設定を指定する」チェックボックスにチェックをつける
CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATの内容が編集できるようになります。
- 6** 「OK」ボタンをクリックする
「プログラムの詳細設定」が閉じます。
- 7** 「OK」ボタンをクリックする
「プロパティ」が閉じます。
- 8** 「エクスプローラ」で新しいIMS-DOS設定したプログラムをダブルクリックする
MS-DOSモードが起動します。

9 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

SETCD /A【Enter】

CD-ROMドライバがCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATに追加され、SETCD実行前のCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATは拡張子SCDとして保存されます。

10 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

EXIT【Enter】

Windows 95が再起動します。

- 11** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」でエクスプローラを起動する
「エクスプローラ」が表示されます。

- 12** 「エクスプローラ」で新しいMS-DOS設定したプログラムをダブルクリックする
MS-DOSモードが起動し、CD-ROMドライブがQドライブに割り当てられます。



補足情報

再セットアップについて

お使いの機種によっては、再セットアップ時に画面に表示されるマニュアル名称が異なっている場合があります。

再セットアップについては『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧ください。

アフターケアについて

■ 保守サービスについて

お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、ご購入元、Bit-INN、NECサービスセンター、サービスステーションで承っております。お問い合わせ窓口やお問い合わせの方法など、詳しくは『NEC PC あんしんサポートガイド』または『メンテナンス&サポートのご案内』をご覧ください。

 **チェック!!** ご購入元、Bit-INN、NECサービスセンター、サービスステーションに本機の修理を依頼される際は、設定したパスワードは解除しておいてください。

■ 添付品の修復、再入手方法について

本機の添付品のうち、次のものは、修復、再入手が可能です(有料)。

- ・フロッピーディスク
- ・CD-ROM

パソコンの型名、Product IDなどは、紛失に備えて控えておくことをおすすめします。

■ 消耗品と消耗部品について

本機の添付品のうち、消耗品と消耗部品は次のとおりです。

種類	概要	本機の場合
消耗品	使用頻度あるいは経過年数により消耗し、一般的には再生が不可能なもので、お客様ご自身で購入し、交換していただくものです。保証期間内であっても、有料です。	バッテリーパック フロッピーディスク CD-ROM(媒体)
消耗部品 (有償交換部品)	使用頻度あるいは経過年数により消耗、摩耗、または劣化し、修理再生が不可能な部品です。NECサービスセンター、サービスステーションなどで交換し、お客様に部品代を請求するものです。保証期間内であっても有料の場合があります。	液晶ディスプレイ

また、本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後7年です。

■ 本製品の譲渡について

本製品を第三者に譲渡される場合は、所定の条件に従ってください。また、譲渡を受けられたときには、所定の手続きに従って、「正規ユーザ（980FFICIAL PASSメンバー）」へのご登録を行ってください。

譲渡されるお客様へ

本製品を第三者に譲渡（売却）するときは、以下の条件を満たす必要があります。

本機に添付される全てのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと

各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと

譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除したあと、譲渡すること（本機に添付されている「ソフトウェア使用条件適用一覧」をご覧ください）



チェック!!

- ・パソコン内のデータには、個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように譲渡の際には、これらの情報を削除することをお勧めします。
- ・ご登録されている製品を第三者に譲渡される場合は、980FFICIAL PASS登録センター（TEL：042-333-5516）までご連絡のうえ、必ず登録削除の手続きをお願いいたします。

譲渡を受けられるお客様へ

「正規ユーザ（980FFICIAL PASSメンバー）」へのご登録に必要な次ページの事項を記入し、お手数ですが官製ハガキまたは封書でお送りください。ただし、「980FFICIAL PASSお客様登録申込書」が未使用で残っている場合は、その「980FFICIAL PASSお客様登録申込書」をご登録ください。

ご連絡いただきましたお客様へは、適時、展示会、イベント、キャンペーン、セミナーなどのご案内や、ソフトメーカー様からの新作ソフトのご紹介等をお送りいたします。

記載内容

本体型名および保証書番号(本体背面に記載の製造番号または本機底部に記載の製造番号)および当社が添付しているフロッピーディスクラベル上の「Serial No. (いずれのソフトも同一)

「Serial No. 」がない場合は不要です。

以前に使用されていた方の氏名、住所、電話番号もしくは中古購入されたお店の名称、住所、電話番号

あなたの氏名、住所、電話番号

返送先

〒108-8001 東京都港区芝五丁目7番1号
980FFICIAL PASS 登録センター係行

■ 本機の廃棄方法について

本機を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。



索引

トラブル解決Q&A内容一覧

はじめて電源を入れたら

- セットアップの画面が表示されない 182
- セットアップの画面が表示されずに、メッセージが表示された 183
- セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった 183
- セットアップの途中で電源スイッチを操作してしまったら、「Windowsを終了します。よろしいですか?」というメッセージが表示された 183
- ハードウェアの検出中にパソコンが動かなくなった(フリーズした) 184
- セットアップ時に登録した名前や会社名を変更したい 184

電源を入れたが

- 「Invalid system disk Replace the disk,...」と表示された 185
- 「Non-system disk or disk error」と表示された 186
- カーソル以外、画面に何も表示されない 186
- 「Operating System not found」と表示された 186
- ここに書かれていないその他のメッセージが表示された、またはピーツというエラー音がした 187
- ディスプレイに何も表示されない 188
- Windows 95が起動しない 189
- 「Microsoft Windows 95 Startup Menu」が表示された 190
- 「Windowsが正しくシャットダウンされませんでした」と表示される 190
- パスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」と表示される 191
- パスワードを忘れてしまった 192
- レジュームしたが、何も画面に表示されない 193
- Windows 95の起動時、「Invalid HIBERNATION XXXX/file...RUN HDPREPEZ...」または「Save to Disk partition not found...」と表示された 193
- 電源を入れたら「MACAFEEによる保護」または「VirusScan DATファイルのアップデート!」というメッセージが表示される 194

バッテリーを使っていたら

- ACアダプタを接続してもバッテリーの充電が始まらない 195
- タスクバーに電源アイコンが表示されない 195
- フル充電したのに、バッテリー充電ランプ()が点灯する 196
- バッテリー充電ランプ()が点滅する 196

電源を切ろうとしたが

- 電源を切れない。強制的に電源を切りたい 197

画面がおかしい

- 電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる 199
- 画面の色がおかしい 199
- アクティブ デスクトップ(インターネットエクスプローラ)ではなく、
Windows 95の画面にしたい 199
- MS-DOSプロンプト画面がフルスクリーンになってしまった 200
- MS-DOSモードを終了し、Windows 95に戻りたい 200
- 液晶ディスプレイを開いたら、画面が表示されなくなった 201

別売のディスプレイを使っていたら

- ディスプレイの省電力機能を設定できない 202
- 「ディスプレイの種類が指定されていません...」というメッセージが表示される 203
- 表示できるはずの高解像度を選べない 204

NXパッドを操作しても

- NXパッドを操作しても、何も反応しない、または反応が鈍い 206
- NXパッドが動作しない 207

文字を入力しようとしたら

- キーボードのキーを押しても、何も反応しない 208
- 別売のキーボードを接続したが、キーを押しても反応しない。使えないキーがある 208
- キーボードで押したキーと違う文字が表示される 209
- 記号などで入力できない文字がある 210
- MS-DOSプロンプトのとき、バックスラッシュ(\)が入力できない 211

ファイルを保存しようとしたら

- ハードディスクに保存できない 212
- フロッピーディスクやスーパーディスクに保存できない 212
- 長いファイル名をつけられない。表示できない 212

インターネット / パソコン通信しようとしたら

- 接続できない 213
- 「コンピュータは、モデムからの応答を受信しません。」と表示される 216
- 文字がおかしくなったり、データの送受信にエラーが発生する 216
- ファイルを添付したメールをうまく送れない 218
- 「発信音がありません。」と表示された 218
- 「モデムを検出できませんでした。モデムは使用中か、オフにされているか、
または正しくインストールされていません。」と表示された 219
- 「回線はビジーです。」と表示された 220
- 「ダイヤルアップネットワーク接続を確立できません。」と表示された 220

- 「回線が混雑しているか、電話回線使用のお客様は、トーン / パルス、外線発信番号(“0”)の設定、ISDN回線使用のお客様は、同期 / 非同期設定に誤りがあります」と表示された 220
- ダイヤラでダイヤルできない 221
- モデムで電話できるか確認したい 221
- 「要求されたこのURLはオフラインでは利用できません。」と表示される 222
- Internet Explorerや関連製品に関するサポート技術情報について知りたい 223
- 自動発着機能が作動しない 223

ネットワーク(LAN)に接続しようとしたら

- ネットワークへの接続方法がわからない 224
- ネットワークに接続できない 224
- 共有ドライブやフォルダが使えない 225

赤外線通信しようとしたら

- 赤外線通信できない 226
- Intellisyncで赤外線デバイスを有効にしようとしたとき、「試みた接続は不正なオペレーションです。Intellisyncは正しくインストールされていません。続けるには「OK」をクリックして下さい。」と表示された 227

光デジタル出力機能を使っていたら(VA65J、VA50J/AF、VA45J/AX)

- デジタル出力からの音が鳴らない 228

印刷しようとしたら

- プリンタから印刷できない、プリンタから意味不明の文字が印字される 229
- 印刷しようとしたら「FAX送信」、「Microsoft Exchange」、「新しいメッセージの作成」などのウィンドウが表示された 231

フロッピーディスクやスーパーディスクを使っていたら

- 「マイコンピュータ」の3.5インチFDをクリックしたが、ディスクの内容が表示されない 232
- 読み込みはできるが、書き込みができない 233
- 2DDのフロッピーディスクに書き込みができない 234
- ディスクコピーやフォーマットができない 235
- スーパーディスクドライブからディスクを取り出せない 235

ハードディスクを使っていたら

- ハードディスクの空き領域が足りない 236
- ファイルをごみ箱に捨てても、ハードディスクの空き領域が増えない 238
- 領域作成できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない 238
- スキャンディスクを実行するとリトライ(再試行)をくりかえし、エラーメッセージが表示されて終了してしまう 238
- スキャンディスクで完全チェックを行うと、メッセージが表示されてスキャンディスクが中断される 238

- 2つ以上の領域にわかれている内蔵ハードディスクを1つの領域にしたい 239
- ハードディスクを2GB程度しか領域確保できない 239

CD-ROM/CD-R/CD-RWを使っていたら

- トレイを出し入れできない 240
- ディスクをセットしても自動起動しない 240
- データを読み出せない、音楽CDの再生中に音飛びする 241
- 再生中の動画がとぎれる、なめらかに再生されない 242
- 動画の再生中に画面が消えてしまう 243
- 音楽CD再生中に音楽が止まってしまう 243
- CD-ROMドライブ/CD-RWドライブのドライブ番号を変えたい 243
- MS-DOSモードでCD-ROMドライブ/CD-RWドライブを使いたい 244
- CD-ROMの読みとりエラーメッセージが表示されたら 244
- CD-R/CD-RWに書き込み中にエラーになった 245

周辺機器を取り付けようとしたら

- 別売の周辺機器を取り付けたが動作しない。別売の周辺機器を取り付けたらパソコンが起動しなくなった。他の機能が使えなくなった 246
- プラグアンドプレイ対応の周辺機器のドライバをインストールしたが、デバイスマネージャの画面に黄色い「！」マークが表示され、周辺機器が動作しない 247

アプリケーションを使っていたら

- パソコンの動作が遅い。パソコンが動かない 248
- アプリケーションが起動しない 250
- フルカラーにするようにというメッセージが表示された 250
- アプリケーションをインストールできない 251
- 「CDプレーヤ」で音量の変更ができない 254
- 「ペイント」の「パレットの交換」機能が使えない 254
- 再セットアップするときに、インストールするアプリケーションを選びたい 255

サスペンド/レジューム機能を使おうとしたら

- レジュームしたが、サスペンドする前の状態の画面が表示されない 256
- サスペンド/レジュームできない。または、省電力を設定しても自動スリープ機能が利用できない 257
- 自動的にサスペンドしない 257
- 「スタート」メニューに「サスペンド」が表示されない 258
- サスペンドしておいたデータをレジュームさせようとしたら、画面が乱れて電源が切れた 259

ハイバネーション機能を使おうとしたら

- ハイバネーションの処理画面が表示されずサスペンドしてしまう 260
- Windows 95の起動時、「Invalid HIBERNATION XXXX/file...RUN HDPREPEZ...」
または「Save to Disk partition not found...」と表示された 260
- ハイバネーションの設定をして電源を切ったのに、
電源を入れたときに前の状態にならない 261
- ハイバネーション設定ユーティリティを使用してハイバネーション機能を
使用するように設定すると、エラーメッセージが表示される 261

その他

- 日付や時刻が正しく表示されない 262
- 2000年問題について知りたい 263
- Windows 95起動ディスクを作成したい 263
- Windows 95起動ディスクからパソコンを起動したい 264
- 動作状況が不安定になった 264
- コンピュータウイルスが検出された 264
- 追加情報(READMEファイル)を参照したい 265
- 「ネットウォッチャー」や「ケーブル接続」の機能を利用できない 265

総索引

英字

2000年問題 263
Acrobat Reader 27, 54, 75
CD-R 240
CD-ROM 240
CD-RW 240
CyberAccess 27, 55, 75
CyberWarner-NX 31
DirectCD 27, 53, 74
Easy CD Creator 26, 53, 74
Intel® LANDesk® Client Manager 6.0
(with NEC Extensions) 36, 60, 77
Intellisync 21, 51, 72
Masty Data Backup 39, 62, 79
MS-DOSプロンプト 269
MS-DOSモード 268
NEC Soft MPEG1.0 25, 52, 73
NXパッド 206
Office 2000 Personal 18, 48, 67
Office 2000 Professional 19, 48, 69
pcAnywhere 9.0 EX 38, 61, 78
RSA SecurPC 38, 61, 78
Safe mode 190
Virtual CD 2 40, 63, 80
VirusScan 34, 58, 76
Windows 98 94
Windows 98 Second Edition 94
Windows NT 4.0 147

あ行

アクティブ デスクトップ 199
アフターケア 274
アプリケーション 16, 248
一太郎10バック 20, 49, 71
印刷 229
インターネット 213
インターネットエクスプローラ 20, 49

インターネット設定切替ツール ... 39, 63, 80
英語モードフォント 35, 59, 77

か行

キーボード 208
ごみ箱 236
コンピュータウイルス 82, 264

さ行

サスペンド 256
自動メール受信ユーティリティ 40
周辺機器 246
スーパーディスク 232
スキャンディスク 238
スパイバザパスワード 192
赤外線通信 226

た行

デバイスマネージャ 246
トラブルチェックシート 285

な行

ネットワーク 224

は行

ハードディスク 236
ハードディスクのメンテナンス 89
ハードディスクのパスワード 192
ハイパネーション 260
パスワード 191
パソコン通信 213
バックアップ 86
バッテリー 195
光デジタル出力機能 228
ファイル 212
フリーズ 184
プリンタ 229
プレーヤ-NX 26, 53, 73
フロッピーディスク 232

ま行

文字コード表 210

モデム 213

や行

ユーザー情報 184

ら行

レジューム 193, 256

わ行

ワンタッチスタートボタンの設定 40

トラブルチェックシート

お問い合わせにお答えするには、あなたのパソコンの構成やトラブルの具体的な症状をお知らせいただく必要があります。

このシートに記入してからお問い合わせいただくと、よりの確で迅速なお答えができます。ぜひ、記入してからお問い合わせください。

トラブルチェックシート1 あなたのパソコンの構成

■ハードウェア

本体	
型名	
製造番号(パソコンの底部に記載されています)	
メモリの容量	MB(メガバイト)
メモリの容量を調べるには→マイコンコンピュータのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックしてください。「○○MBのRAM」という表示の「○○」がメモリの容量です。	
ハードディスクの容量	GB(ギガバイト)
ハードディスクの空き領域	MB(メガバイト)
ハードディスクの容量、空き領域を調べるには→マイコンコンピュータを開き、ハードディスクのアイコンを右クリックして、表示されるメニューの「プロパティ」をクリックしてください。使用容量や空き領域が表示されます。	
周辺機器	品名・型名(メーカー名)
ディスプレイ	
プリンタ	
増設ハードディスク	
PCカード	
その他の周辺機器	

■ソフトウェア

OSのバージョンと発売メーカー	
☐ Windows 95 ☐ Windows 98 ☐ Windows NT(バージョン)	
トラブルが起きたときに起動していたアプリケーション	

トラブルチェックシート2 具体的なトラブルの内容

●どんなトラブルが起きましたか？ トラブルの内容を書いてください。

●画面にエラーメッセージや番号などが表示されませんでしたか？
メッセージや番号を書いてください。

●そのトラブルはどんなときに起きましたか？

- ☐ パソコンを起動するたびに起きる
- ☐ そのアプリケーションを起動するたびに起きる
- ☐ 特定の操作を行うと起きる
- ☐ はじめて起きた

●その他に気づいたことがあれば書いてください。



活用ガイド

ソフトウェア編

PC98-**NX** SERIES

VersaPro NX

(Windows 95 インストール)

初版 2000年1月

NEC

P

808-875488-455-A